

第6次敦賀市総合計画策定にかかる 市民アンケート調査

【結果報告書】

平成21年12月

敦 賀 市

■ 目 次 ■

I 調査の概要	1
1 調査の目的.....	2
2 調査概要.....	2
3 報告書の見方.....	2
II 調査結果	4
1 あなた自身について.....	5
2 本市での居住について.....	8
3 行政サービス全般について.....	25
4 施策分野ごとに対してあなたが考える今後の方向性について.....	39
5 本市の電源地域の振興策などについて.....	65
6 個別具体的な政策について.....	71

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、第6次敦賀市総合計画策定のための基礎資料をえることを目的に、市民の生活実態やこれまで本市が取り組んできた施策への意向等を把握するため、敦賀市在住の18歳以上の市民に対して実施しました。

2 調査概要

- ・調査対象者：敦賀市内在住の18歳以上の市民
- ・抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
- ・配布数：3,000票
- ・回収数：1,226票
- ・回収率：40.9%
- ・調査期間：平成21年7月10日～7月29日
- ・調査方法：郵送配布・郵送回収

3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

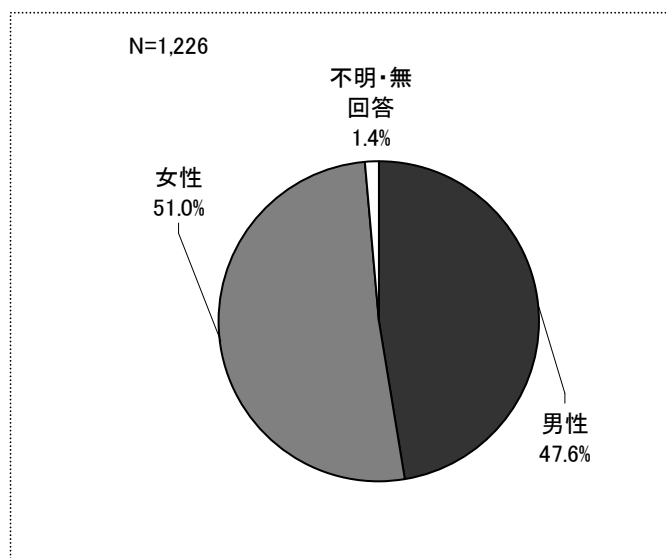


II 調查結果

1 あなた自身について

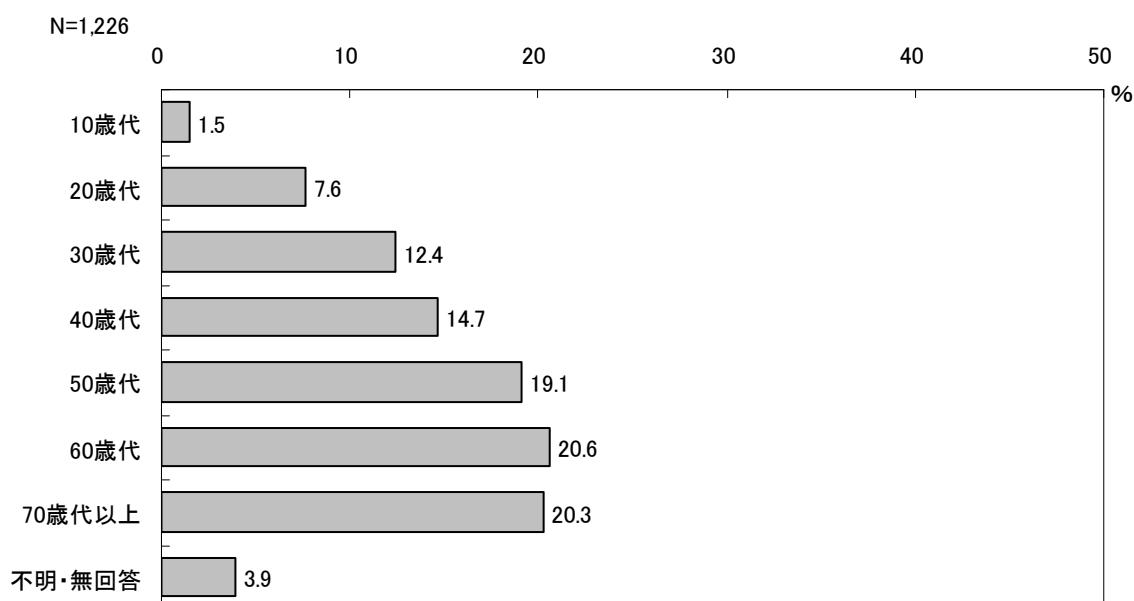
問1 あなたの性別は？（○は一つ）

回答者の性別についてみると、「男性」が47.6%、「女性」が51.0%となっています。



問2 あなたの年齢は？（○は一つ）

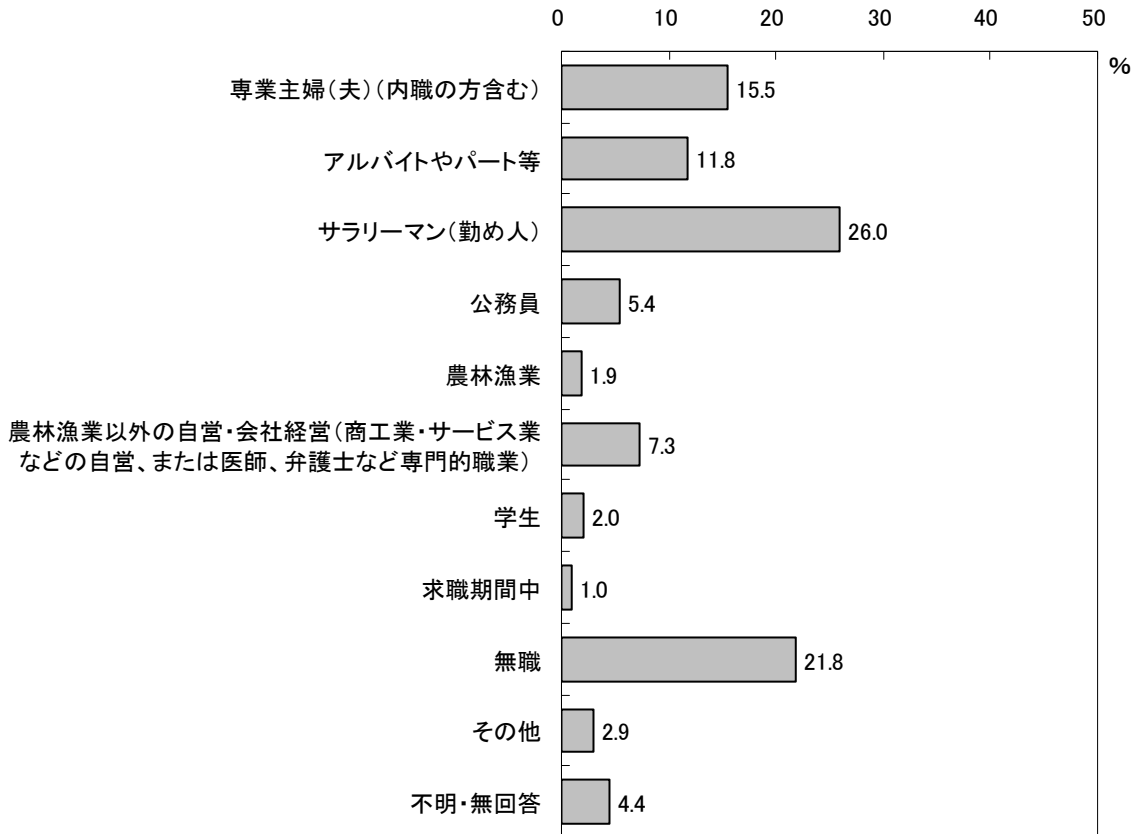
回答者の年齢についてみると、「60歳代」が20.6%、次いで「70歳代以上」が20.3%となっています。



問3 あなたのご職業は？（○は一つ）

回答者の職業についてみると、「サラリーマン（勤め人）」が26.0%と最も多く、次いで「無職」が21.8%となっています。

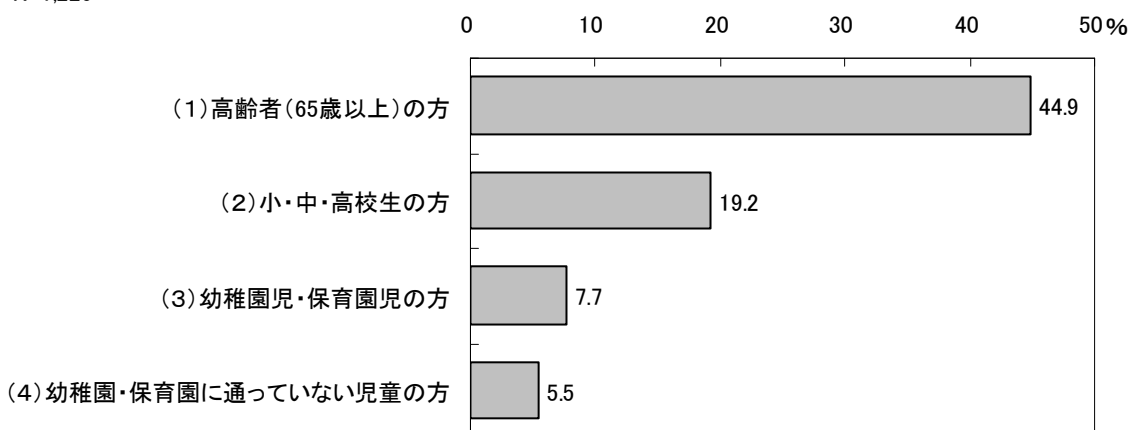
N=1,226



問4 あなたの世帯構成について、おうかがいします。あなた自身、または同居されている方に、次の方はいらっしゃいますか？（各項目について、あてはまる番号に○は一つ）

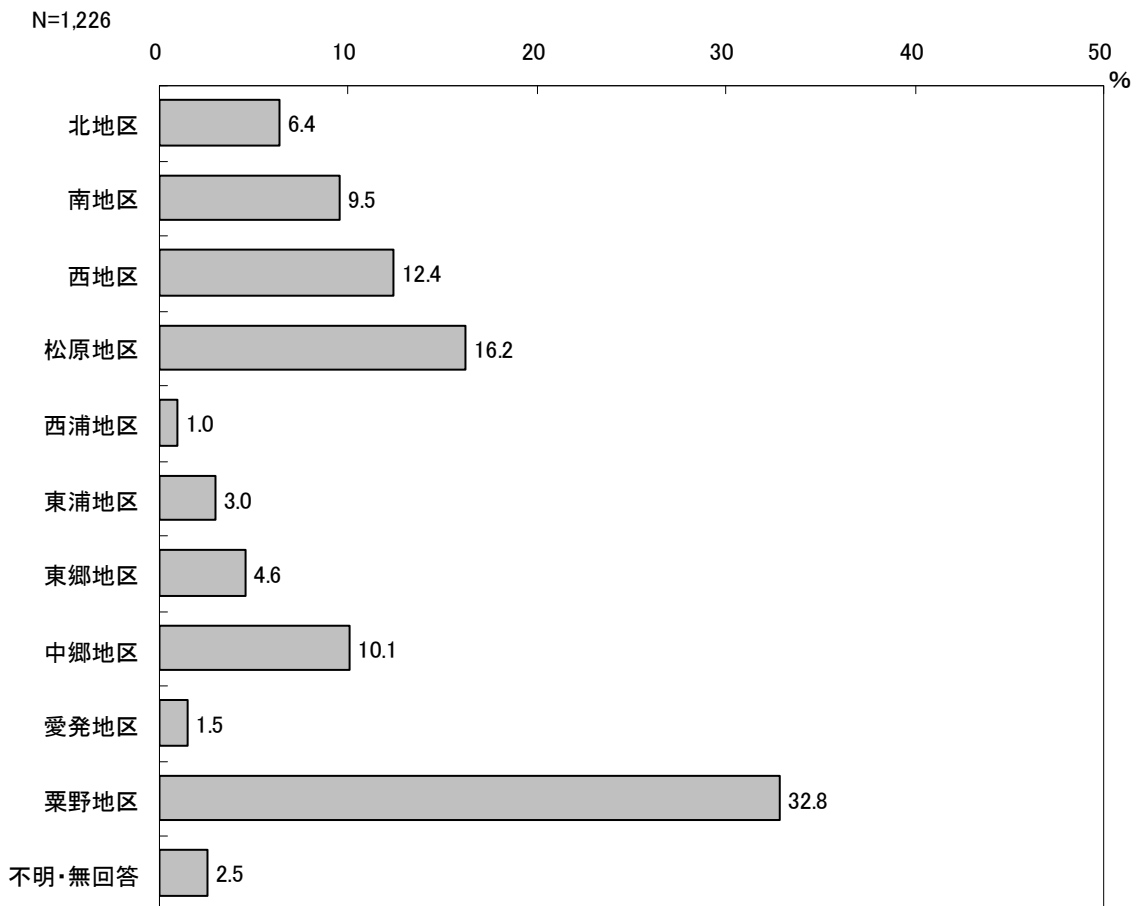
回答者の世帯構成についてみると、「高齢者（65歳以上）の方」が44.9%、「小・中・高校生の方」が19.2%となっています。

N=1,226



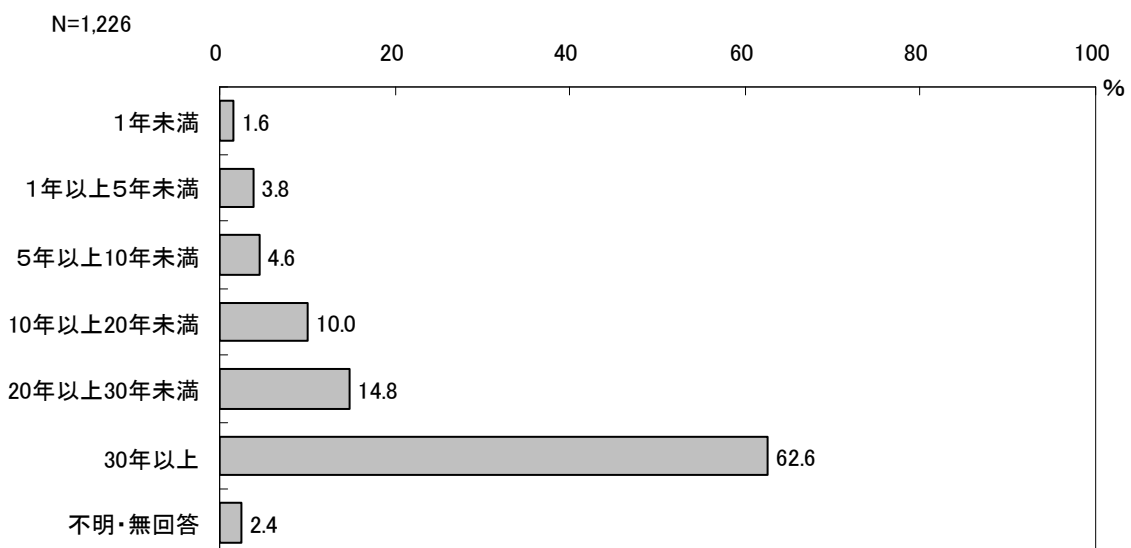
問5 あなたのお住まいは、どの地区ですか？（○は一つ）

回答者の居住地区についてみると、「栗野地区」が32.8%と最も多く、次いで「松原地区」が16.2%となっています。



問6 あなたは敦賀市にお住まいになられて何年になりますか？（一時離れた場合、お住まいの年数の合計）（○は一つ）

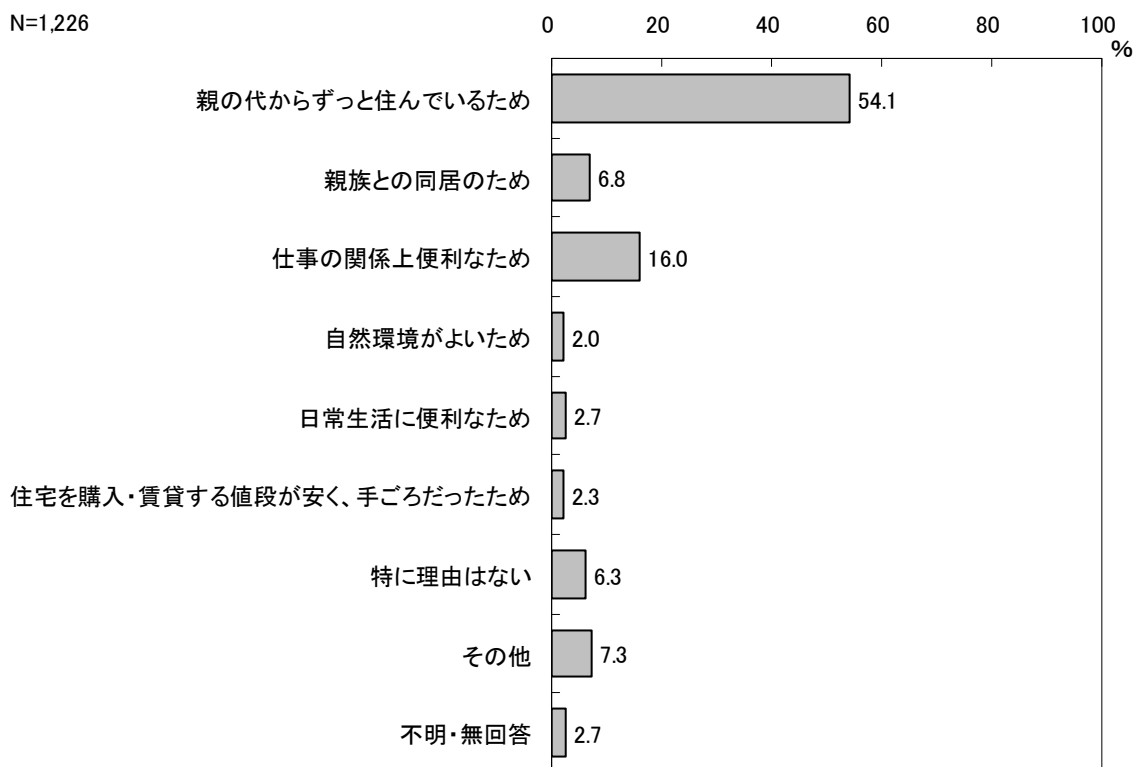
回答者の居住歴についてみると、「30年以上」が62.6%と最も多く、次いで「20年以上30年未満」が14.8%となっています。



2 本市での居住について

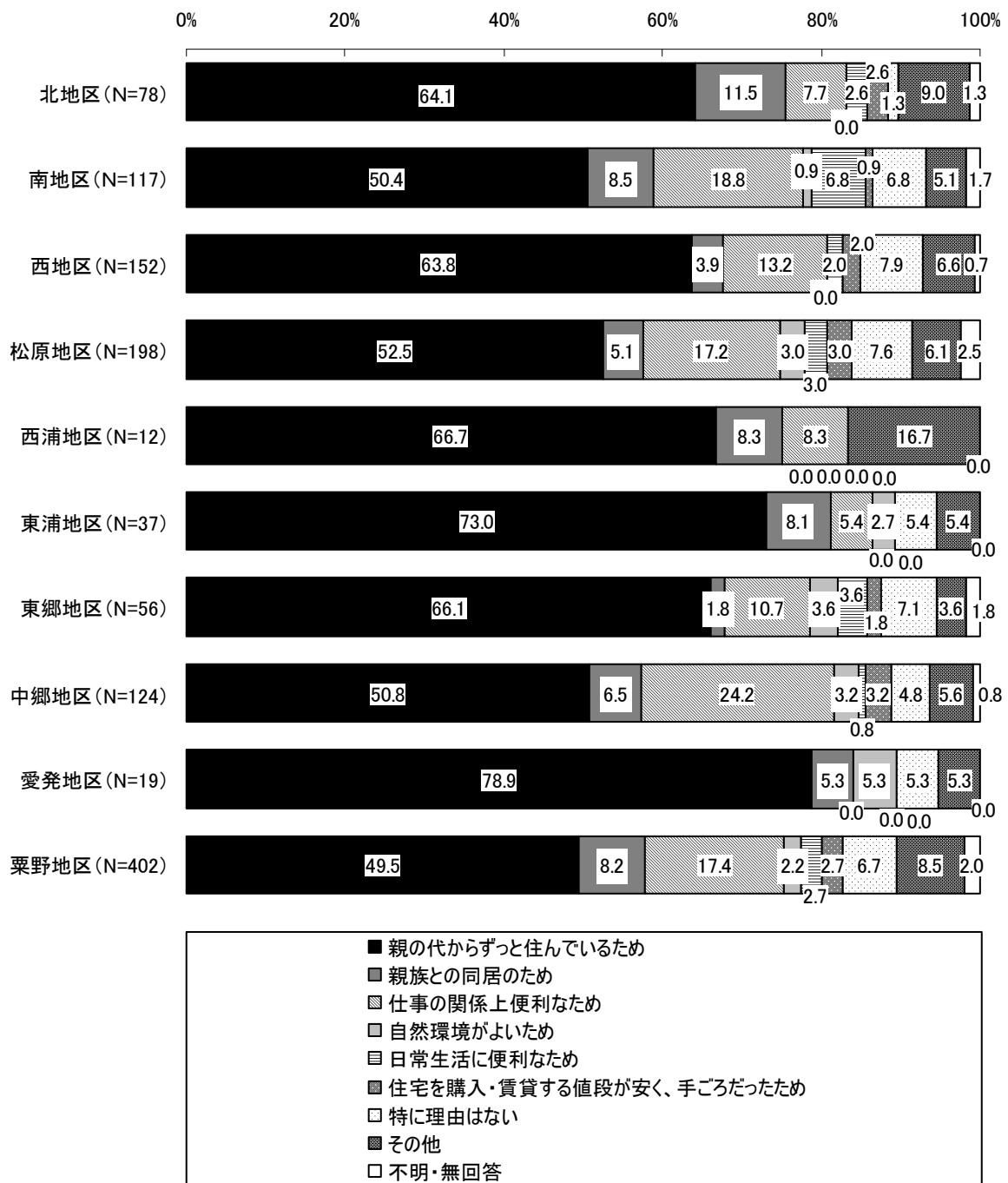
問7 あなたがお住まいになる場所として、敦賀市を選ばれた最も大きな理由は何ですか？（〇は一つ）

住む場所として敦賀市を選んだ理由についてみると、「親の代からずっと住んでいるため」が54.1%と最も多く、次いで「仕事の関係上便利なため」が16.0%となっています。



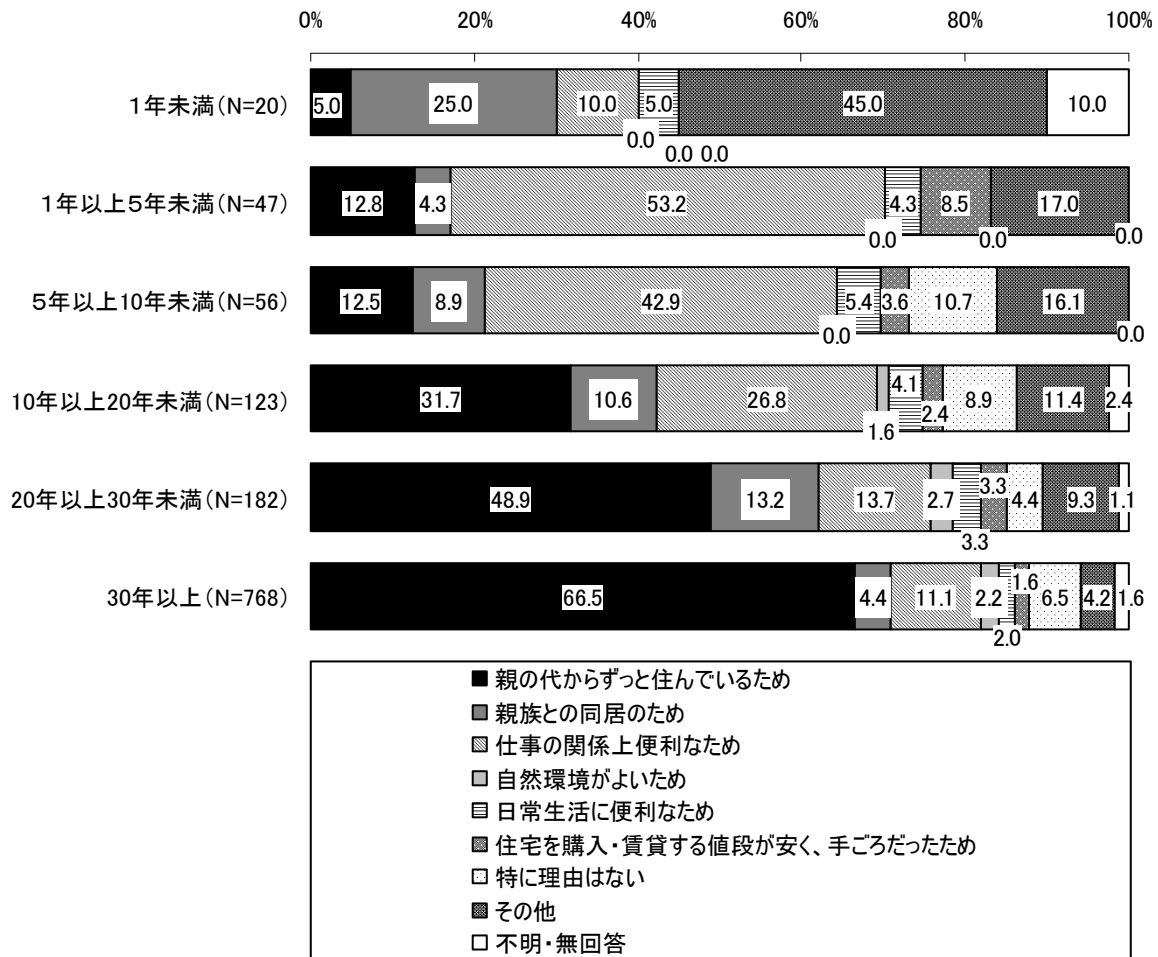
【地区別】

地区別についてみると、すべての地区で「親の代からずっと住んでいるため」が最も多くなっています。また「仕事の関係上便利なため」では「中郷地区」が他の地区と比較すると、2割以上となっています。



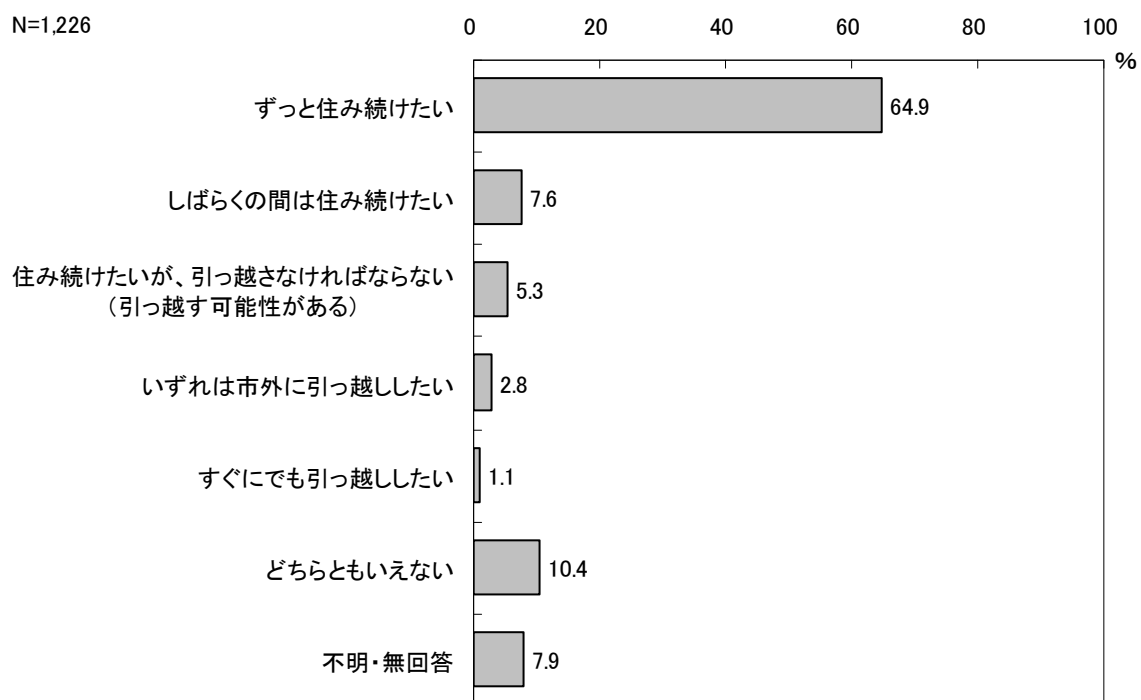
【居住年数別】

居住年数別についてみると、居住年数が上がるにつれて「親の代からずっと住んでいるため」の割合が多くなり、また「仕事の関係上便利なため」では「1年未満」を除いて、割合が少なくなっています。



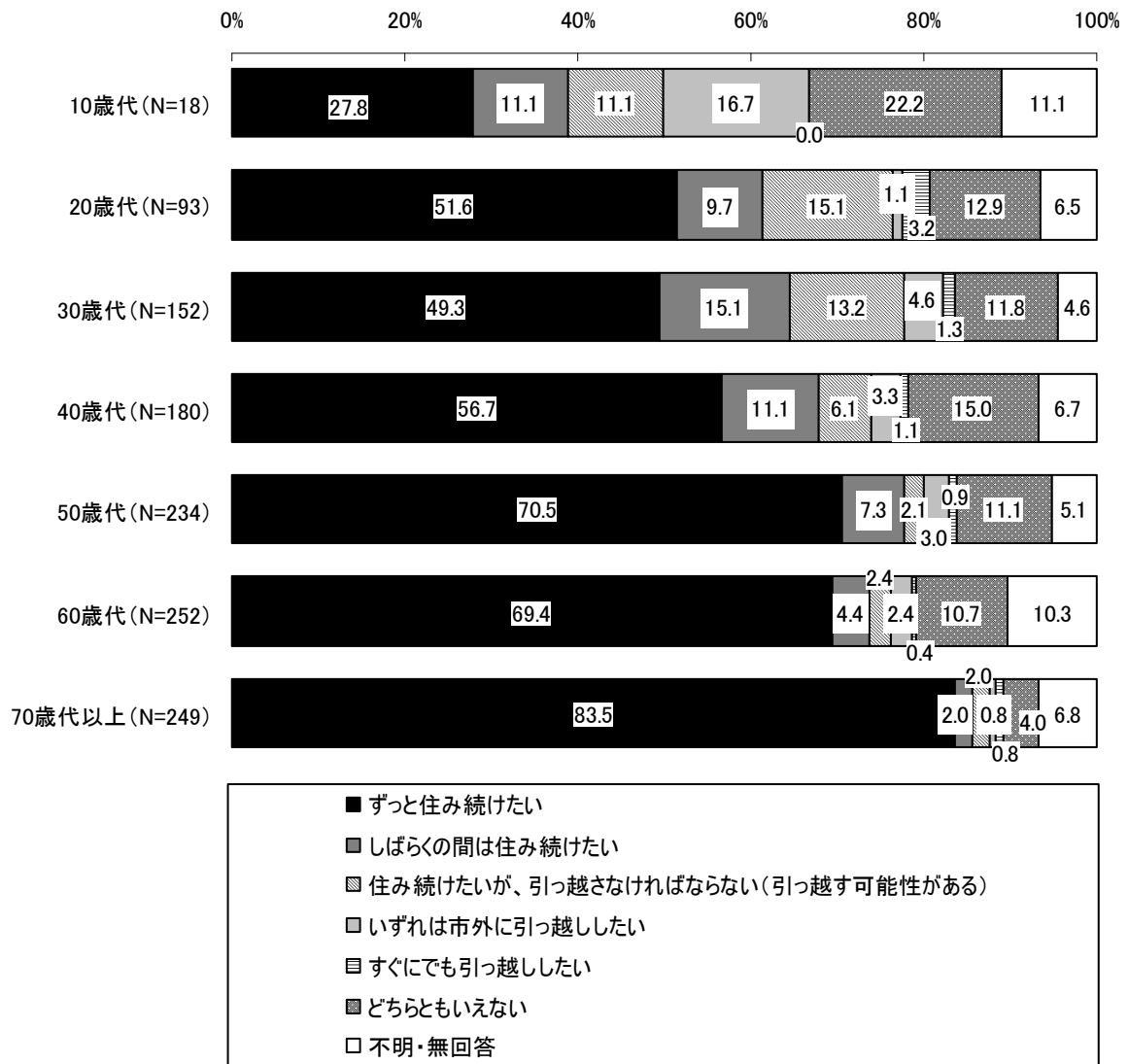
問8 あなたは、これからもずっと敦賀市に住み続けたいとお考えですか？（○は一つ）

これからもずっと敦賀市に住み続けたいと考えるかについてみると、「ずっと住み続けたい」が64.9%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が10.4%となっています。



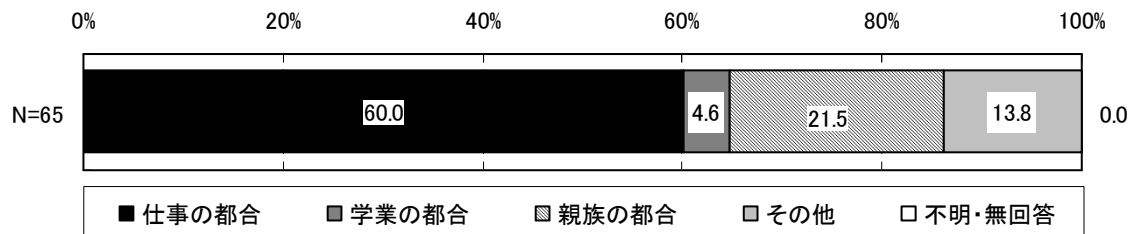
【年齢別】

年齢別についてみると、年齢が上がるにつれて、多少の増減はあるものの「ずっと住み続けたい」の割合が多くなっています。また、「10歳代」～「30歳代」では「住み続けたいが、引っ越さなければならない（引っ越し可能性がある）」が他の年齢と比較すると、1割以上となっています。



問9 問8で、「3」とお答えになった方におうかがいたします。引っ越し可能性
がある理由は何でしょうか？（○は一つ）

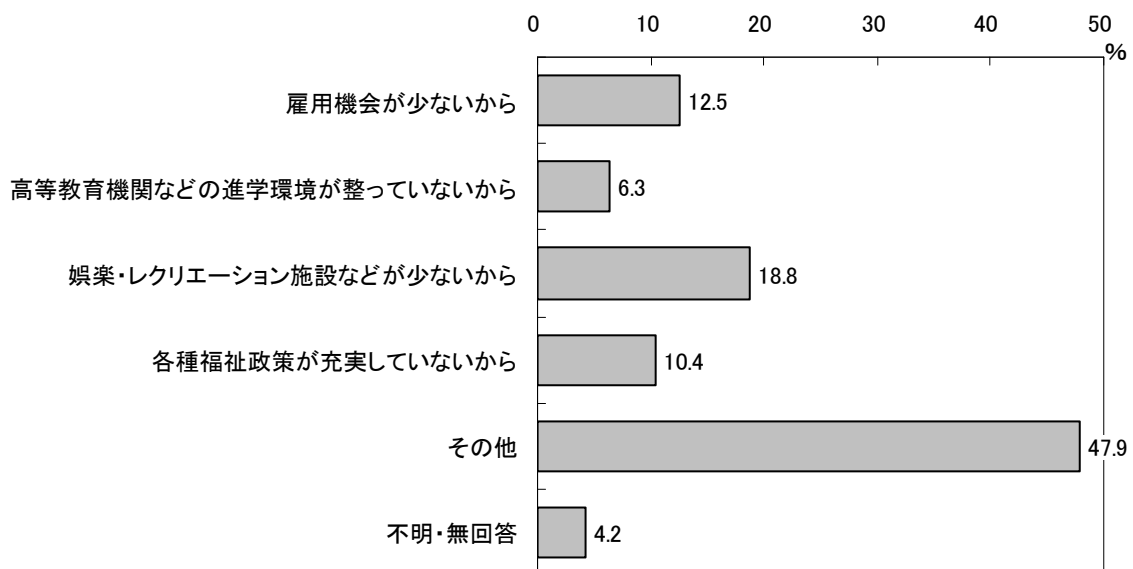
引っ越し可能性のある理由についてみると、「仕事の都合」が60.0%と最も多く、次いで「親族の都合」が21.5%となっています。



問10 問8で、「4」、「5」とお答えになった方にお伺いいたします。市外に引っ越
ししたい理由は何でしょうか？（○は一つ）

市外に引っ越ししたい理由についてみると、「娯楽・レクリエーション施設などが少ないから」が
18.8%、次いで「雇用機会が少ないから」が12.5%となっています。

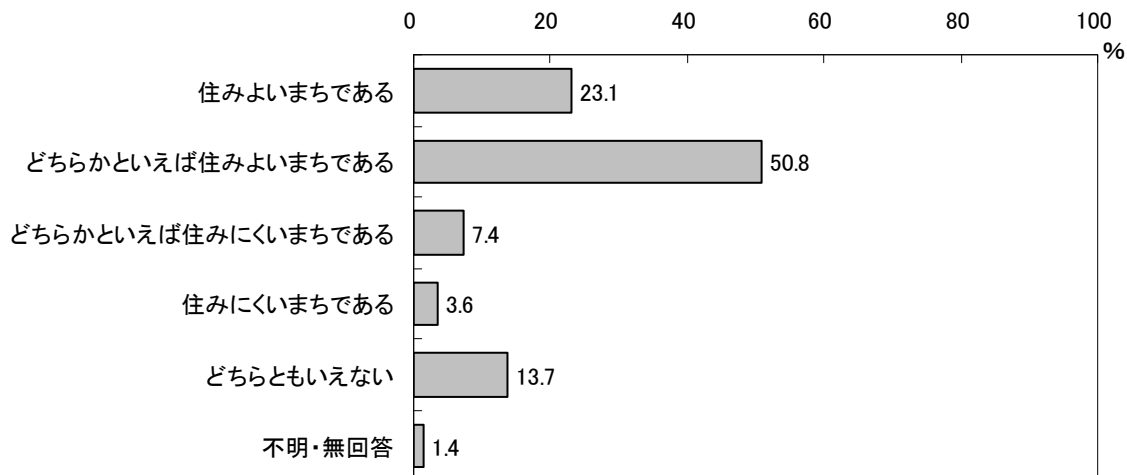
N=48



問 11 あなたは敦賀市を全体として住みよいまちだとお考えですか。(〇は一つ)

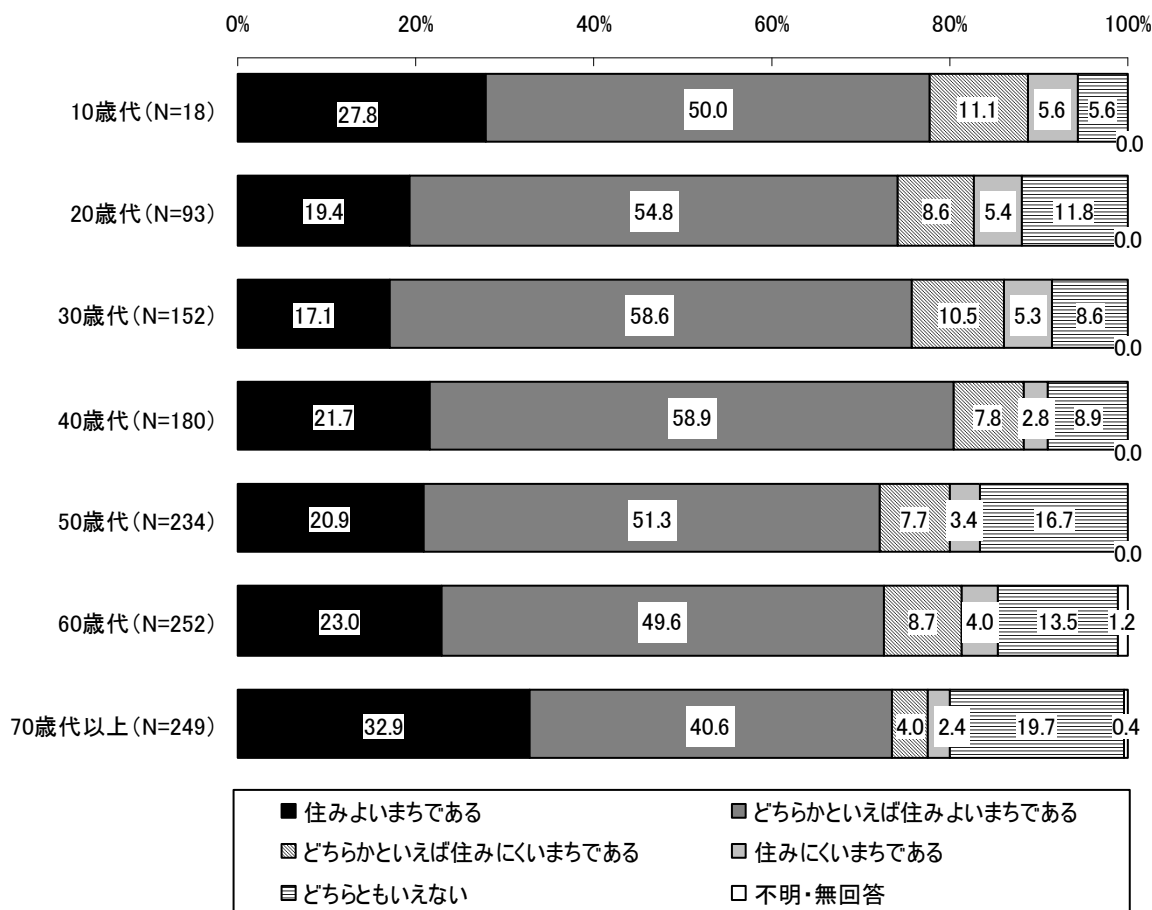
敦賀市を全体として住みよいまちと考えるかについてみると、「どちらかといえば住みよいまちである」が50.8%と最も多く、次いで「住みよいまちである」が23.1%となっています。

N=1,226



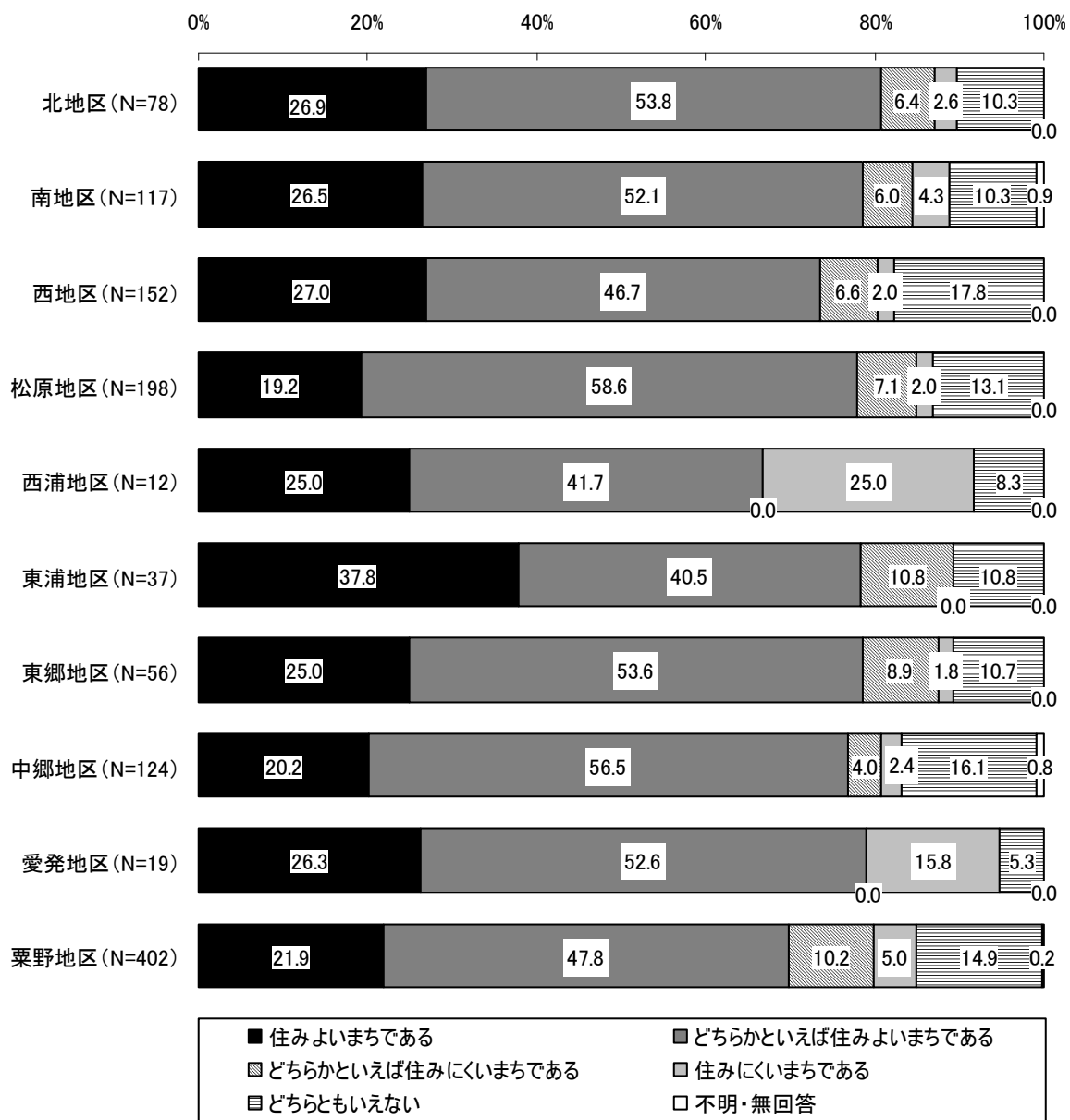
【年齢別】

年齢別についてみると、すべての年齢で「どちらかといえば住みよいまちである」が最も多くなっています。また「70歳代以上」では「住みよいまちである」が他の年齢と比較すると、3割以上となっています。



【地区別】

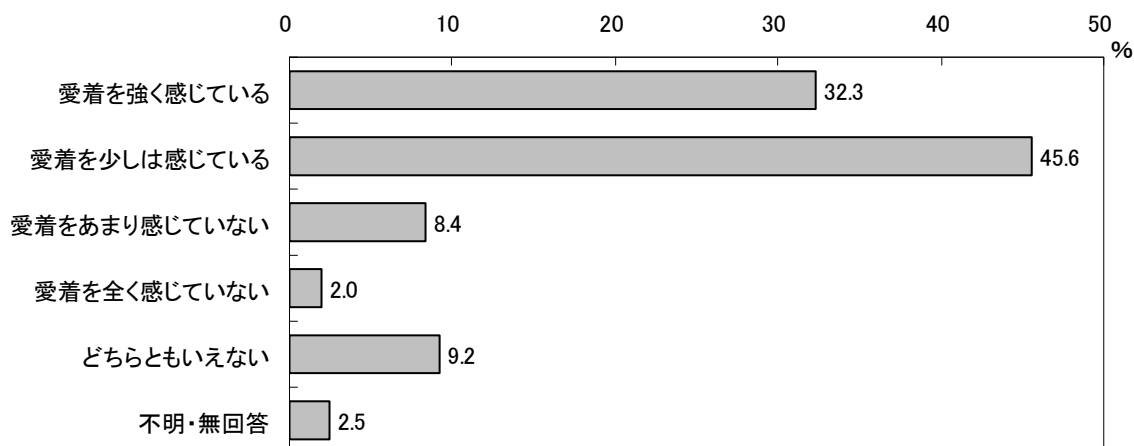
地区別についてみると、すべての地区で「どちらかといえば住みよいまちである」が最も多く、4割以上となっています。



問 12 あなたは敦賀市に愛着を感じておられますか。(〇は一つ)

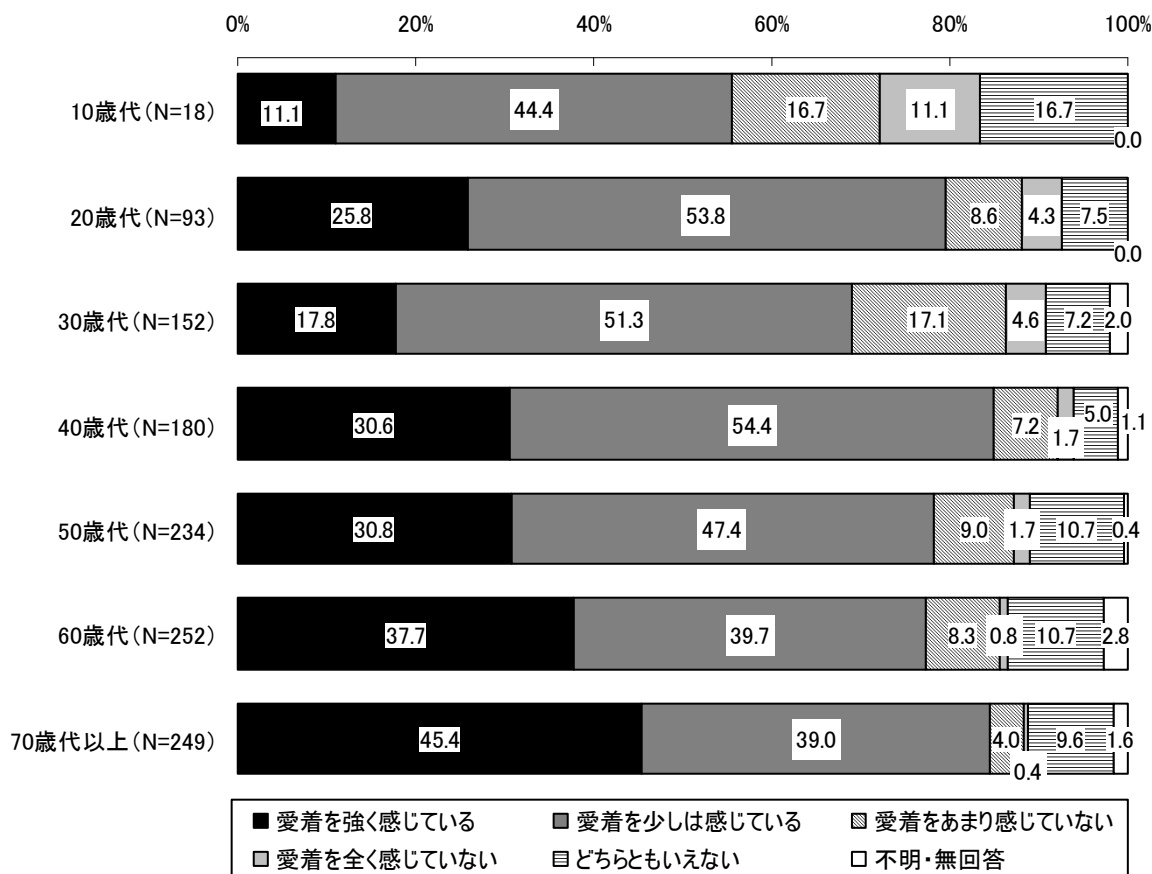
敦賀市に愛着を感じているかについてみると、「愛着を少しは感じている」が45.6%と最も多く、次いで「愛着を強く感じている」が32.3%となっています。

N=1,226



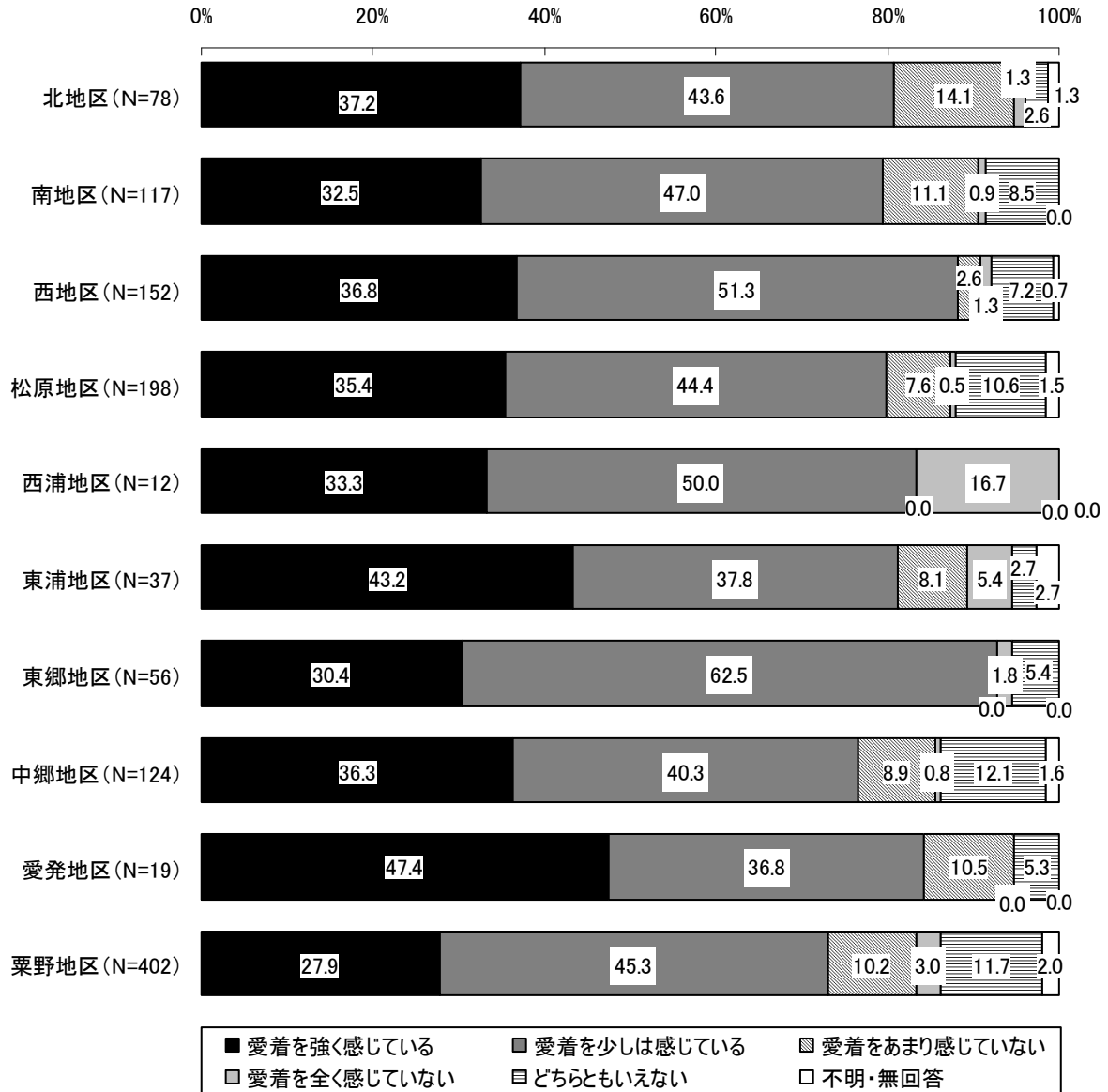
【年齢別】

年齢別についてみると、「10歳代」～「60歳代」では「愛着を少しは感じている」、「70歳代以上」では「愛着を強く感じている」が最も多くなっています。



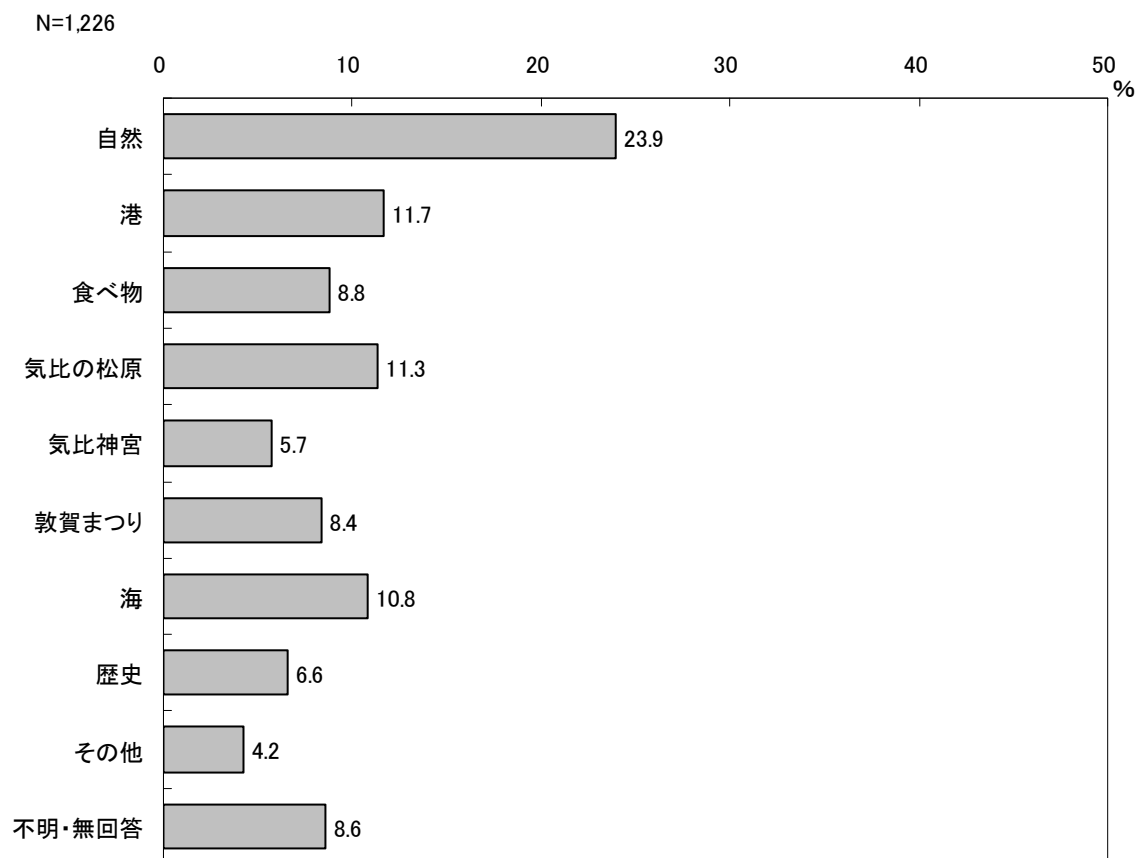
【地区別】

地区別についてみると、「東浦地区」「愛発地区」を除くすべての地区で「愛着を少しは感じている」が最も多く、4割以上となっています。



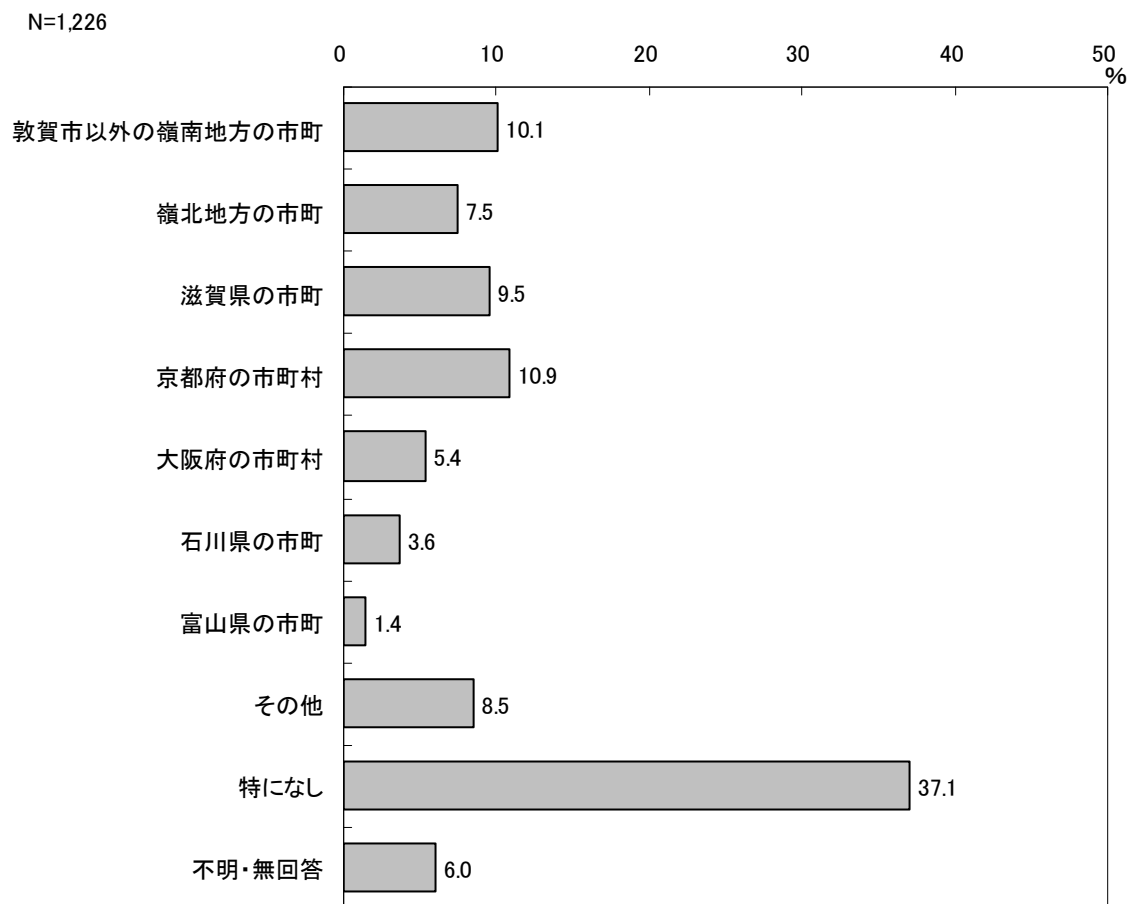
問 13 あなたが敦賀らしさや愛着を感じ、敦賀らしさをつくっていくために活用すべきとお考えになるものは何でしょうか。(〇は一つ)

敦賀らしさや愛着を感じ、敦賀らしさをつくっていくために活用すべきと考えるものについてみると、「自然」が23.9%と最も多く、次いで「港」が11.7%となっています。



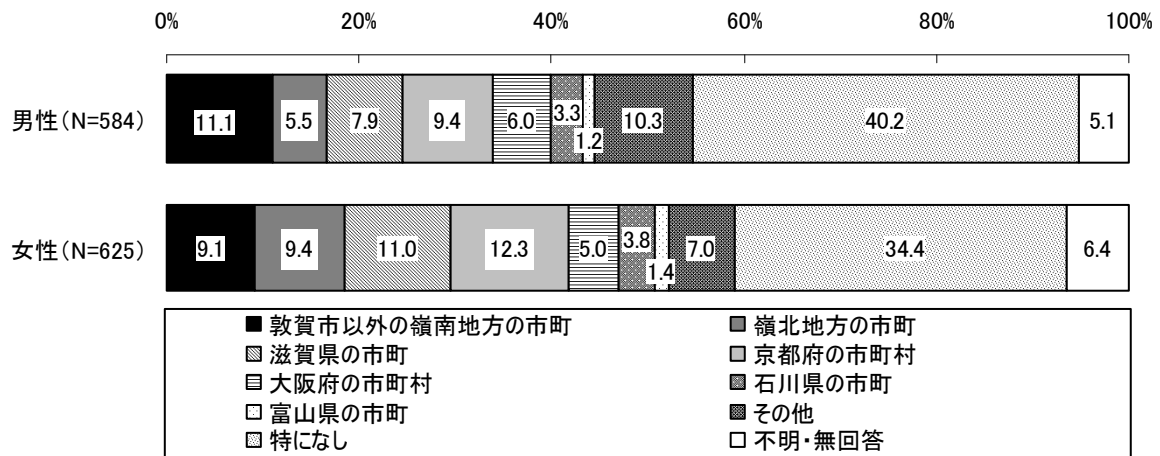
問 14 あなたは、敦賀市以外の地域で、愛着を感じる地域がありますか。(〇は一つ)

敦賀市以外の地域で、愛着を感じる地域があるかについてみると、「京都府の市町村」が10.9%、次いで「敦賀市以外の嶺南地方の市町」が10.1%となっています。



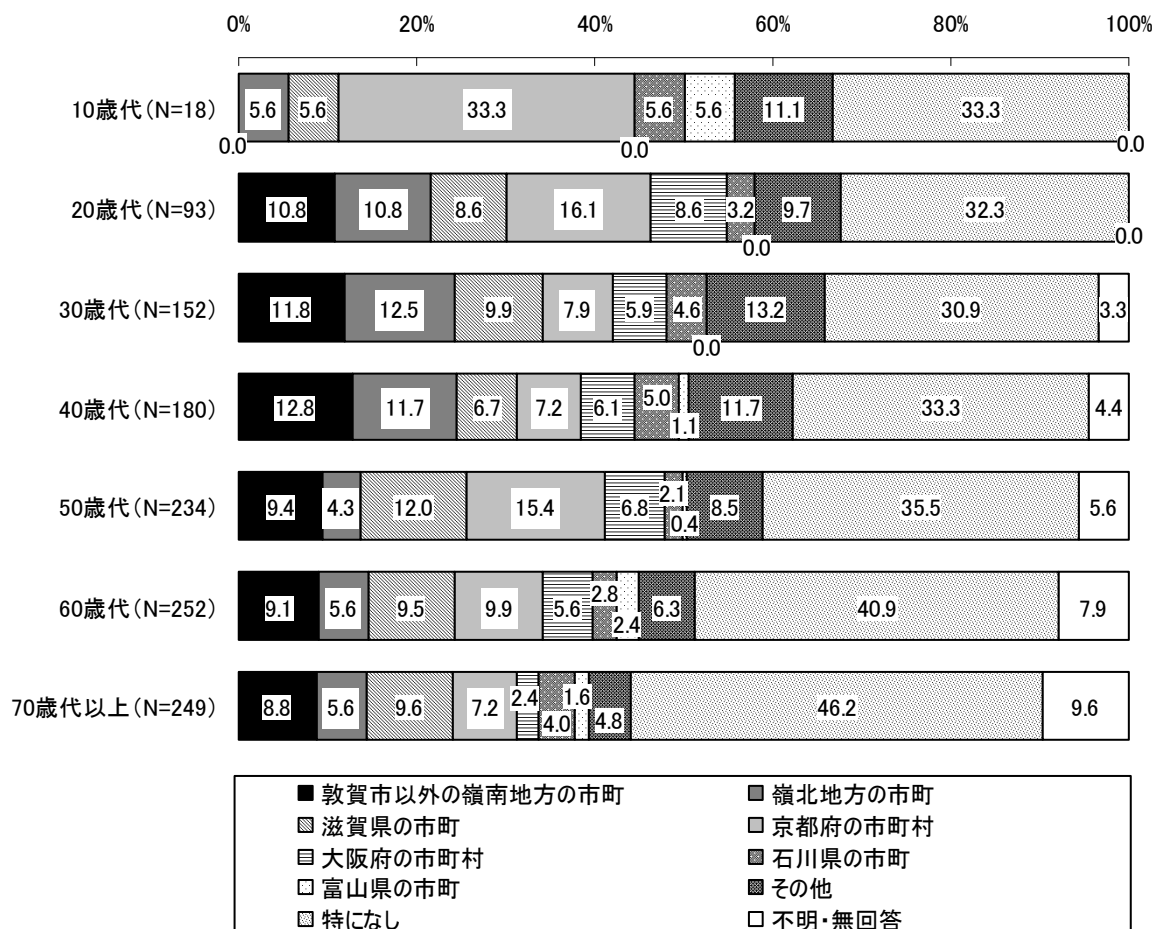
【性別】

性別についてみると、「男性」では「敦賀市以外の嶺南地方の市町」、「女性」では「京都府の市町村」が最も多くなっています。



【年齢別】

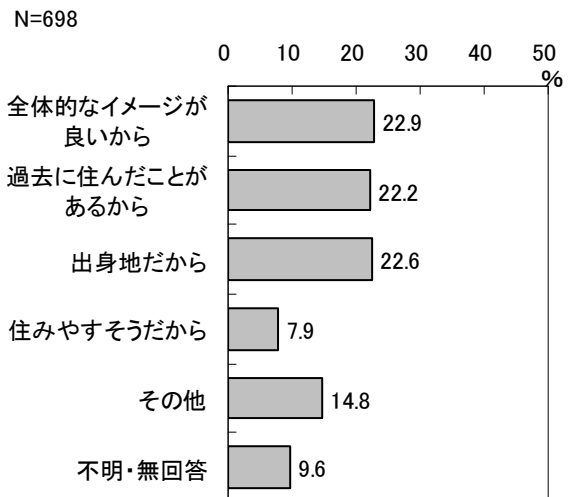
年齢別についてみると、「10歳代」「20歳代」「50歳代」「60歳代」では「京都府の市町村」が最も多くなっています。



問 15 問 14 で、「1」～「8」とお答えになった方におうかがいたします。具体的な市町村名と愛着を感じる理由。(〇は一つ)

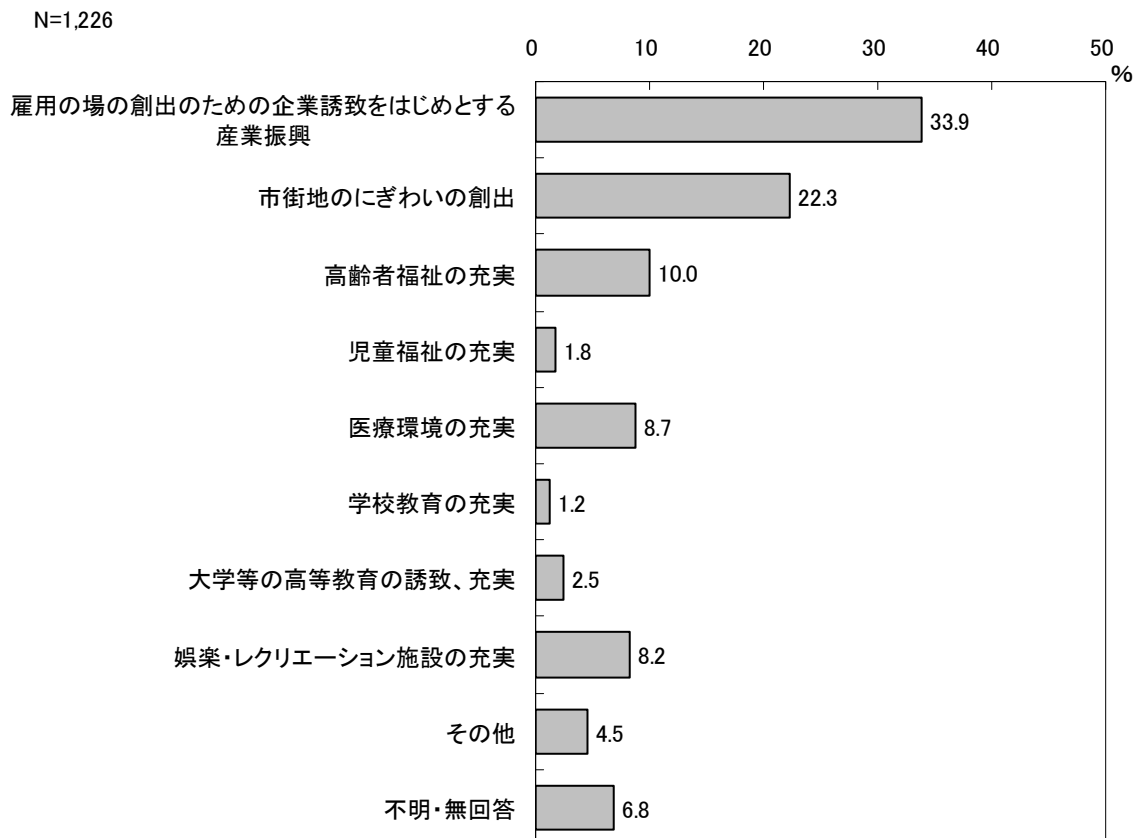
具体的な市町村名と愛着を感じる理由についてみると、「全体的なイメージが良いから」が22.9%、「出身地だから」が22.6%となっています。

市町村名の表組



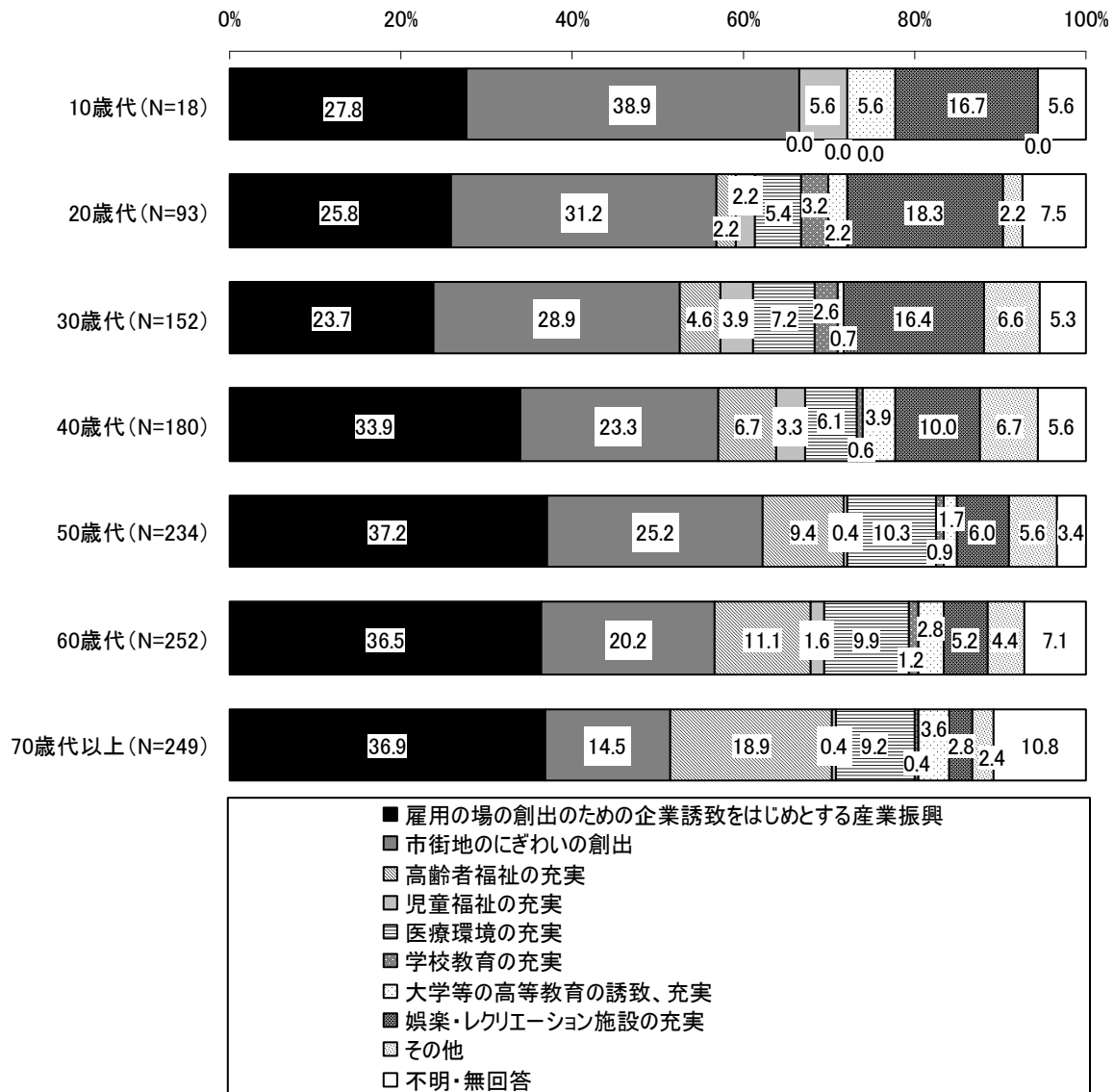
問 16 本市での定住を促すためには、どのような取組みが必要であると考えますか？
(あなたの考えに最も近いもの一つに○)

本市での定住を促すためには、どのような取組みが必要であると考えるかについてみると、「雇用の場の創出のための企業誘致をはじめとする産業振興」が 33.9%と最も多く、次いで「市街地のにぎわいの創出」が 22.3%となっています。



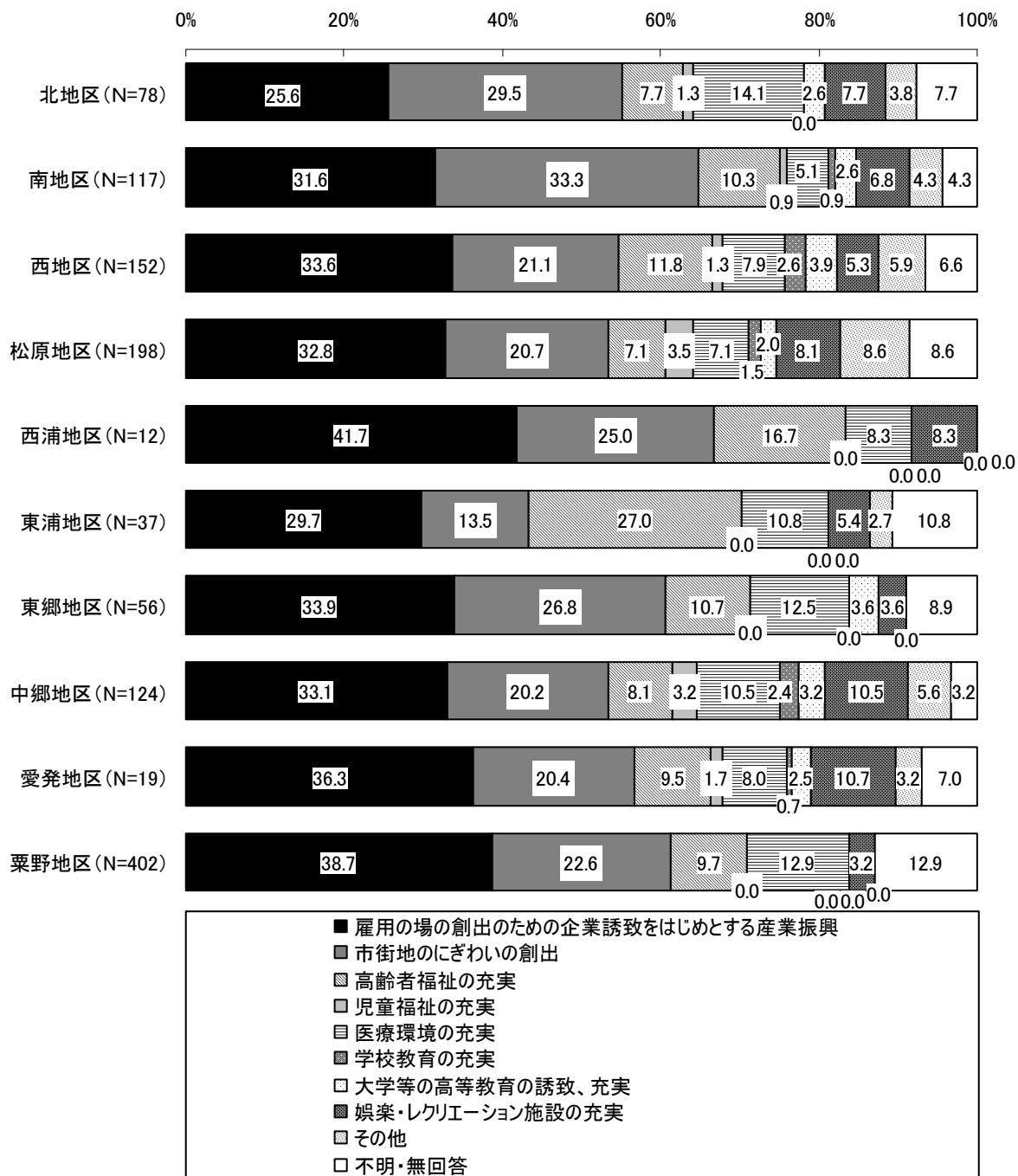
【年齢別】

年齢別についてみると、「10歳代」～「30歳代」では「市街地のにぎわいの創出」、「40歳代」～「70歳代以上」では「雇用の場の創出のための企業誘致をはじめとする産業振興」が最も多くなっています。また年齢が上がるにつれて「市街地のにぎわいの創出」の割合が少なくなっています。



【地区別】

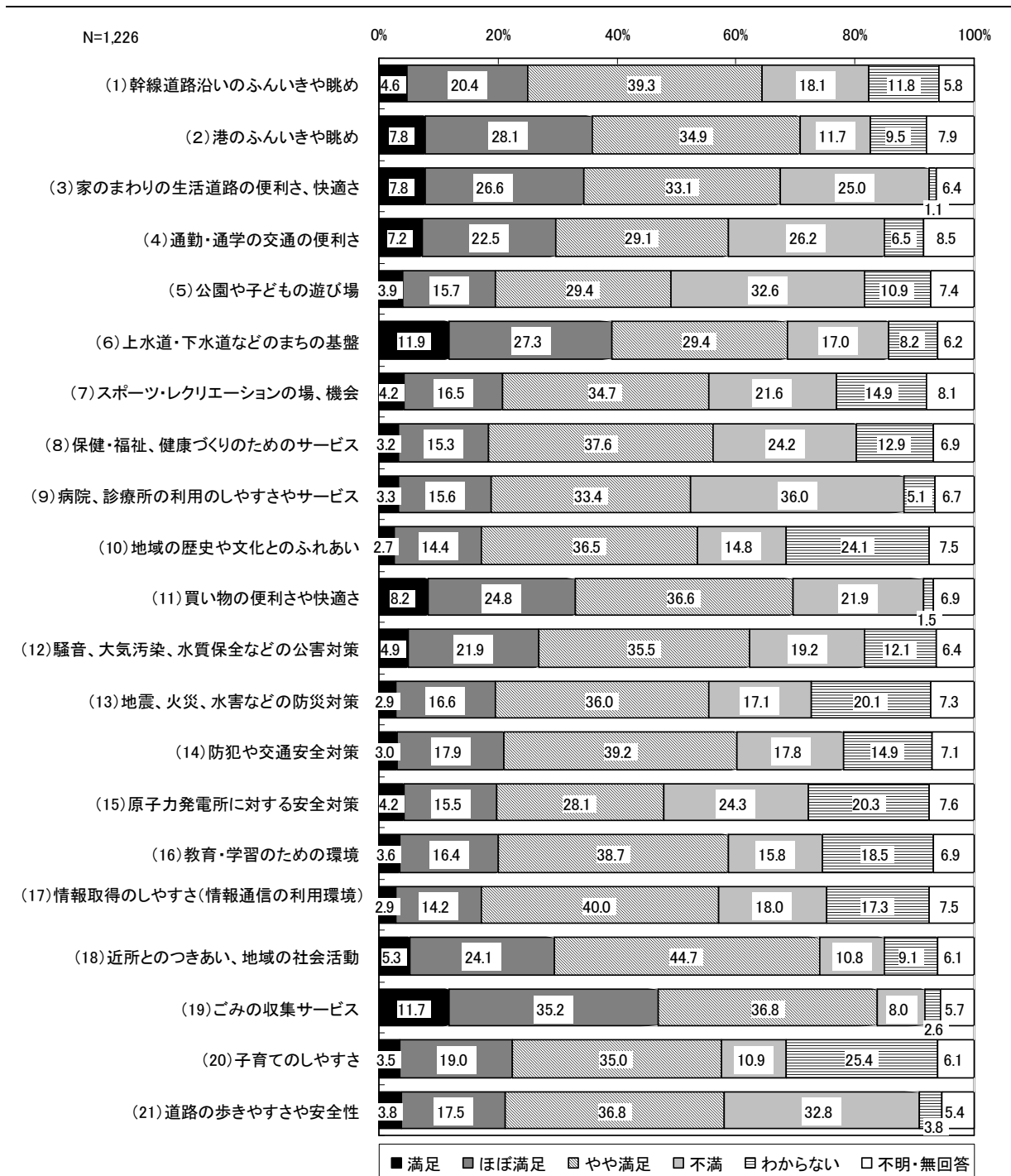
地区別についてみると、「北地区」「南地区」を除くすべての地区で「雇用の場の創出のための企業誘致をはじめとする産業振興」が最も多くなっています。



3 行政サービス全般について

問 17 あなたのお住まいの地域について、日頃どのように評価されていますか。（各項目について、それぞれあてはまる評価に○は一つ）

お住まいの地域の評価についてみると、「(2) 港のふんいきや眺め」「(18) 近所とのつきあい、地域の社会活動」「(19) ごみの収集サービス」では『満足』（「満足」「ほぼ満足」「やや満足」の合計）が7割以上となっています。



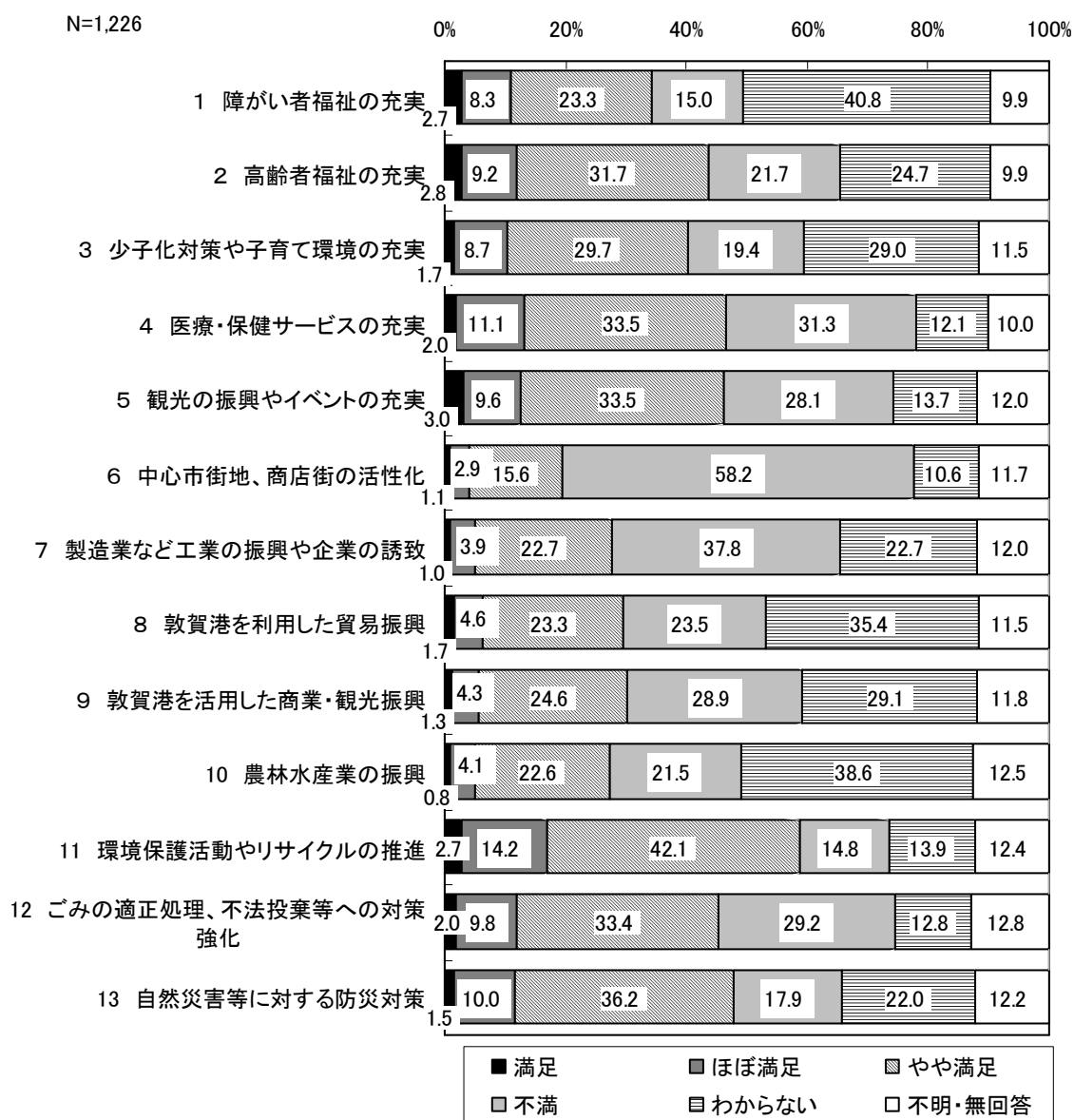
[加重平均]

	加重平均
(1) 幹線道路沿いのふんいきや眺め	2.87
(2) 港のふんいきや眺め	3.14
(3) 家のまわりの生活道路の便利さ、快適さ	3.16
(4) 通勤・通学の交通の便利さ	2.97
(5) 公園や子どもの遊び場	2.67
(6) 上水道・下水道などのまちの基盤	3.19
(7) スポーツ・レクリエーションの場、機会	2.71
(8) 保健・福祉、健康づくりのためのサービス	2.70
(9) 病院、診療所の利用のしやすさやサービス	2.74
(10) 地域の歴史や文化とのふれあい	2.53
(11) 買い物の便利さや快適さ	3.17
(12) 騒音、大気汚染、水質保全などの公害対策	2.88
(13) 地震、火災、水害などの防災対策	2.63
(14) 防犯や交通安全対策	2.75
(15) 原子力発電所に対する安全対策	2.56
(16) 教育・学習のための環境	2.69
(17) 情報取得のしやすさ（情報通信の利用環境）	2.65
(18) 近所とのつきあい、地域の社会活動	3.06
(19) ごみの収集サービス	3.48
(20) 子育てのしやすさ	2.62
(21) 道路の歩きやすさや安全性	2.84

問 18 敦賀市の公共的なサービスや公共施設の整備状況についての「現状の満足度」、また敦賀市のまちづくりにおける「今後の重要度」の評価。(各項目について、それぞれあてはまる評価に○は一つ)

《サービスの充実等（ソフト面の取組み）『現状の満足度』》

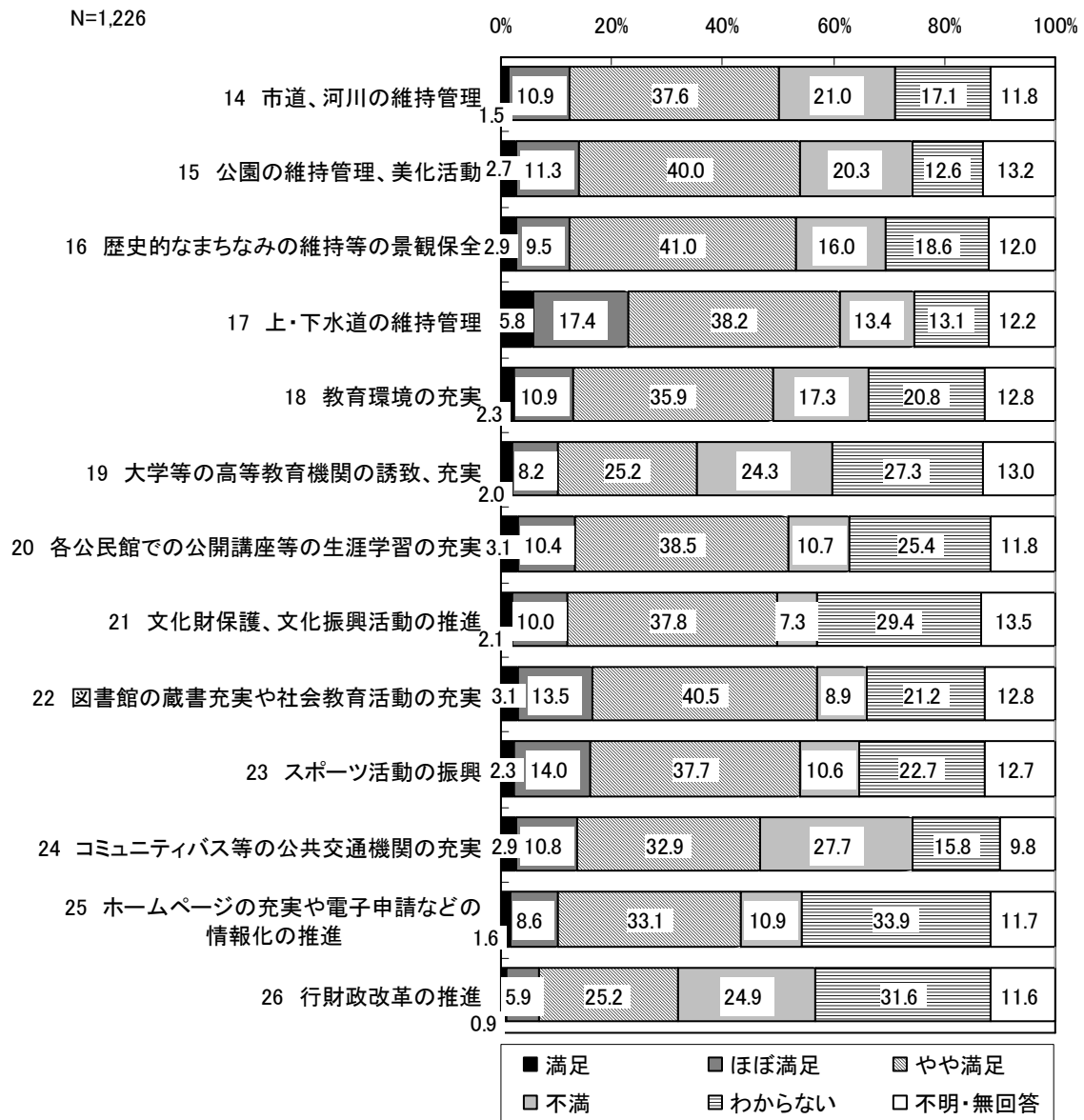
公共的なサービスの「現状の満足度」についてみると、「11 環境保護活動やリサイクルの推進」「17 上・下水道の維持管理」「22 図書館の蔵書充実や社会教育活動の充実」では『満足』（「満足」「ほぼ満足」「やや満足」の合計）が6割前後となっています。



※次ページに続く

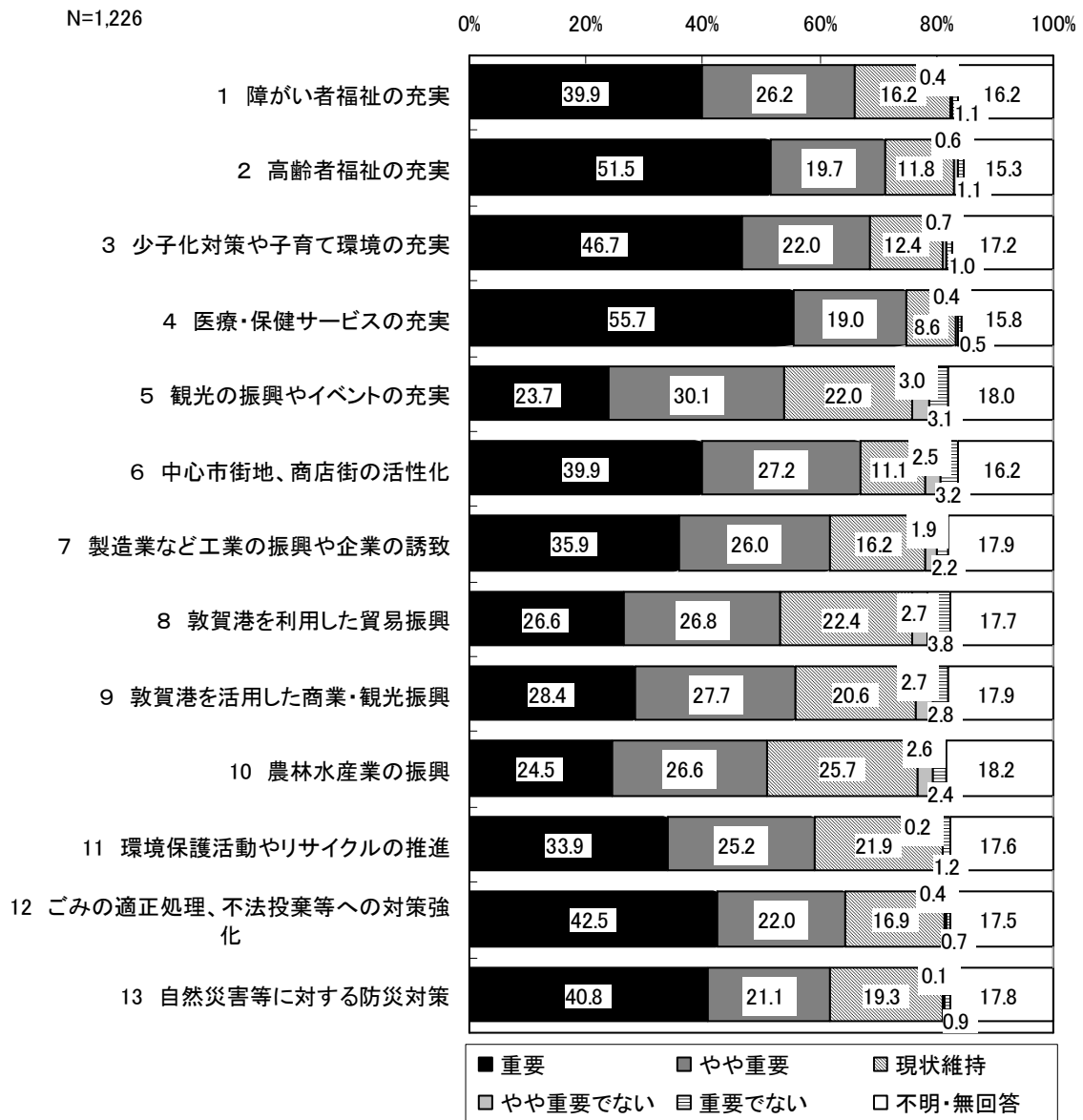
※前ページから続き

《サービスの充実等（ソフト面の取組み）『現状の満足度』》



《サービスの充実等（ソフト面の取組み）『今後の重要度』》

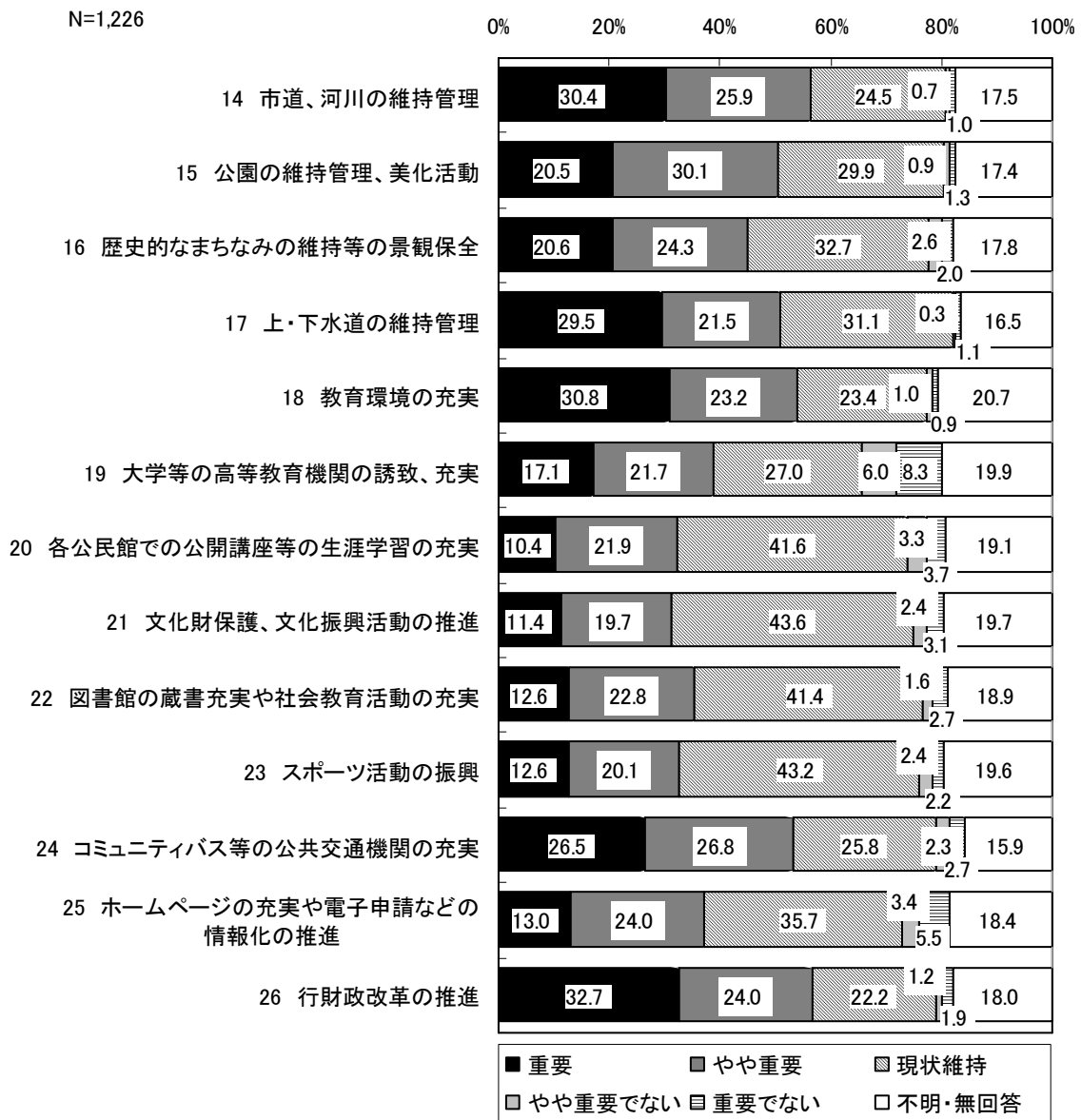
公共的なサービスの「今後の重要度」についてみると、「2 高齢者福祉の充実」「4 医療・保健サービスの充実」では『重要』（「重要」「やや重要」の合計）が7割となっています。



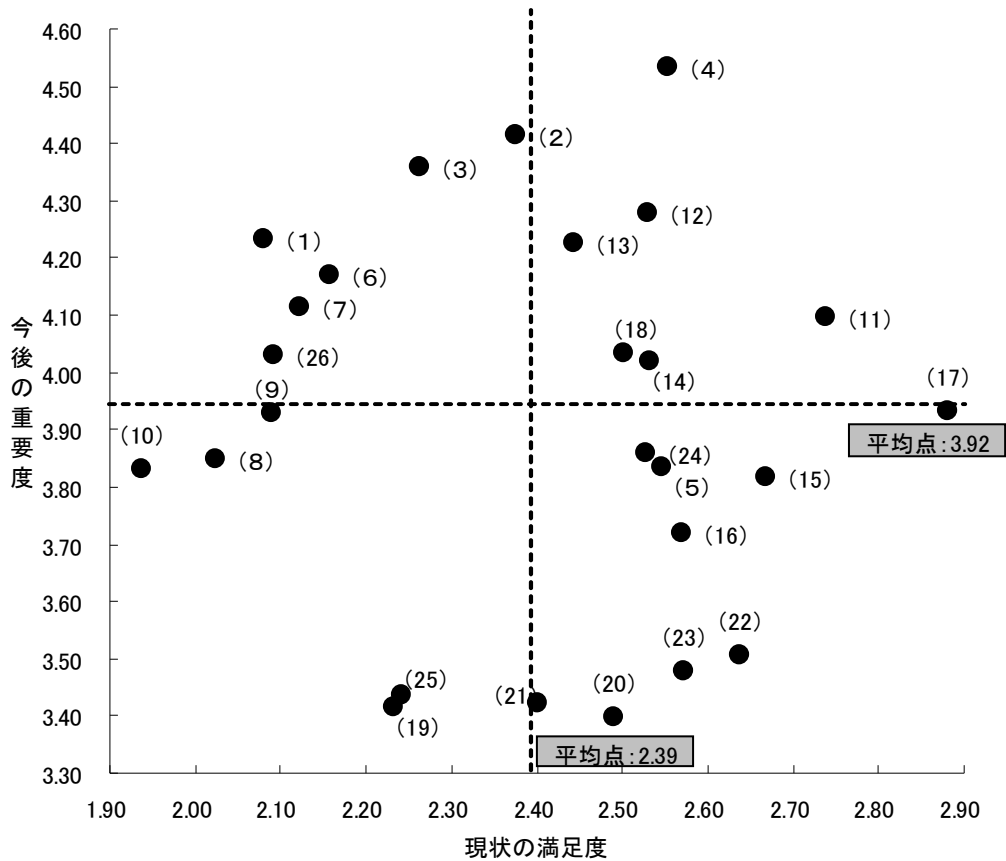
※次ページに続く

※前ページから続き

《サービスの充実等（ソフト面の取組み）『今後の重要度』》



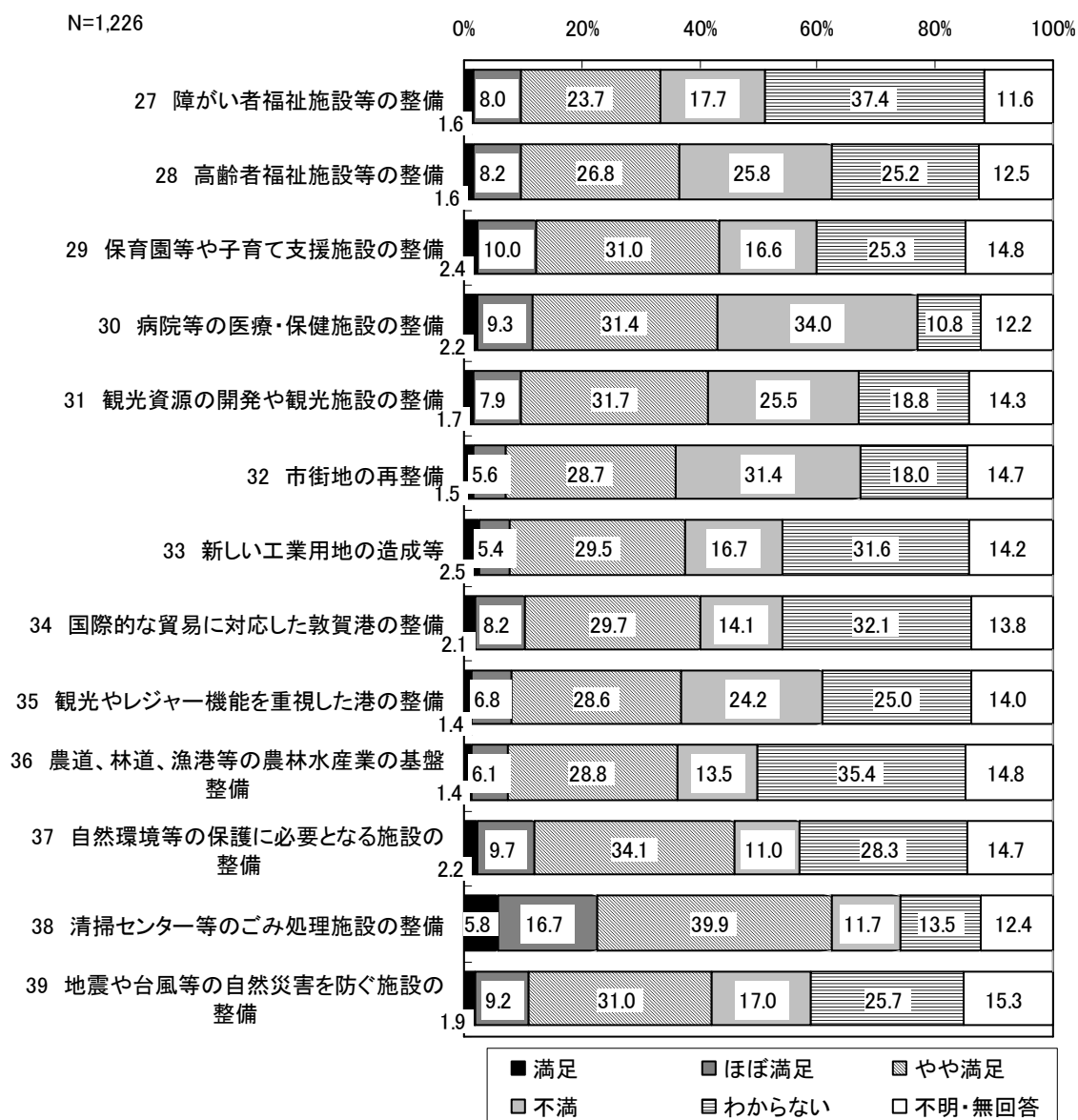
〔サービスの充実等（ソフト面の取組み）の加重平均〕



	現状の満足度	今後の重要度
1 障がい者福祉の充実	2.08	4.23
2 高齢者福祉の充実	2.37	4.41
3 少子化対策や子育て環境の充実	2.26	4.36
4 医療・保健サービスの充実	2.55	4.53
5 観光の振興やイベントの充実	2.55	3.83
6 中心市街地、商店街の活性化	2.16	4.17
7 製造業など工業の振興や企業の誘致	2.12	4.11
8 敦賀港を利用した貿易振興	2.02	3.85
9 敦賀港を活用した商業・観光振興	2.09	3.93
10 農林水産業の振興	1.94	3.83
11 環境保護活動やリサイクルの推進	2.74	4.10
12 ごみの適正処理、不法投棄等への対策強化	2.53	4.28
13 自然災害等に対する防災対策	2.44	4.23
14 市道、河川の維持管理	2.53	4.02
15 公園の維持管理、美化活動	2.67	3.82
16 歴史的なまちなみの維持等の景観保全	2.57	3.72
17 上・下水道の維持管理	2.88	3.93
18 教育環境の充実	2.50	4.03
19 大学等の高等教育機関の誘致、充実	2.23	3.42
20 各公民館での公開講座等の生涯学習の充実	2.49	3.40
21 文化財保護、文化振興活動の推進	2.40	3.42
22 図書館の蔵書充実や社会教育活動の充実	2.64	3.51
23 スポーツ活動の振興	2.57	3.48
24 コミュニティバス等の公共交通機関の充実	2.53	3.86
25 ホームページの充実や電子申請などの情報化の推進	2.24	3.44
26 行財政改革の推進	2.09	4.03

《公共施設の整備等（ハード面の取組み）『現状の満足度』》

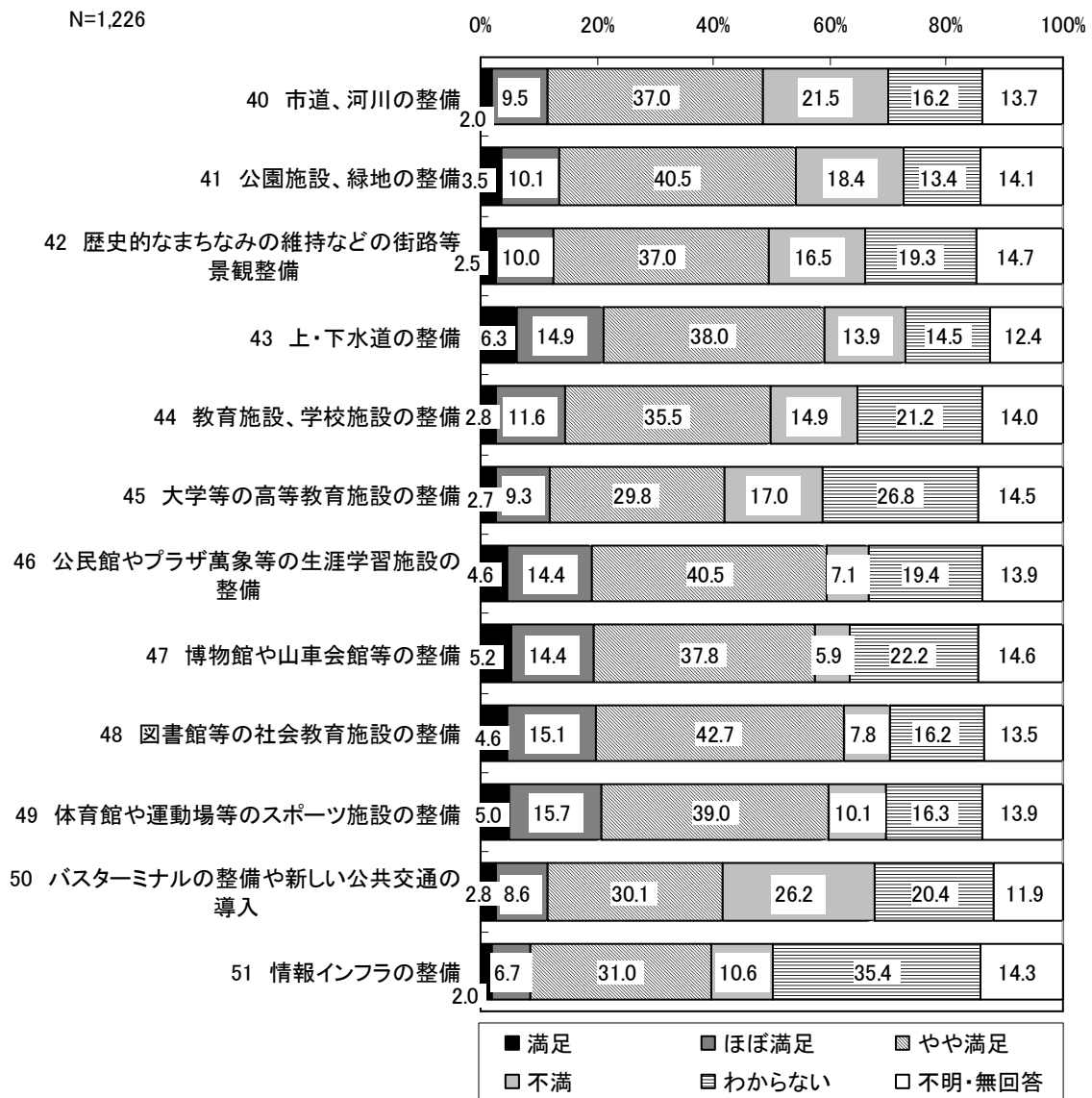
公共施設の整備状況の「現状の満足度」についてみると、「38 清掃センター等のごみ処理施設の整備」「48 図書館等の社会教育施設の整備」では『満足』（「満足」「ほぼ満足」「やや満足」の合計）が6割となっています。



※次ページに続く

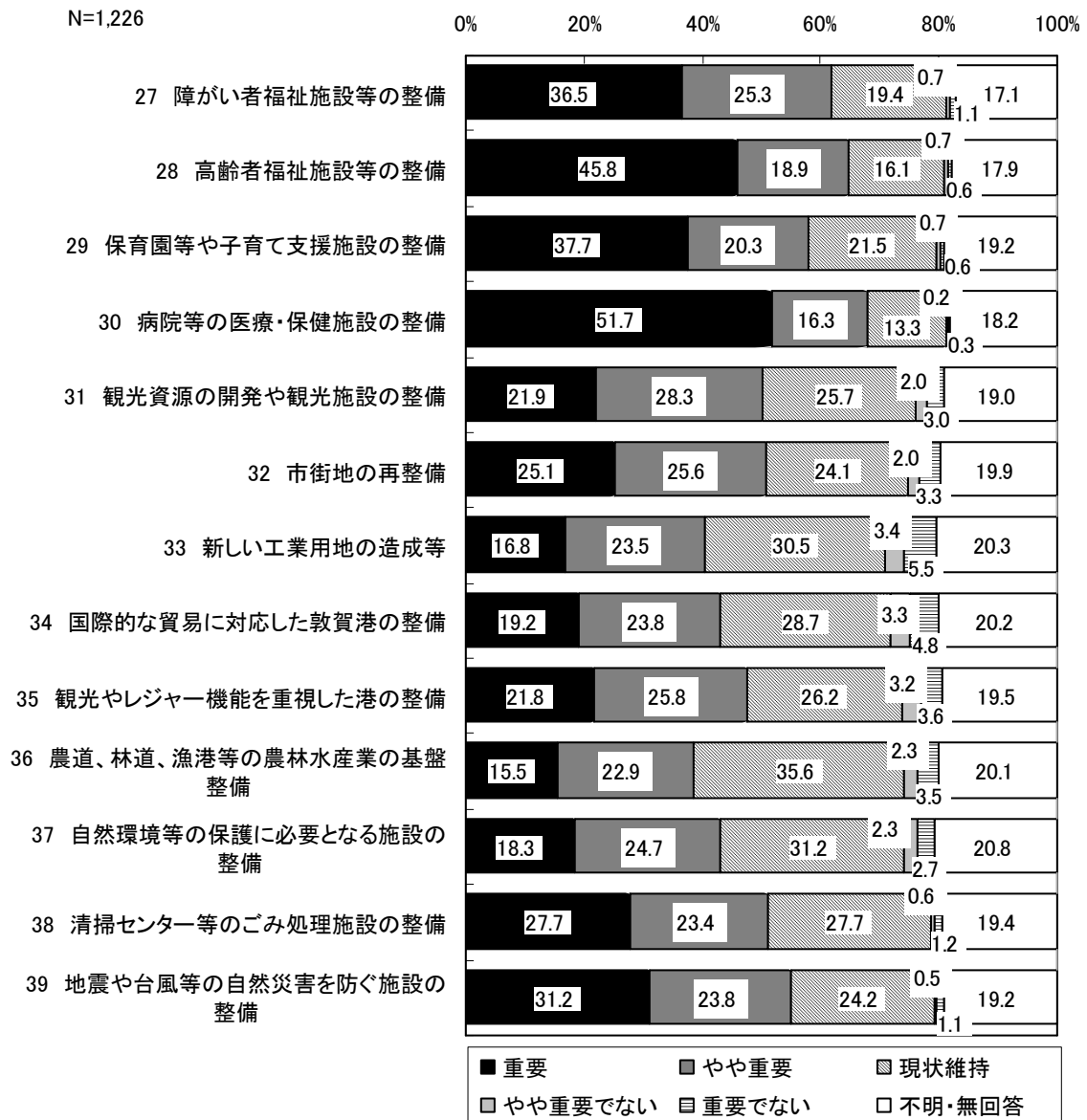
※前ページから続き

《公共施設の整備等（ハード面の取組み）『現状の満足度』》



《公共施設の整備等（ハード面の取組み）『今後の重要度』》

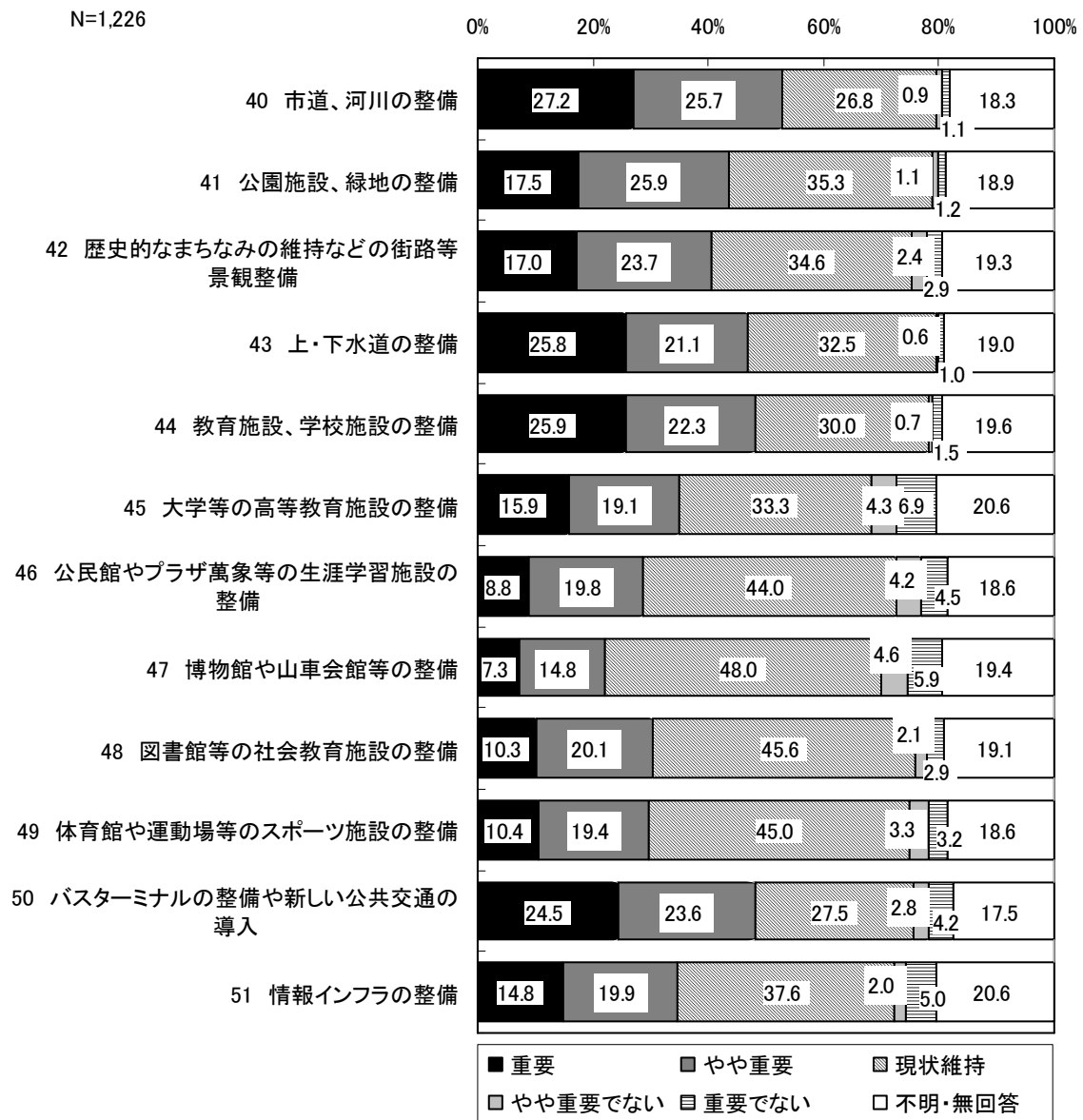
公共施設の整備状況の「今後の重要度」についてみると、「27 障がい者福祉施設等の整備」「28 高齢者福祉施設等の整備」「30 病院等の医療・保健施設の整備」では『重要』（「重要」「やや重要」の合計）が6割となっています。



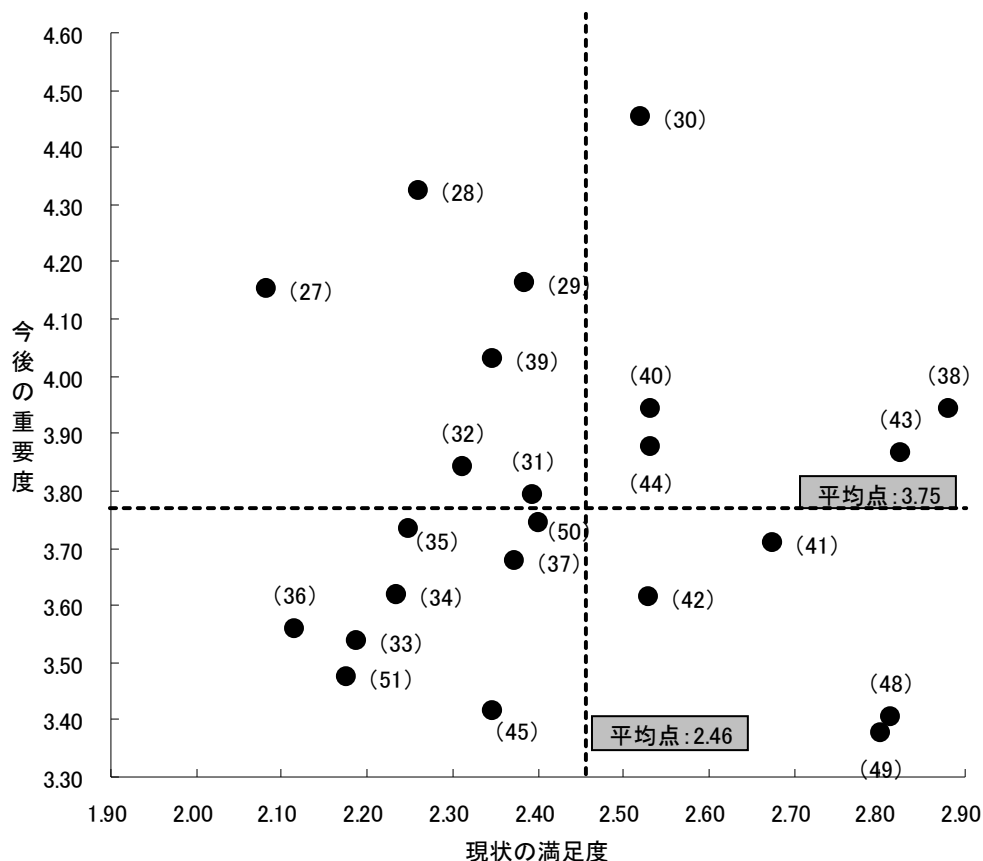
※次ページに続く

※前ページから続き

《公共施設の整備等（ハード面の取組み）『今後の重要度』》



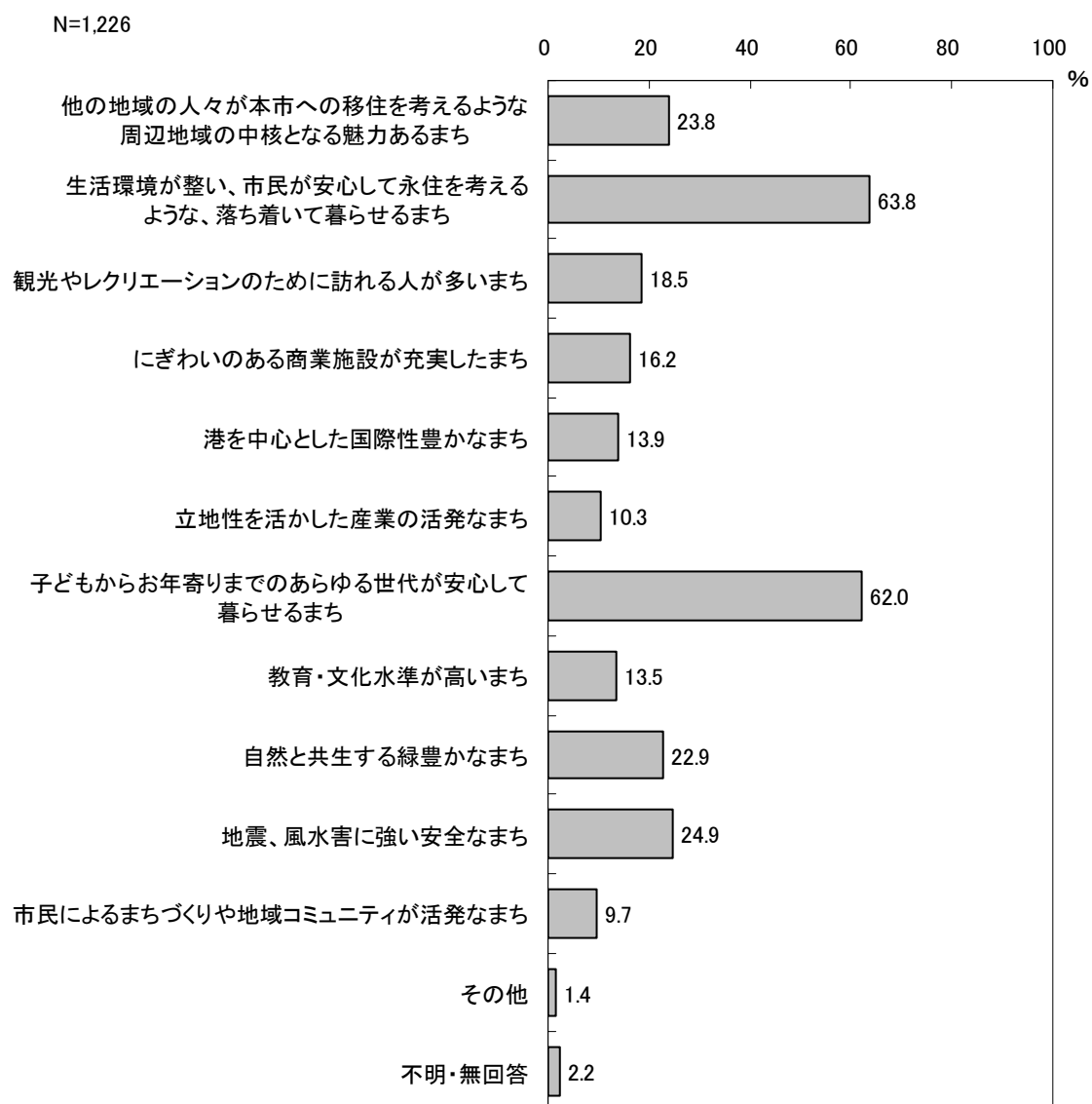
〔公共施設の整備等（ハード面の取組み）の加重平均〕



	現状の満足度	今後の重要度
27 障がい者福祉施設等の整備	2.08	4.15
28 高齢者福祉施設等の整備	2.26	4.32
29 保育園等や子育て支援施設の整備	2.38	4.16
30 病院等の医療・保健施設の整備	2.52	4.45
31 観光資源の開発や観光施設の整備	2.39	3.79
32 市街地の再整備	2.31	3.84
33 新しい工業用地の造成等	2.19	3.54
34 国際的な貿易に対応した敦賀港の整備	2.23	3.62
35 観光やレジャー機能を重視した港の整備	2.25	3.73
36 農道、林道、漁港等の農林水産業の基盤整備	2.11	3.56
37 自然環境等の保護に必要な施設の整備	2.37	3.68
38 清掃センター等のごみ処理施設の整備	2.88	3.94
39 地震や台風等の自然災害を防ぐ施設の整備	2.35	4.03
40 市道、河川の整備	2.53	3.94
41 公園施設、緑地の整備	2.67	3.71
42 歴史的なまちなみの維持などの街路等景観整備	2.53	3.62
43 上・下水道の整備	2.82	3.87
44 教育施設、学校施設の整備	2.53	3.88
45 大学等の高等教育施設の整備	2.35	3.41
46 公民館やプラザ萬象等の生涯学習施設の整備	2.74	3.30
47 博物館や山車会館等の整備	2.70	3.16
48 図書館等の社会教育施設の整備	2.81	3.41
49 体育館や運動場等のスポーツ施設の整備	2.80	3.38
50 バスターミナルの整備や新しい公共交通の導入	2.40	3.74
51 情報インフラの整備	2.18	3.47

問 19 あなたは、敦賀市がどのようなまちになることを期待しますか。(〇は三つ)

敦賀市がどのようなまちになることを期待するかについてみると、「生活環境が整い、市民が安心して永住を考えるような、落ち着いた暮らせるまち」が 63.8%、次いで「子どもからお年寄りまでのあらゆる世代が安心して暮らせるまち」が 62.0%となっています。



【年齢別、地区別】

年齢別についてみると、「30歳代」を除くすべての年齢で「生活環境が整い、市民が安心して永住を考えるような、落ち着いた暮らせるまち」が最も多くなっています。

地区別についてみると、「南地区」「西地区」「栗野地区」を除くすべての地区で「生活環境が整い、市民が安心して永住を考えるような、落ち着いた暮らせるまち」が最も多く、6割以上となっています。

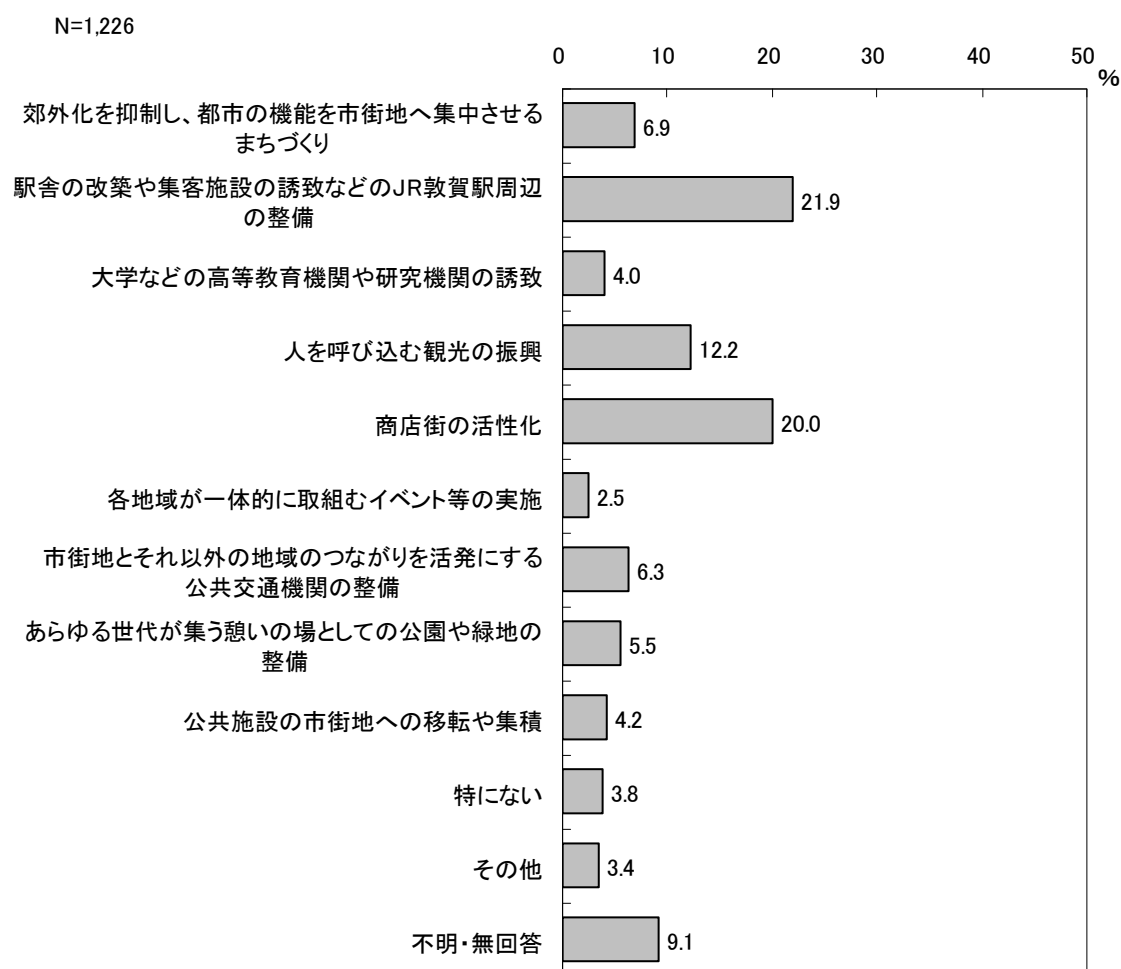
		回答者数 (人)	他の地域の人々が本市への移住を考えるような周辺地域の中核となる魅力あるまち	生活環境が整い、市民が安心して永住を考えるような、落ち着いた暮らせるまち	観光やレクリエーションのために訪れる人が多いまち	にぎわいのある商業施設が充実したまち	港を中心とした国際性豊かなまち	立地性を活かした産業の活発なまち	子どもからお年寄りまでのあらゆる世代が安心して暮らせるまち
年齢別	10歳代	18	16.7	66.7	11.1	50.0	16.7	-	61.1
	20歳代	93	23.7	58.1	28.0	24.7	10.8	9.7	63.4
	30歳代	152	17.8	62.5	22.4	22.4	8.6	10.5	69.1
	40歳代	180	25.0	63.3	18.9	23.9	7.8	12.8	61.7
	50歳代	234	27.4	65.8	19.7	15.8	15.4	10.3	62.8
	60歳代	252	21.4	63.9	17.9	11.1	15.9	11.1	59.1
	70歳代以上	249	27.7	63.1	12.4	6.8	19.3	8.8	61.4
地区別	北地区	78	23.1	69.2	15.4	16.7	15.4	10.3	59.0
	南地区	117	22.2	62.4	27.4	17.1	10.3	12.8	64.1
	西地区	152	22.4	61.2	17.1	15.1	15.8	7.2	61.2
	松原地区	198	21.7	63.1	17.7	15.7	16.2	11.1	62.6
	西浦地区	12	8.3	75.0	25.0	16.7	8.3	16.7	58.3
	東浦地区	37	8.1	81.1	10.8	10.8	21.6	2.7	73.0
	東郷地区	56	33.9	66.1	17.9	10.7	10.7	5.4	64.3
	中郷地区	124	26.6	67.7	18.5	11.3	12.1	12.9	66.1
	愛発地区	19	31.6	63.2	10.5	5.3	15.8	-	57.9
	栗野地区	402	25.4	60.7	18.9	20.4	13.4	10.9	60.9

		回答者数 (人)	教育・文化水準が高いまち	自然と共生する緑豊かなまち	地震、風水害に強い安全なまち	市民によるまちづくりや地域コミュニティが活発なまち	その他	不明・無回答
年齢別	10歳代	18	16.7	38.9	5.6	11.1	5.6	-
	20歳代	93	20.4	19.4	14.0	10.8	2.2	2.2
	30歳代	152	17.8	28.9	19.1	7.9	2.0	-
	40歳代	180	20.0	26.7	20.0	8.9	1.1	0.6
	50歳代	234	11.5	20.9	25.2	9.8	1.3	0.9
	60歳代	252	11.1	25.4	27.4	9.9	1.2	2.8
	70歳代以上	249	8.0	16.9	33.7	10.0	0.8	4.8
地区別	北地区	78	10.3	30.8	21.8	12.8	1.3	-
	南地区	117	21.4	20.5	21.4	7.7	0.9	1.7
	西地区	152	13.2	23.7	26.3	10.5	0.7	2.6
	松原地区	198	13.6	21.7	25.3	11.1	2.5	2.0
	西浦地区	12	-	8.3	33.3	8.3	-	8.3
	東浦地区	37	10.8	32.4	37.8	2.7	-	-
	東郷地区	56	12.5	21.4	26.8	12.5	3.6	-
	中郷地区	124	12.9	24.2	21.8	11.3	0.8	1.6
	愛発地区	19	26.3	26.3	36.8	15.8	-	-
	栗野地区	402	11.9	22.1	23.9	8.0	1.5	3.0

4 施策分野ごとに対してあなたが考える今後の方向性について

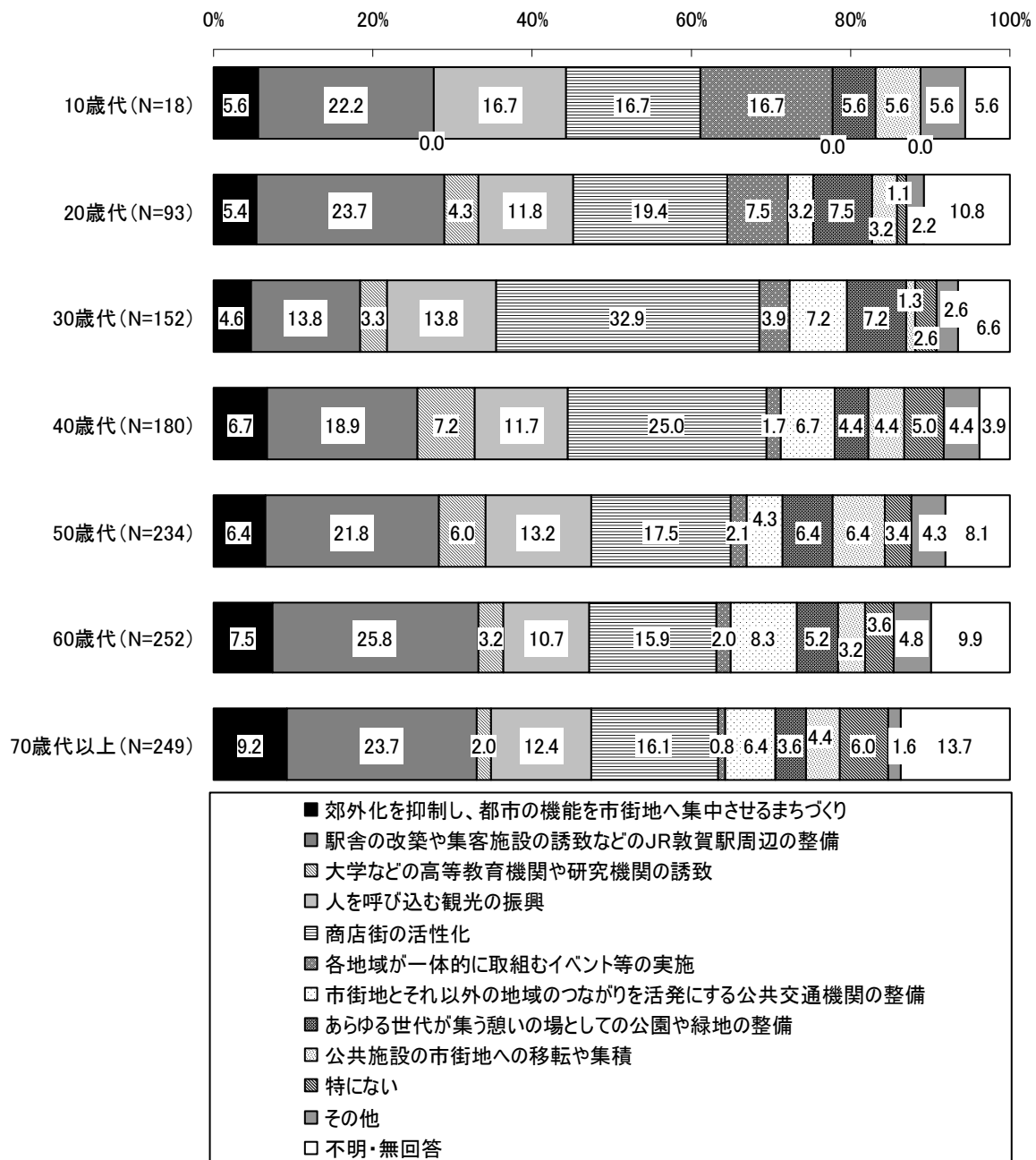
問 20 あなたは、郊外化などにより市街地の衰退が進む中で、市街地を活性化するために、どのようなことに力を入れるべきと考えますか。(〇は一つ)

市街地を活性化するために、どのようなことに力を入れるべきかについてみると、「駅舎の改築や集客施設の誘致などのJR敦賀駅周辺の整備」が21.9%、次いで「商店街の活性化」が20.0%となっています。



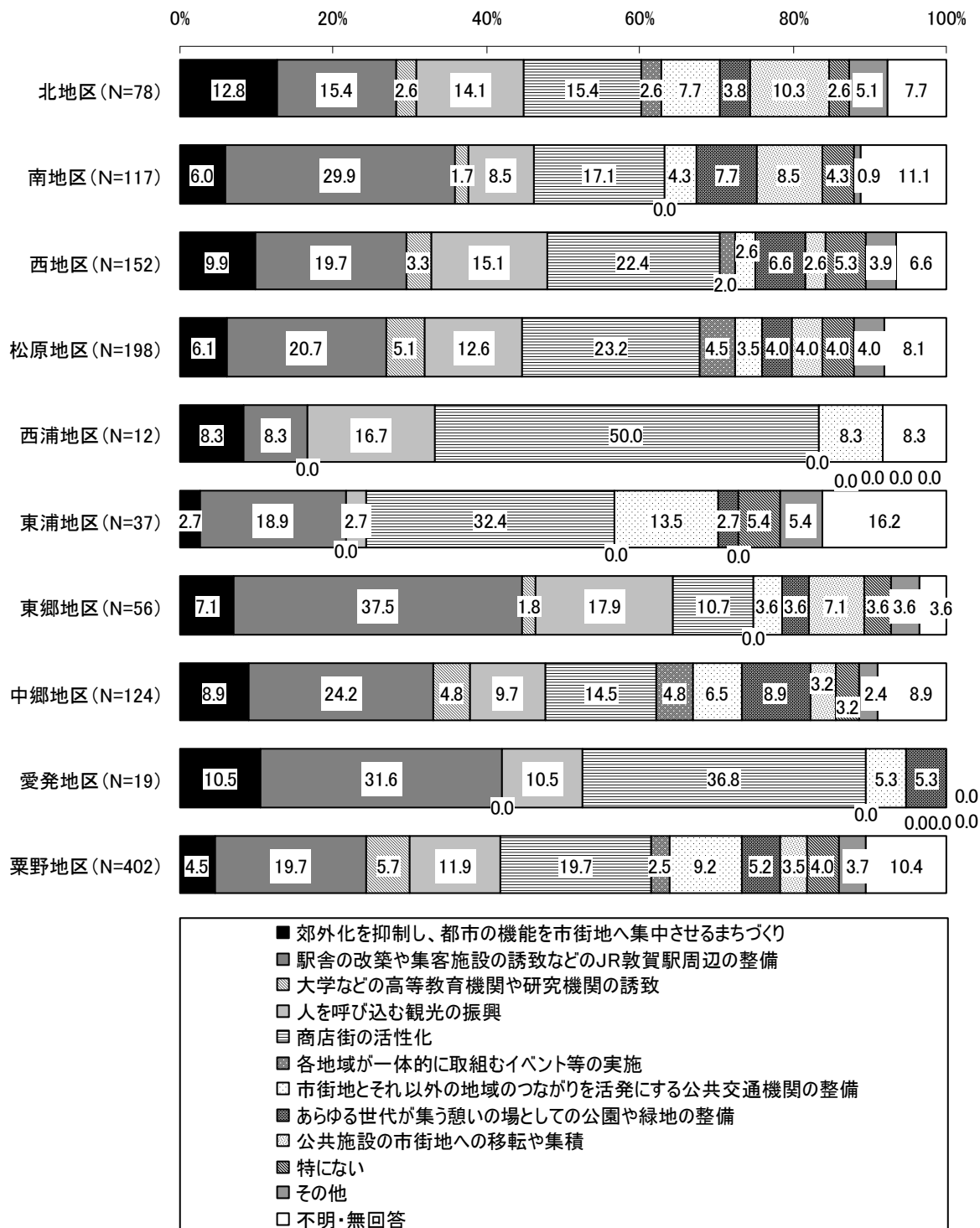
【年齢別】

年齢別についてみると、「30歳代」「40歳代」では「商店街の活性化」、その他のすべての年齢では「駅舎の改築や集客施設の誘致などのJR敦賀駅周辺の整備」が最も多くなっています。



【地区別】

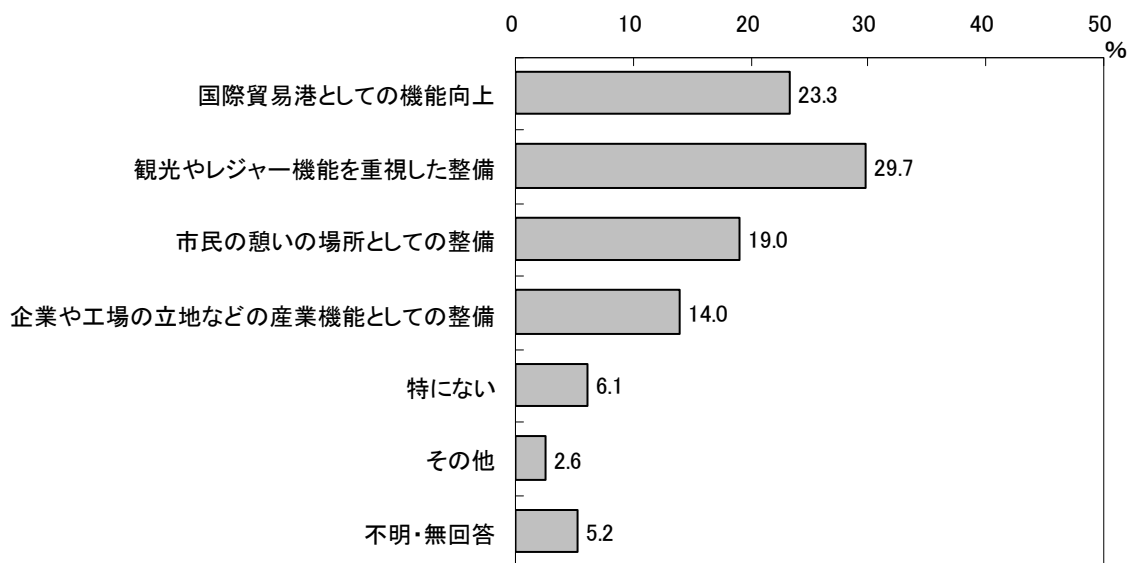
地区別についてみると、「南地区」「東郷地区」「中郷地区」では「駅舎の改築や集客施設の誘致などのJR 敦賀駅周辺の整備」が最も多くなっています。



問 21 あなたは、敦賀の顔である敦賀港を活性化するために、どのようなことに力を入れるべきと考えますか。(〇は一つ)

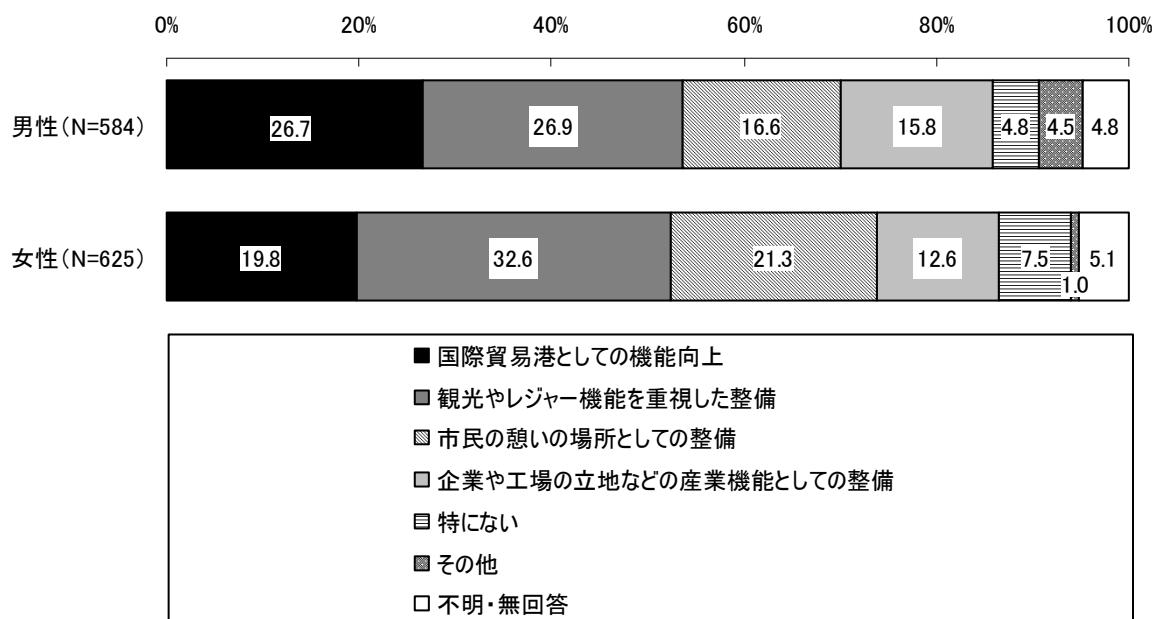
敦賀の顔である敦賀港を活性化するために、どのようなことに力を入れるべきかについてみると、「観光やレジャー機能を重視した整備」が 29.7%と最も多く、次いで「国際貿易港としての機能向上」が 23.3%となっています。

N=1,226



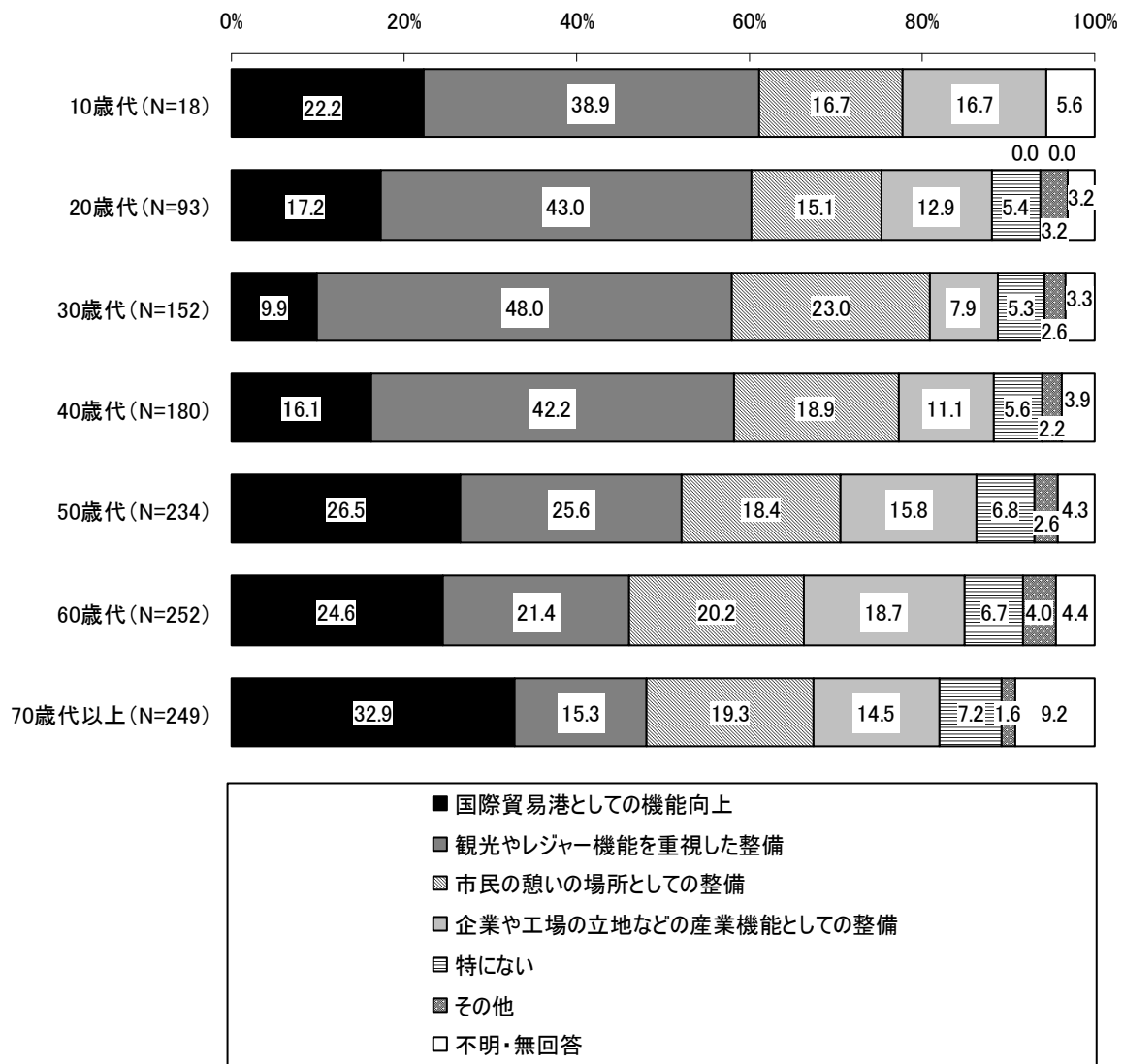
【性別】

性別についてみると、「男性」「女性」とともに「観光やレジャー機能を重視した整備」が最も多くなっています。「国際貿易港としての機能向上」では男女で比較すると「男性」の方が 6.9 ポイント多くなっています。



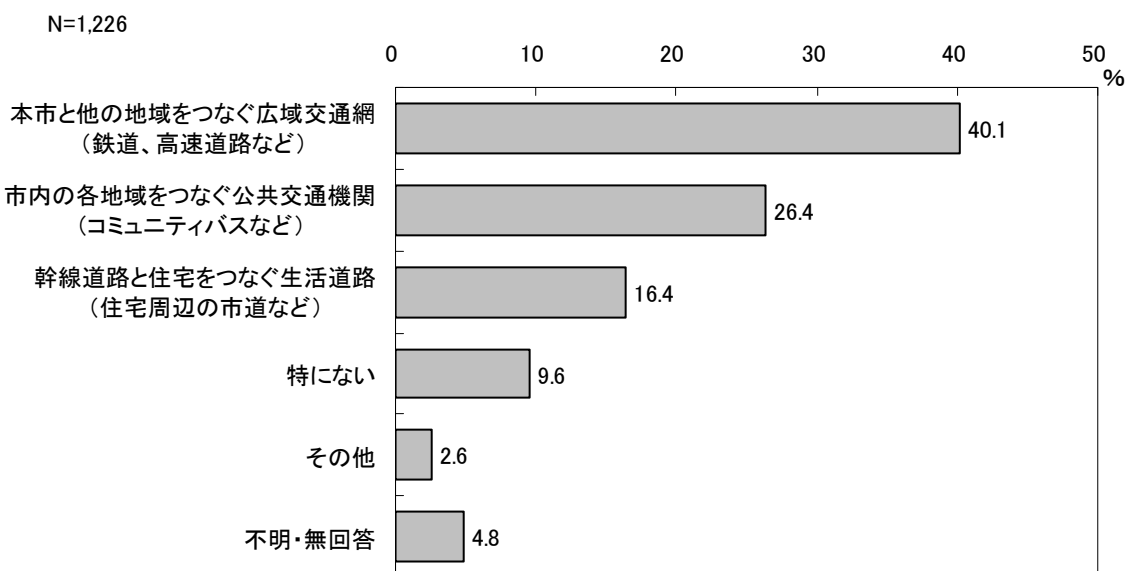
【年齢別】

年齢別についてみると、「10歳代」～「40歳代」では「観光やレジャー機能を重視した整備」が最も多く、「50歳代」～「70歳代以上」では「国際貿易港としての機能向上」が最も多くなっています。



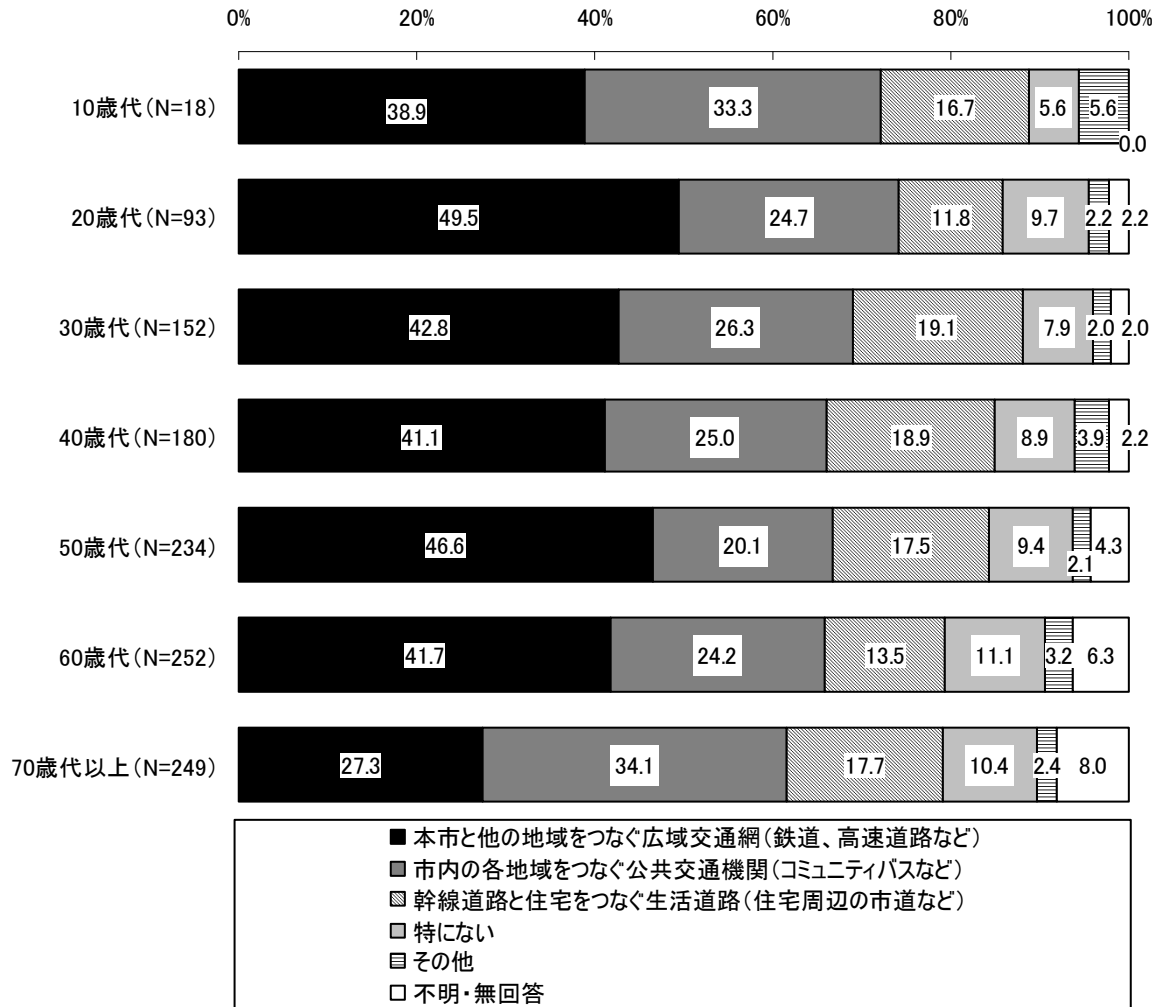
問 22 あなたは、生活や産業の発展に必要な交通網の整備について、どのようなことに力を入れるべきと考えますか。(〇は一つ)

生活や産業の発展に必要な交通網の整備について、どのようなことに力を入れるべきかについてみると、「本市と他の地域をつなぐ広域交通網（鉄道、高速道路など）」が40.1%と最も多く、次いで「市内の各地域をつなぐ公共交通機関（コミュニティバスなど）」が26.4%となっています。



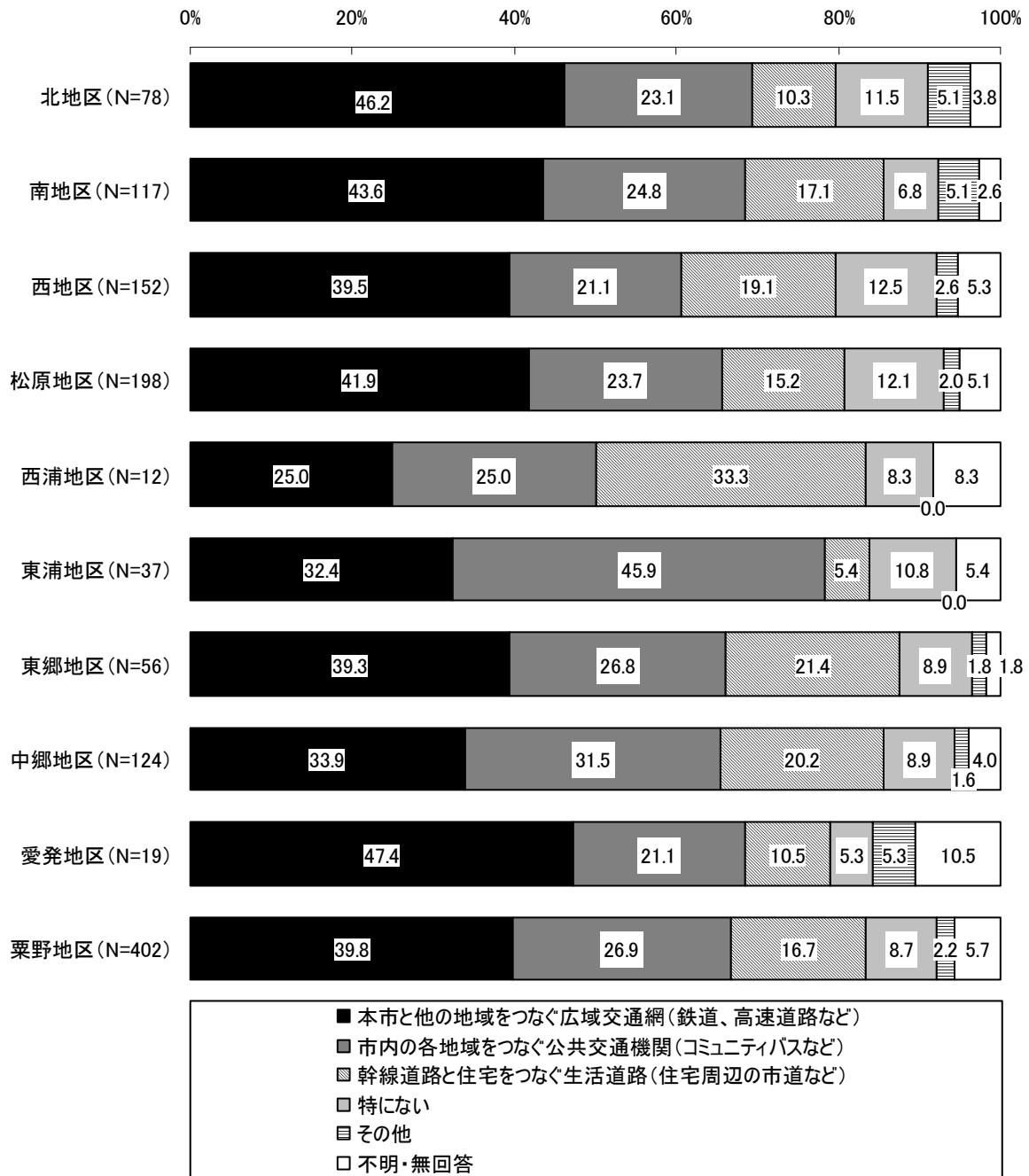
【年齢別】

年齢別についてみると、「70歳代以上」を除くすべての年齢で「本市と他の地域をつなぐ広域交通網（鉄道、高速道路など）」が最も多くなっています。



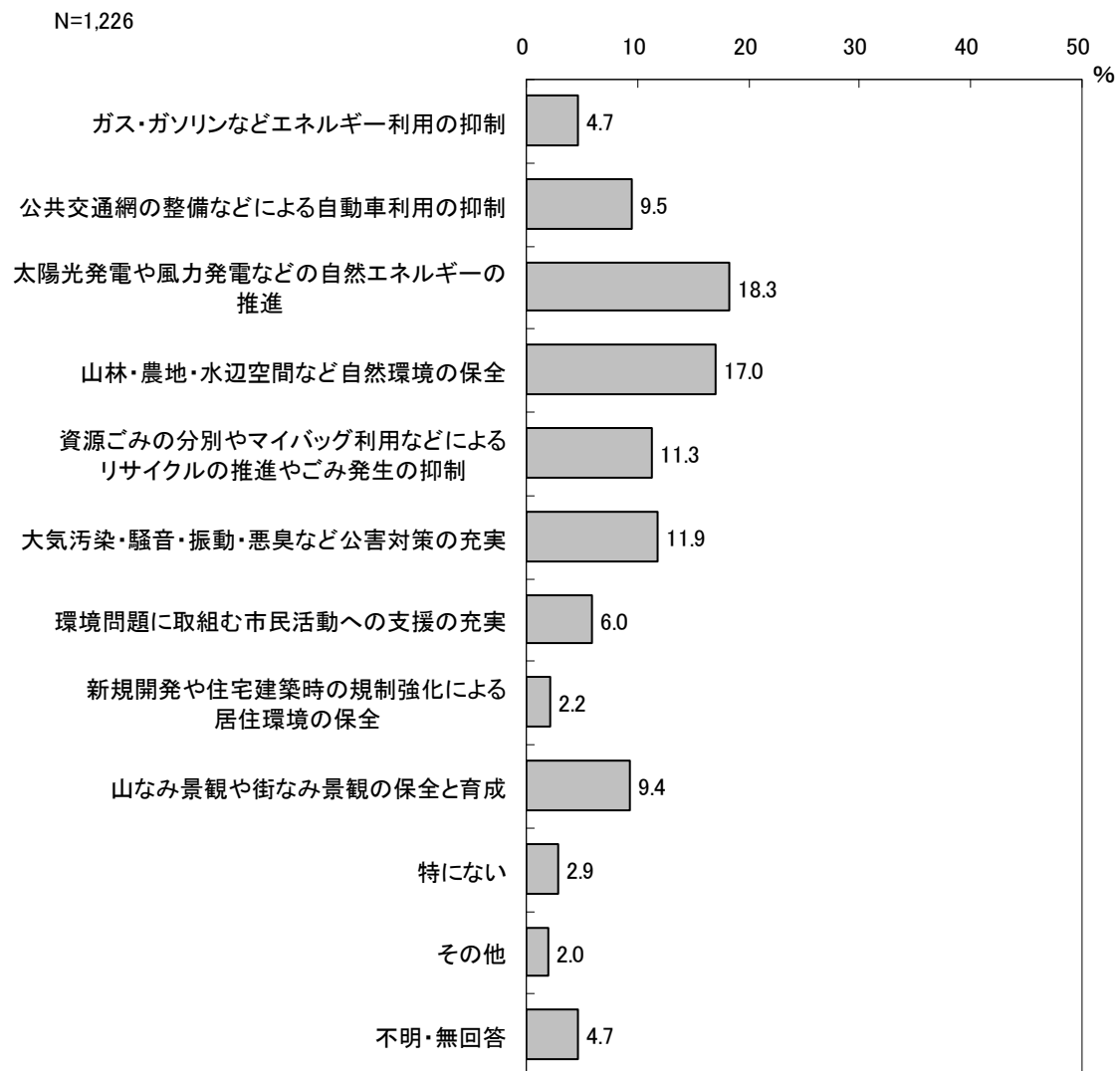
【地区別】

地区別についてみると、「西浦地区」「東浦地区」を除くすべての地区で「本市と他の地域をつなぐ広域交通網（鉄道、高速道路など）」が最も多くなっています。



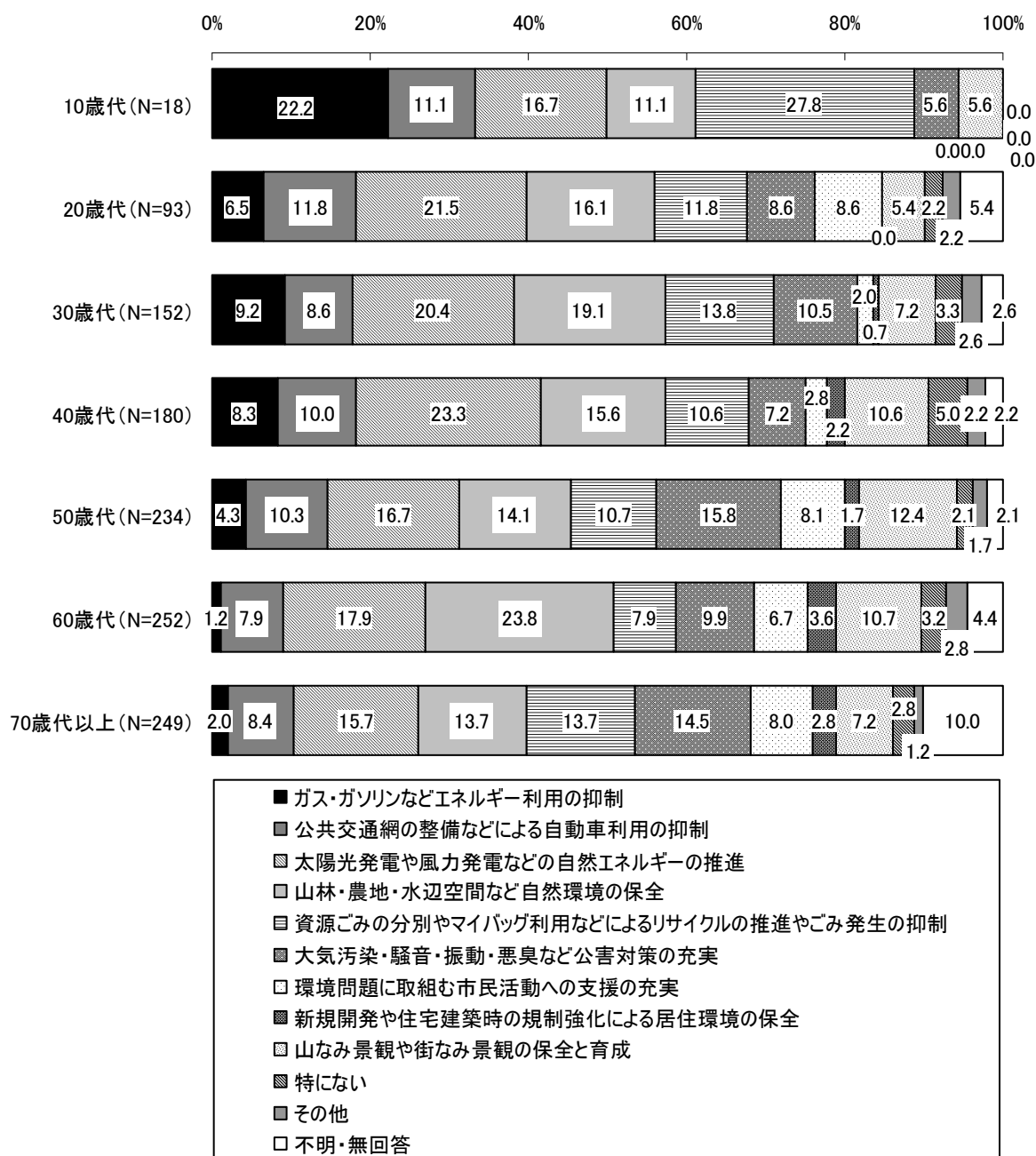
問 23 あなたは、環境を良くするうえで、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇は一つ)

環境を良くするうえで、どのようなことに力を入れるべきかについてみると、「太陽光発電や風力発電などの自然エネルギーの推進」が 18.3%と最も多く、次いで「山林・農地・水辺空間など自然環境の保全」が 17.0%となっています。



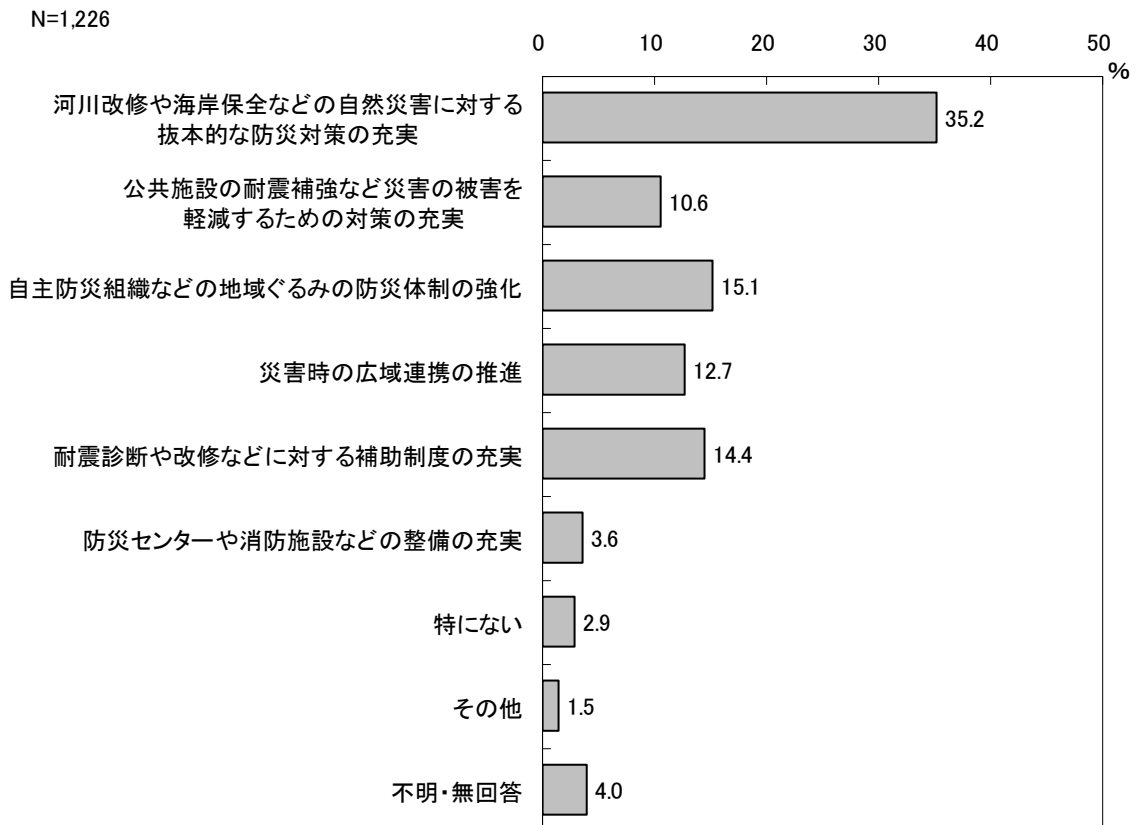
【年齢別】

年齢別についてみると、「10歳代」「60歳代」を除くすべての年齢で「太陽光発電や風力発電などの自然エネルギーの推進」が最も多くなっています。



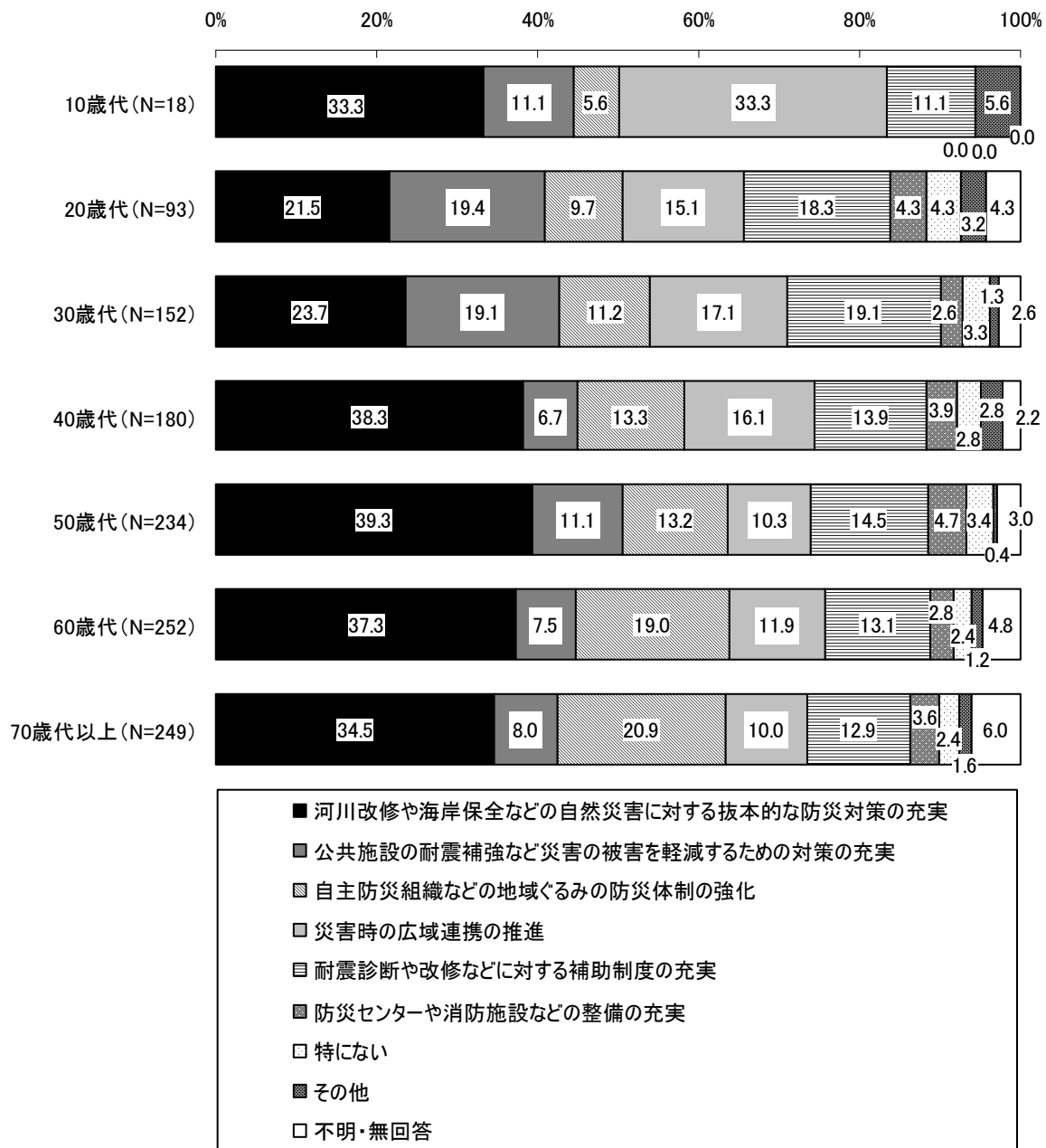
問 24 あなたは、地震や台風などの災害による被害を防ぐ取組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇は一つ)

地震や台風などの災害による被害を防ぐ取組みとして、どのようなことに力を入れるべきかについてみると、「河川改修や海岸保全などの自然災害に対する抜本的な防災対策の充実」が35.2%と最も多く、次いで「自主防災組織などの地域ぐるみの防災体制の強化」が15.1%となっています。



【年齢別】

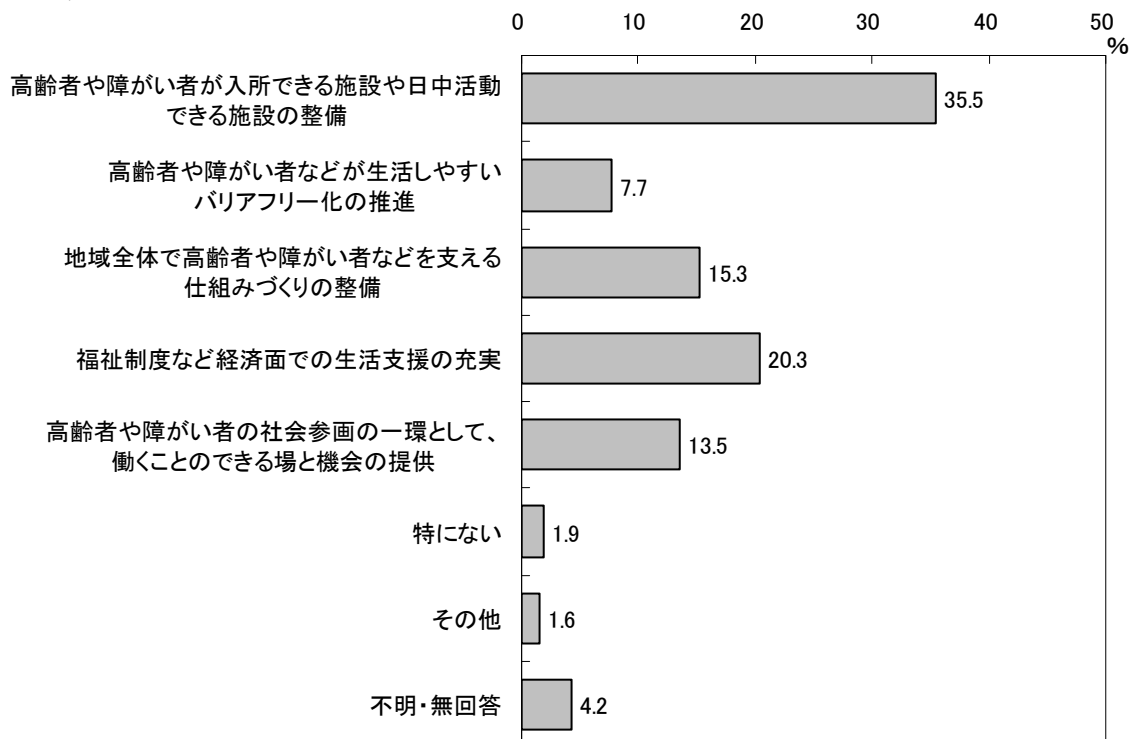
年齢別についてみると、「20歳代」以上では「河川改修や海岸保全などの自然災害に対する抜本的な防災対策の充実」が最も多くなっています。また、「自主防災組織などの地域ぐるみの防災体制の強化」では、年齢が上がるにつれて割合が多くなっています。



問 25 あなたは、福祉を充実させるために、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(〇は一つ)

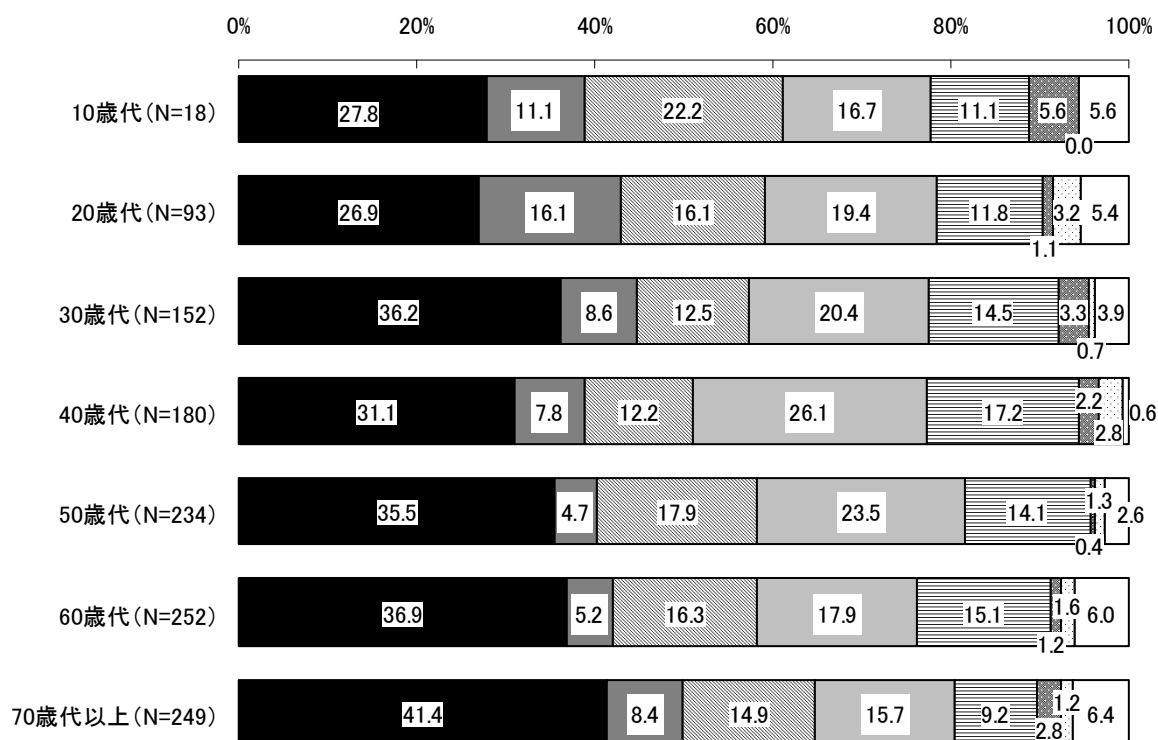
今後の福祉を充実させるために、どのようなことに力を入れるべきかについてみると、「高齢者や障がい者が入所できる施設や日中活動できる施設の整備」が 35.5%と最も多く、次いで「福祉制度など経済面での生活支援の充実」が 20.3%となっています。

N=1,226



【年齢別】

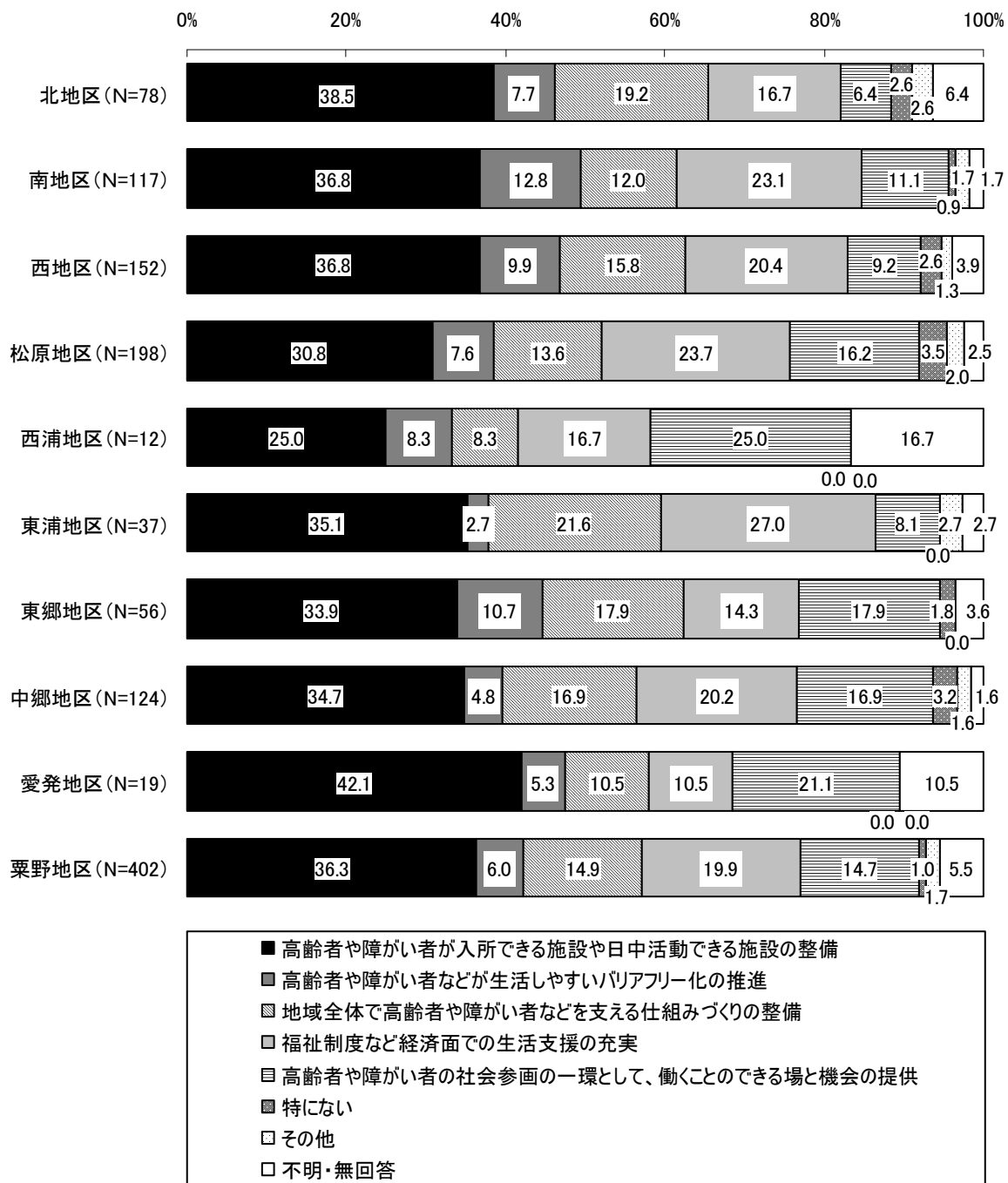
年齢別についてみると、すべての年齢で「高齢者や障がい者が入所できる施設や日中活動できる施設の整備」が最も多く、「70歳代以上」では4割以上となっています。



- 高齢者や障がい者が入所できる施設や日中活動できる施設の整備
- 高齢者や障がい者などが生活しやすいバリアフリー化の推進
- ▨ 地域全体で高齢者や障がい者などを支える仕組みづくりの整備
- 福祉制度など経済面での生活支援の充実
- ▨ 高齢者や障がい者の社会参画の一環として、働くことのできる場と機会の提供
- 特にない
- その他
- 不明・無回答

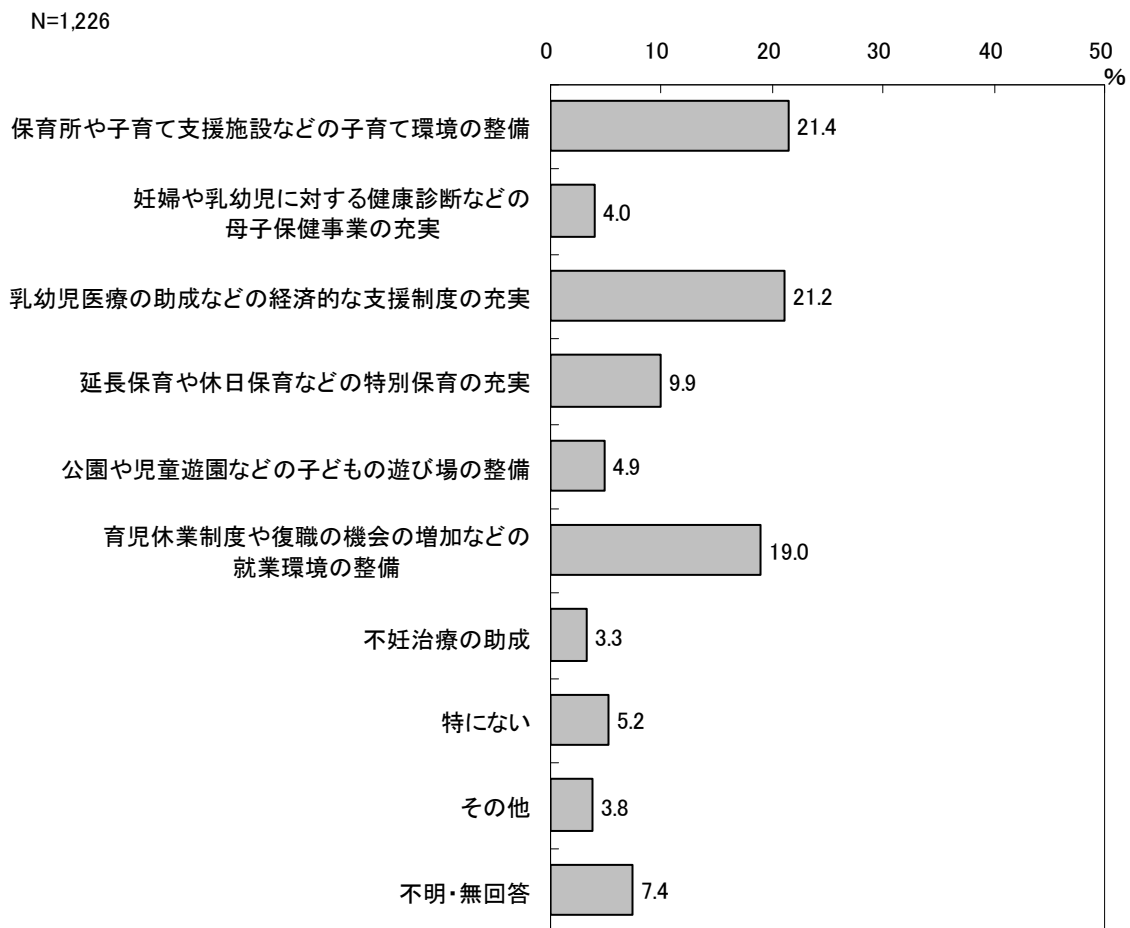
【地区別】

地区別についてみると、「西浦地区」を除くすべての地区で「高齢者や障がい者が入所できる施設や日中活動できる施設の整備」が最も多く、3割以上となっています。



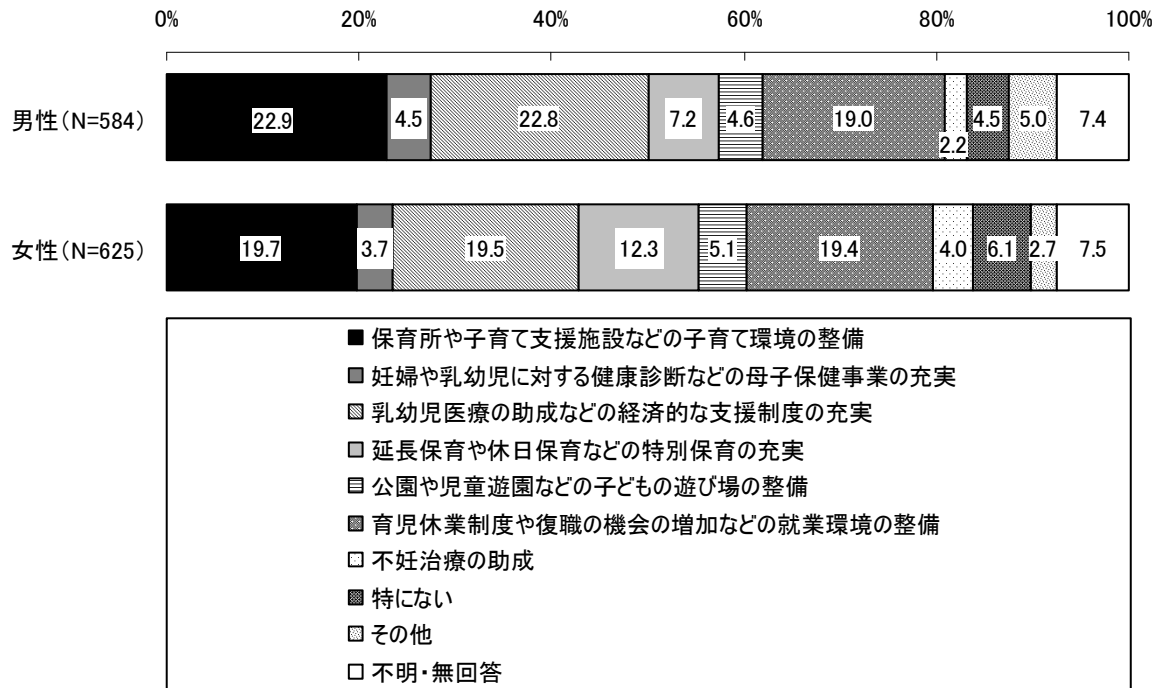
問 26 あなたは、少子化に対応するために、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(〇は一つ)

少子化に対応するために、どのようなことに力を入れるべきかについてみると、「保育所や子育て支援施設などの子育て環境の整備」が 21.4%、次いで「乳幼児医療の助成などの経済的な支援制度の充実」が 21.2%となっています。



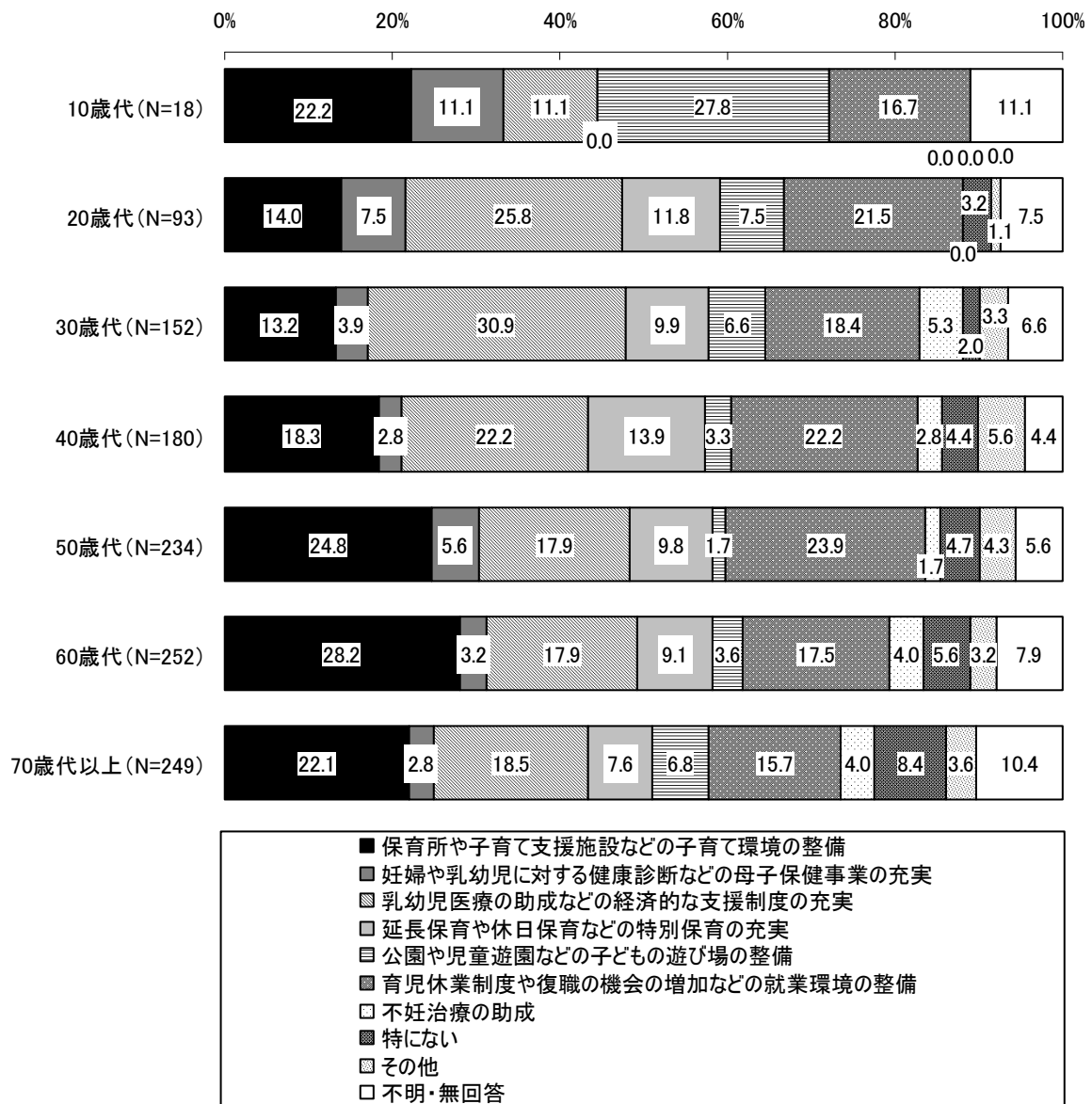
【性別】

性別についてみると、「男性」「女性」ともに「保育所や子育て支援施設などの子育て環境の整備」が最も多くなっています。



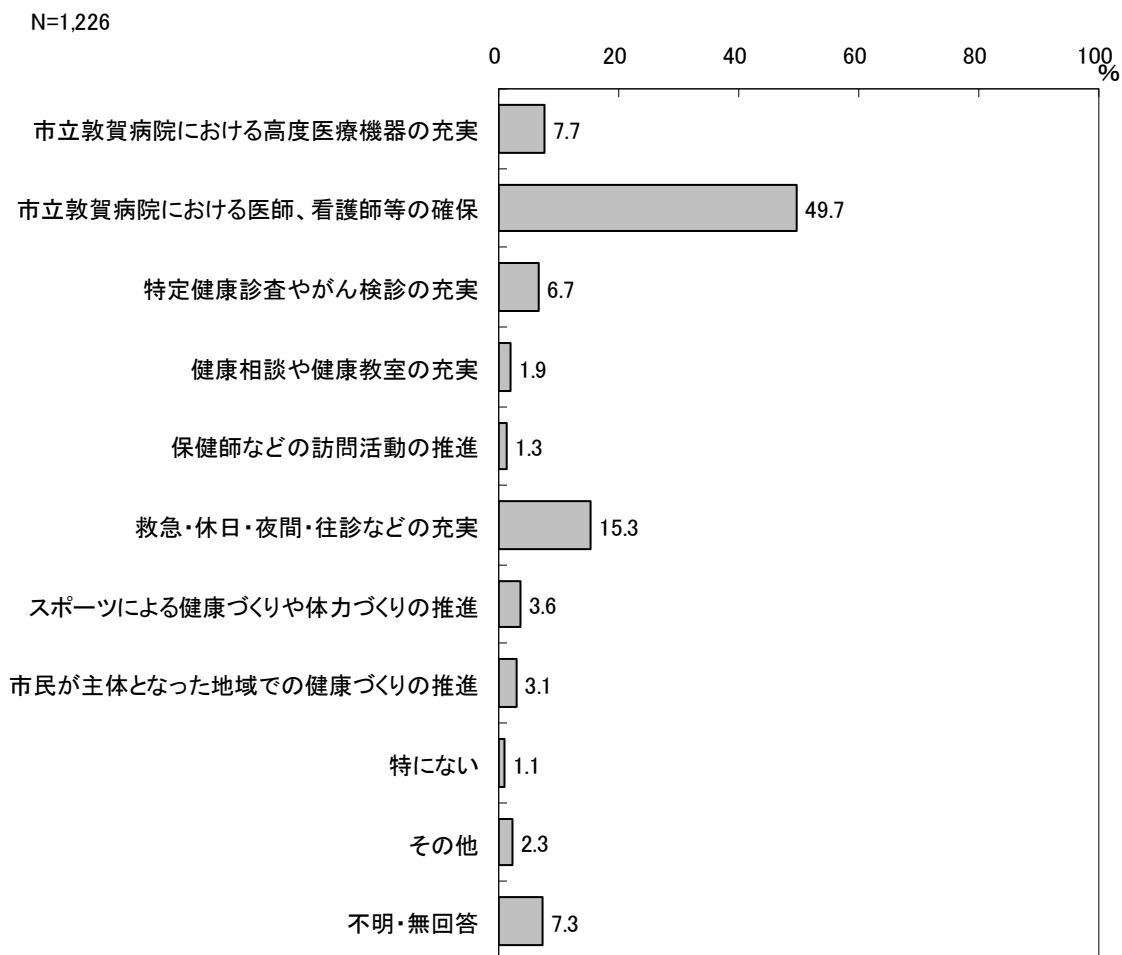
【年齢別】

年齢別についてみると、「10 歳代」では「公園や児童遊園などの子どもの遊び場の整備」、「20 歳代」～「30 歳代」では「乳幼児医療の助成などの経済的な支援制度の充実」、「40 歳代」では「乳幼児医療の助成などの経済的な支援制度の充実」「育児休業制度や復職の機会の増加などの就業環境の整備」、「50 歳代」以上では「保育所や子育て支援施設などの子育て環境の整備」が最も多くなっています。



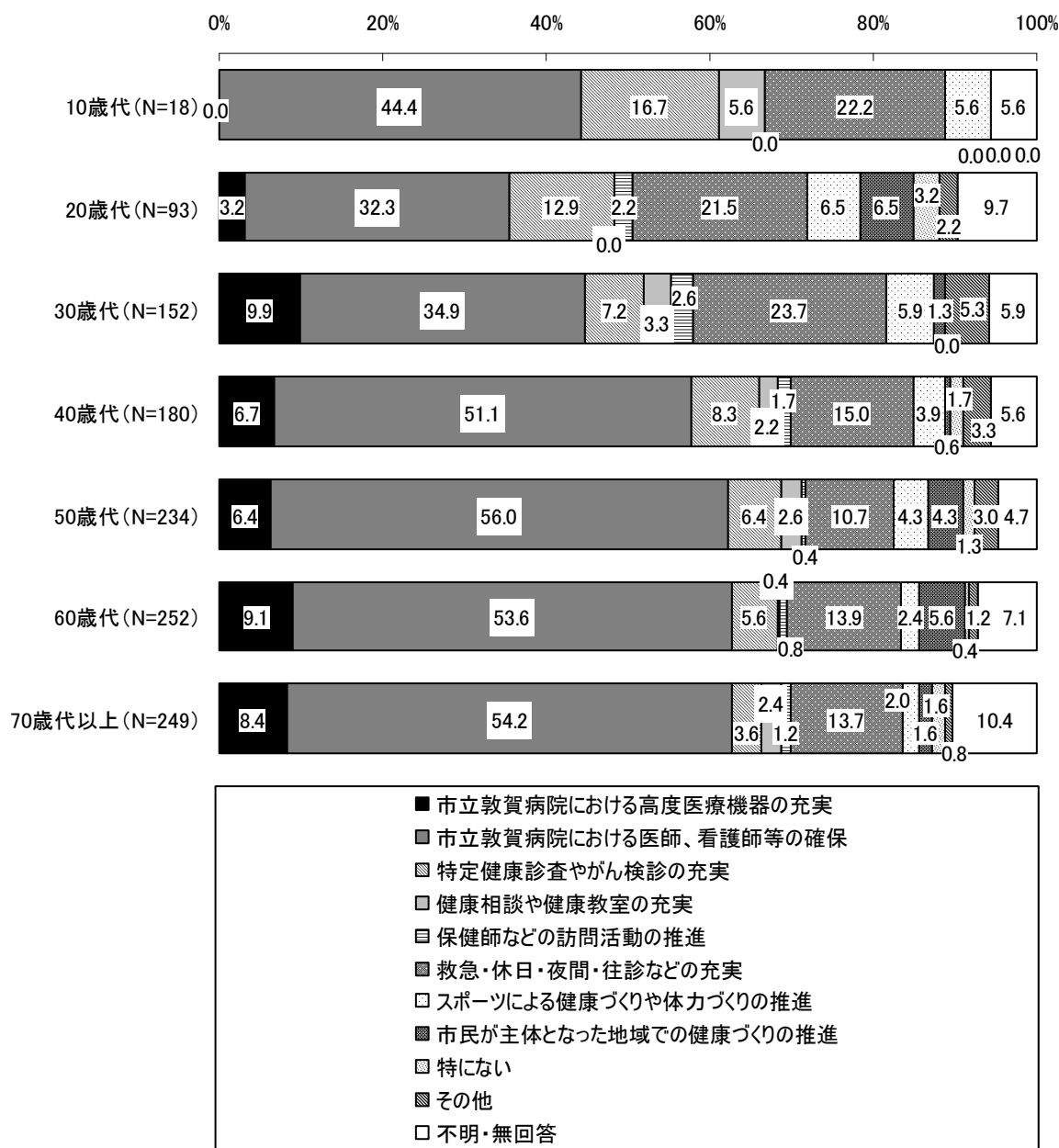
問 27 あなたは、健康づくりや医療体制を充実させるために、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(〇は一つ)

健康づくりや医療体制を充実させるために、どのようなことに力を入れるべきかについてみると、「市立敦賀病院における医師、看護師等の確保」が 49.7%と最も多く、次いで「救急・休日・夜間・往診などの充実」が 15.3%となっています。



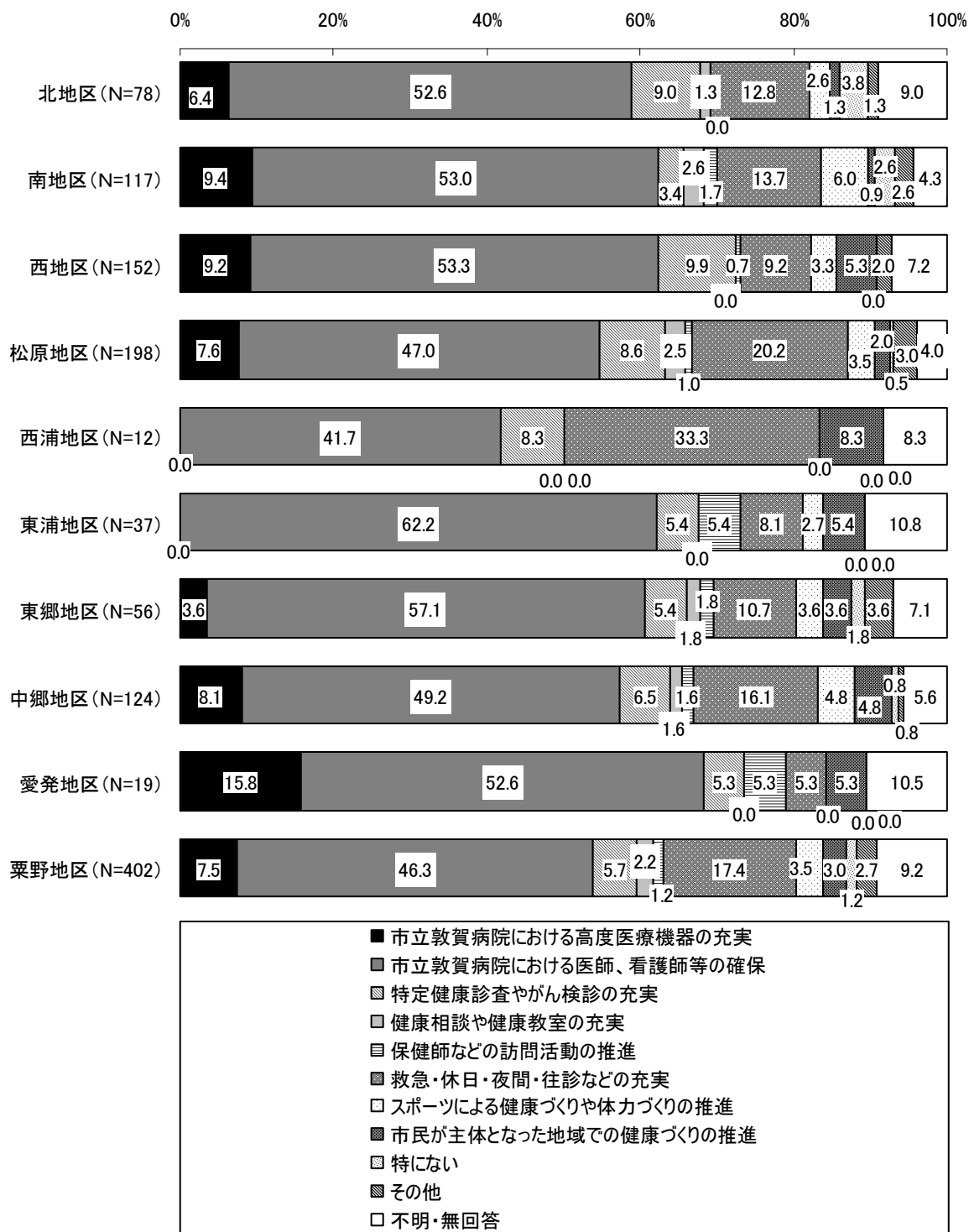
【年齢別】

年齢別についてみると、すべての年齢で「市立敦賀病院における医師、看護師等の確保」が最も多く、「40歳代」以上では5割以上となっています。



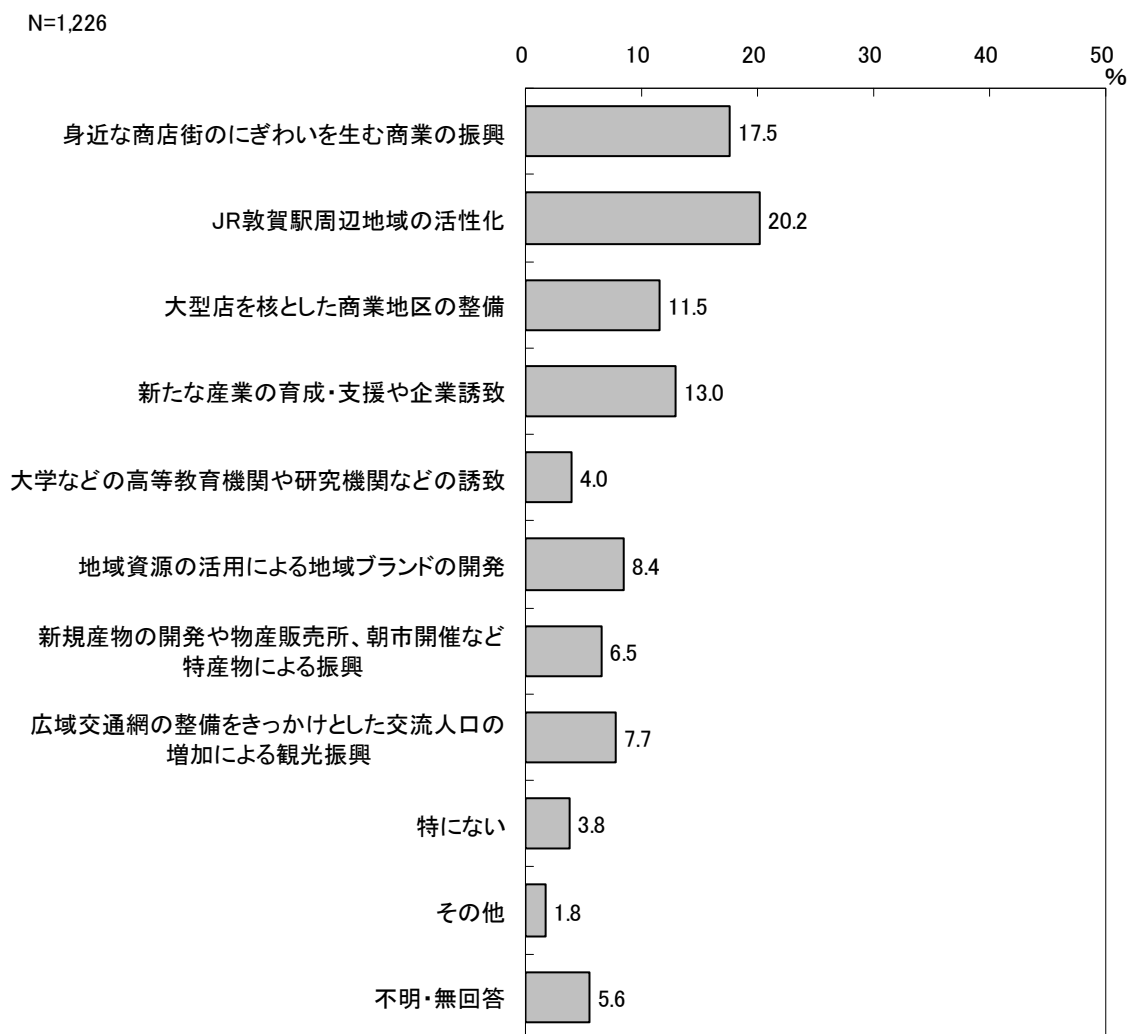
【地区別】

地区別についてみると、すべての地区で「市立敦賀病院における医師、看護師等の確保」が最も多く、4割以上となっています。



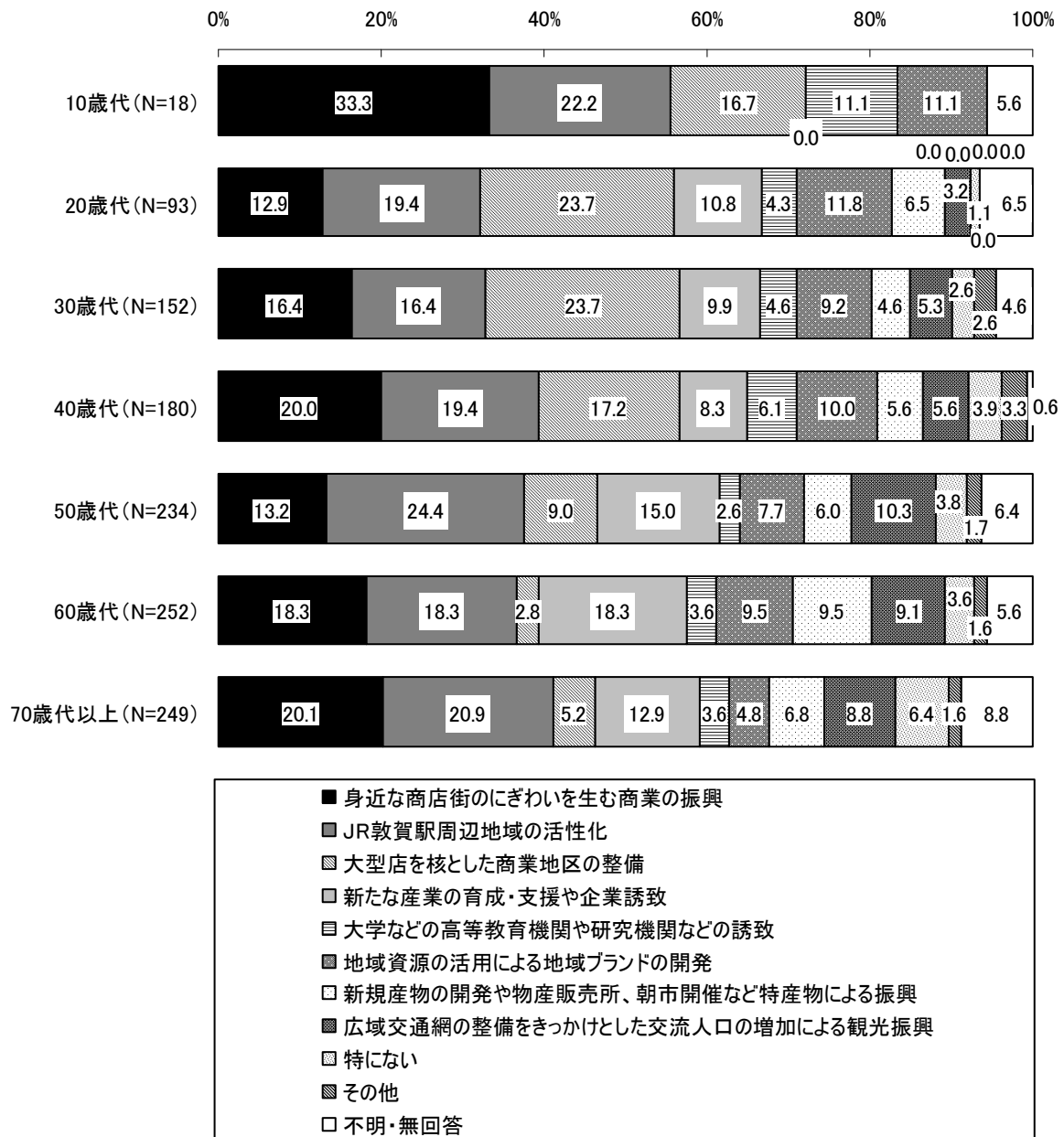
問 28 あなたは、産業振興・活性化のために、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(〇は一つ)

産業振興・活性化のために、どのようなことに力を入れるべきかについてみると、「JR敦賀駅周辺地域の活性化」が20.2%と最も多く、次いで「身近な商店街のにぎわいを生む商業の振興」が17.5%となっています。



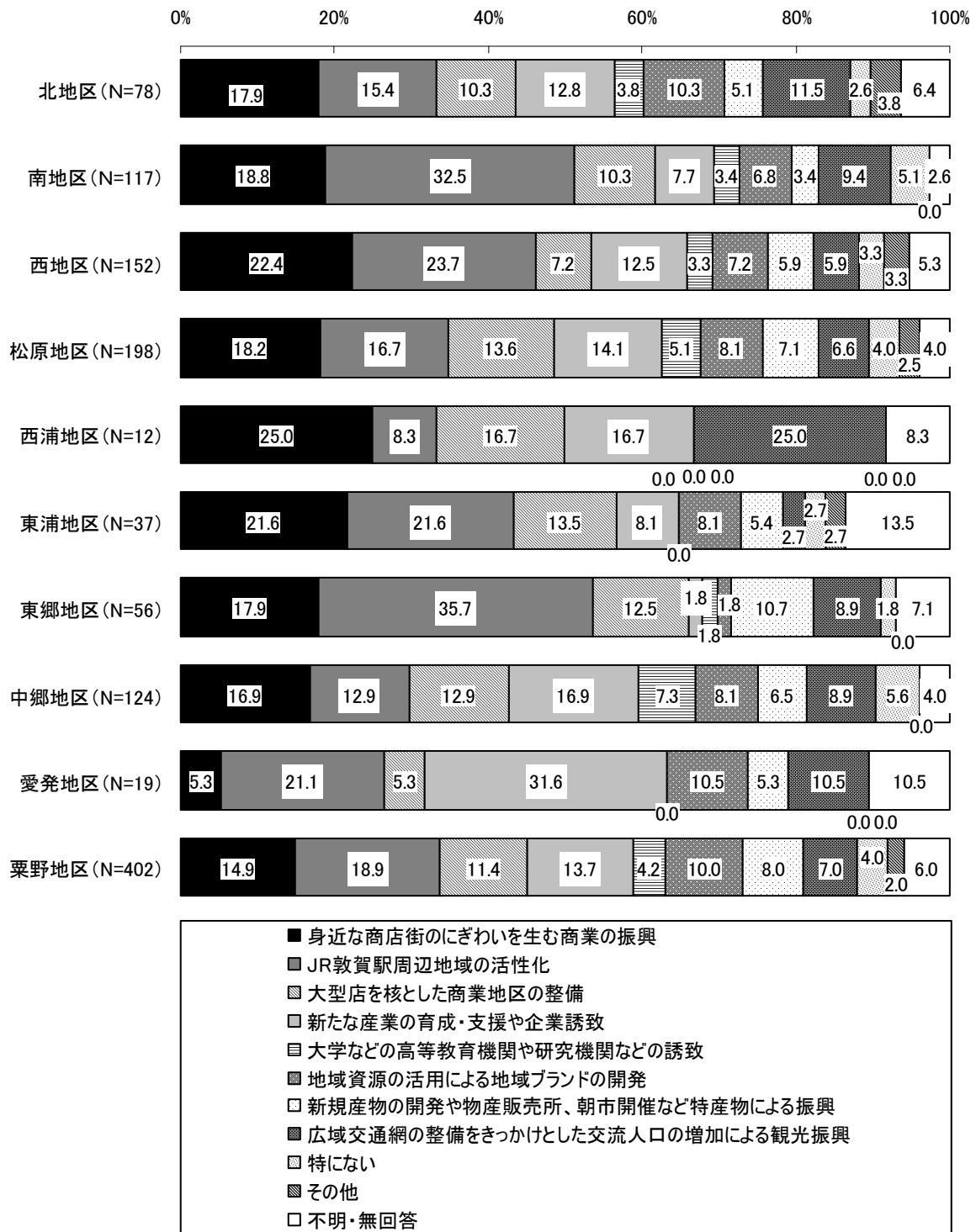
【年齢別】

年齢別についてみると、「20歳代」「30歳代」では「大型店を核とした商業地区の整備」が最も多くなっています。



【地区別】

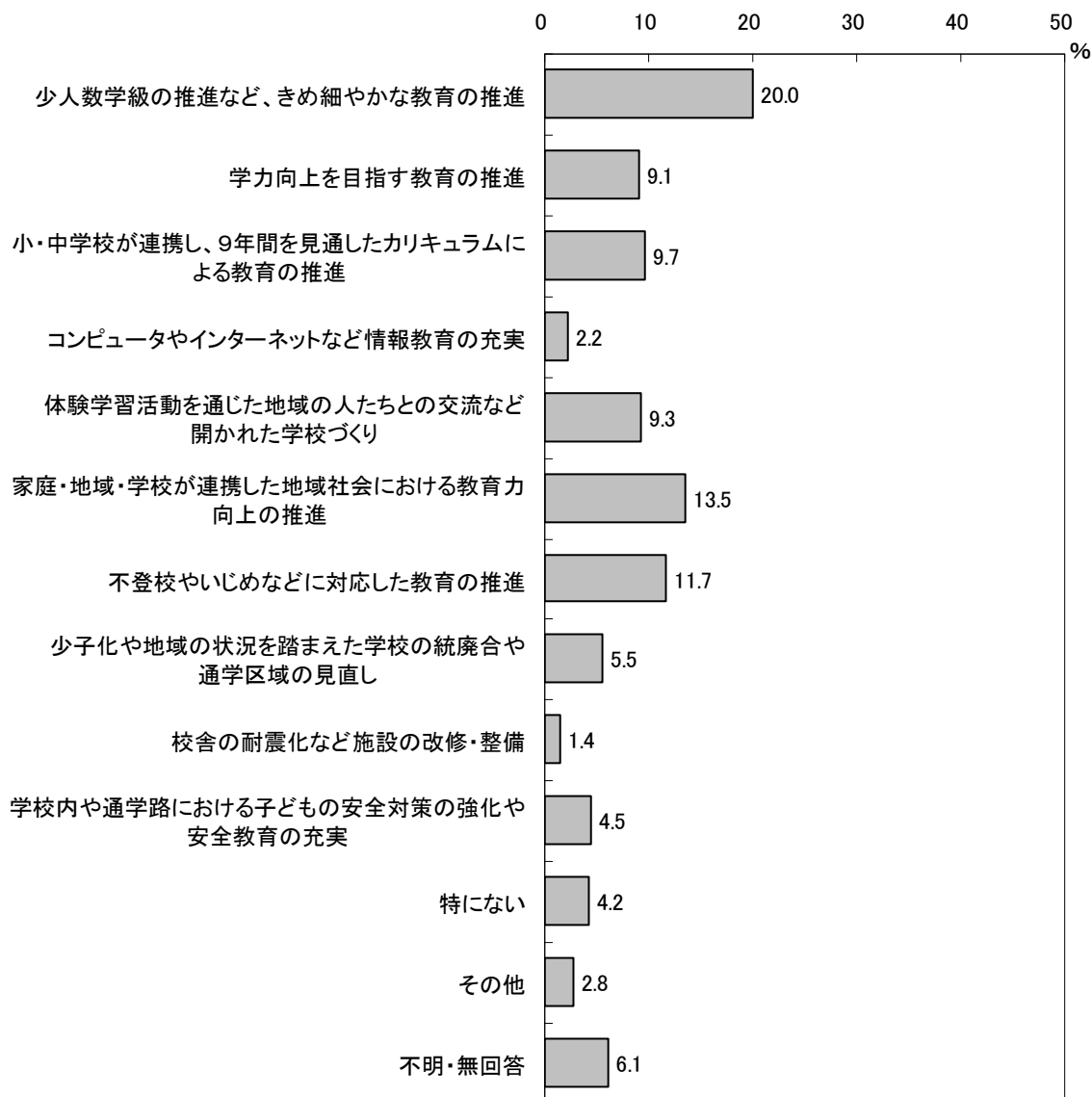
地区別についてみると、「南地区」「西地区」「東郷地区」「栗野地区」では「JR 敦賀駅周辺地域の活性化」が最も多くなっています。



問 29 あなたは、学校教育を充実させるために、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(〇は一つ)

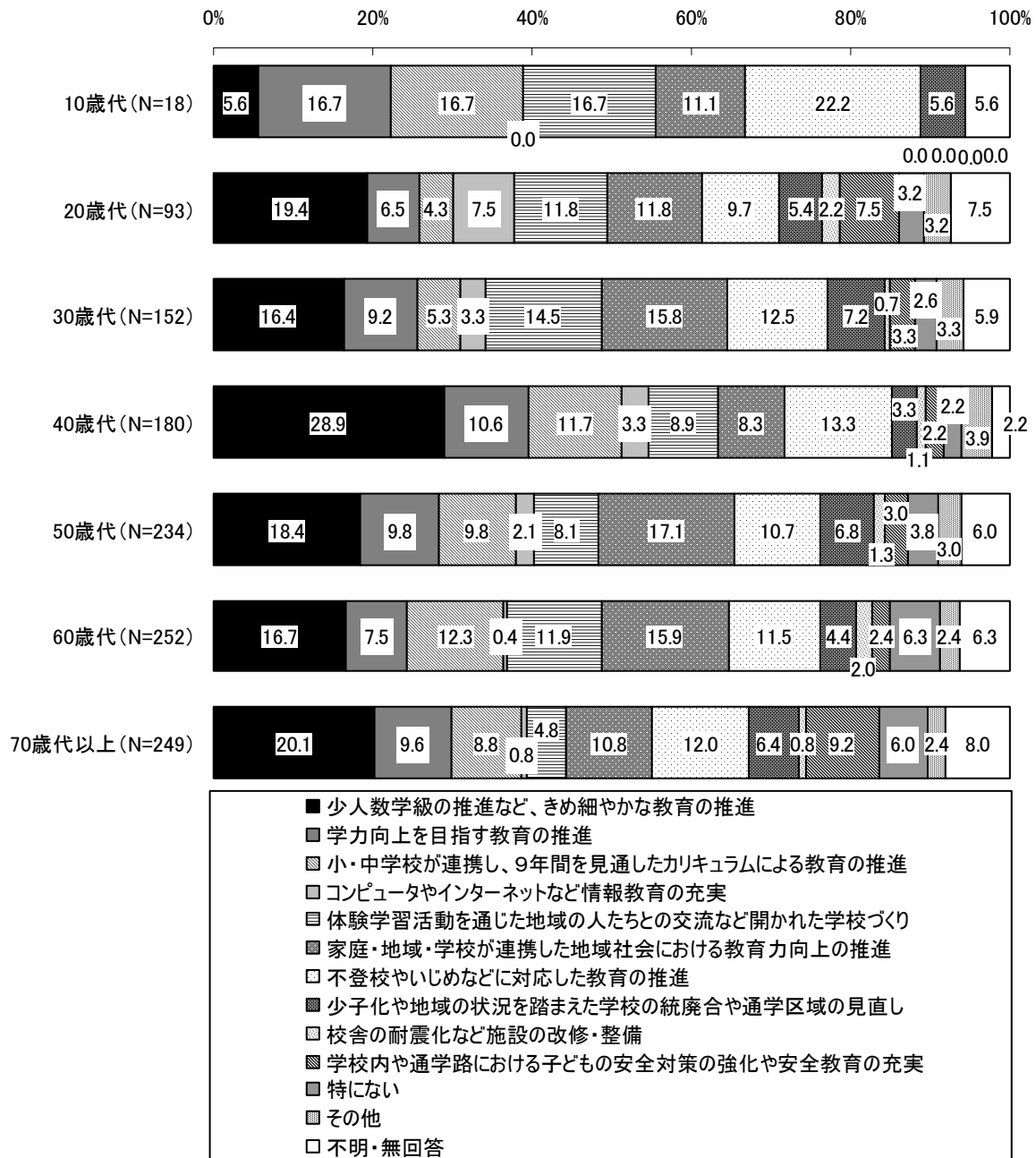
学校教育を充実させるために、どのようなことに力を入れるべきかについてみると、「少人数学級の推進など、きめ細やかな教育の推進」が 20.0%と最も多く、次いで「家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進」が 13.5%となっています。

N=1,226



【年齢別】

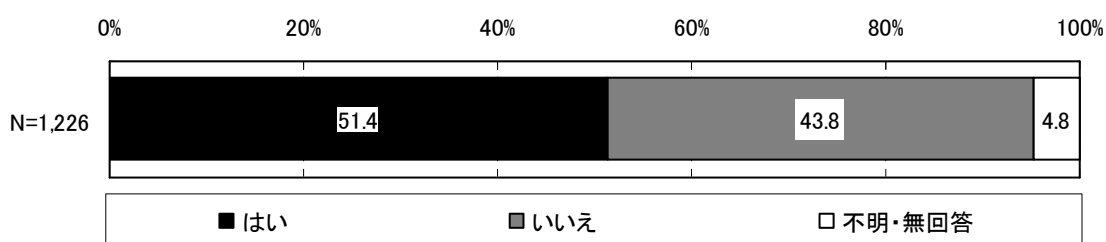
年齢別についてみると、「10歳代」では「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」、「20歳代」以上では「少人数学級の推進など、きめ細やかな教育の推進」が最も多くなっています。



5 本市の電源地域の振興策などについて

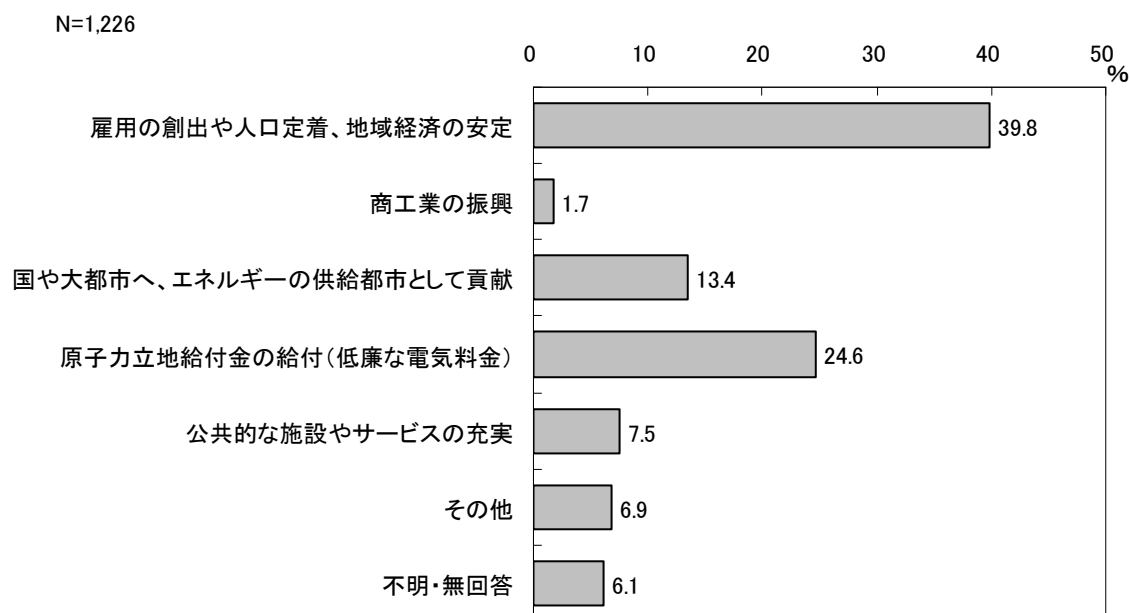
問 30 あなたは敦賀市に、エネルギーの都市としての親しみを持っていますか？（○は一つ）

敦賀市に、エネルギーの都市としての親しみを持っているかについてみると、「はい」が51.4%、「いいえ」が43.8%となっています。



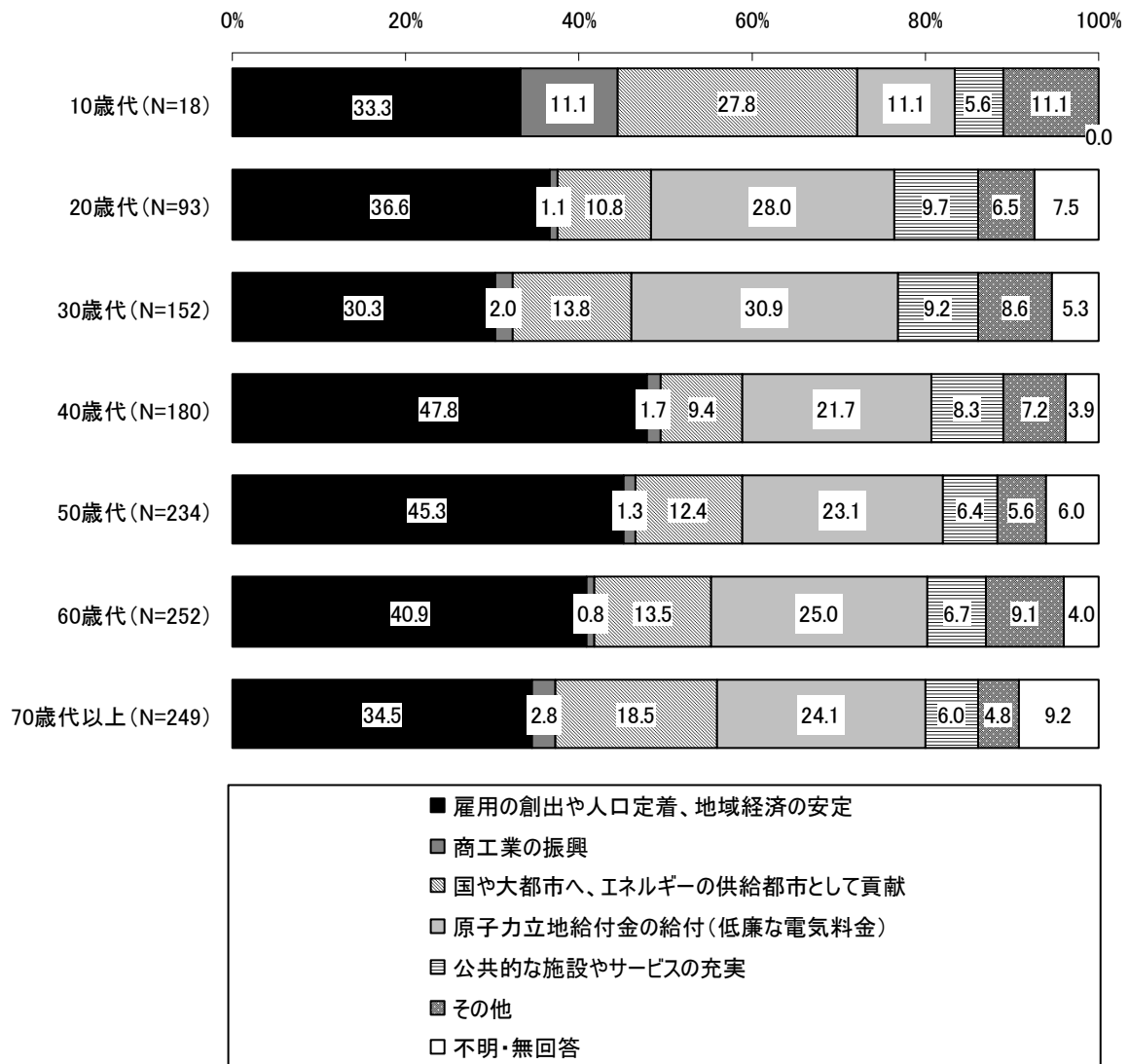
問 31 日々の生活の中で、原子力発電所が立地していることによってどのようなことにメリットを感じていますか。（○は一つ）

日々の生活の中で、原子力発電所が立地していることによってどのようなことにメリットを感じているかについてみると、「雇用の創出や人口定着、地域経済の安定」が39.8%と最も多く、次いで「原子力立地給付金の給付（低廉な電気料金）」が24.6%となっています。



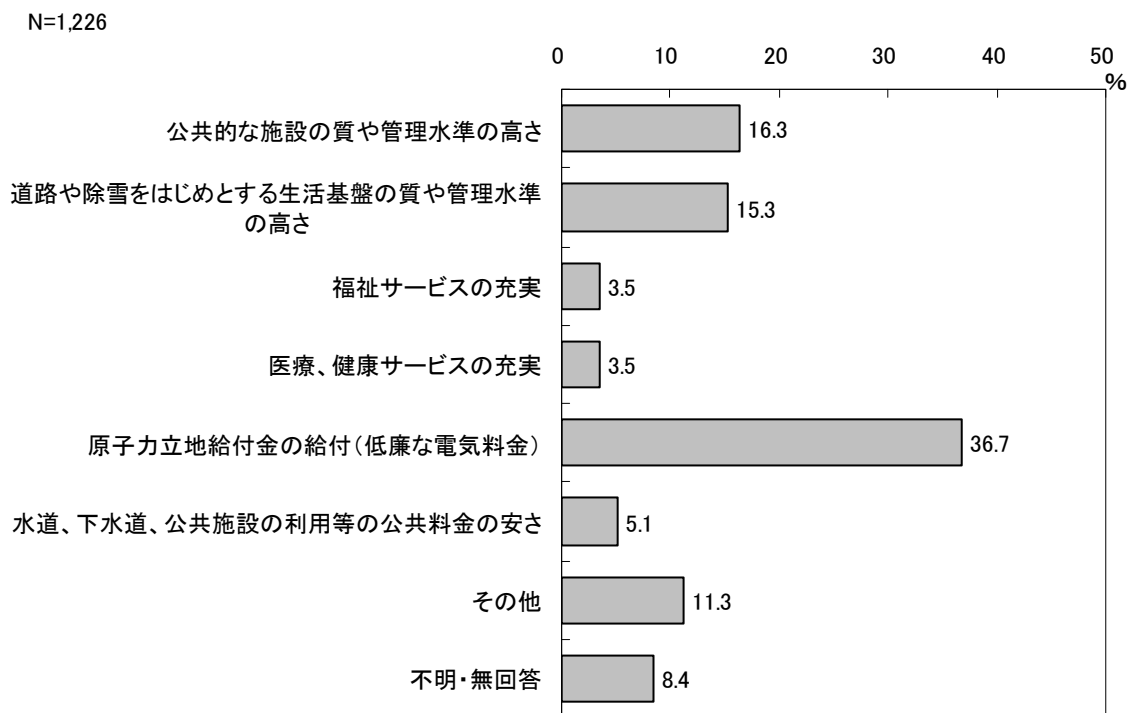
【年齢別】

年齢別についてみると、「30歳代」を除くすべての年齢で「雇用の創出や人口定着、地域経済の安定」が最も多くなっています。



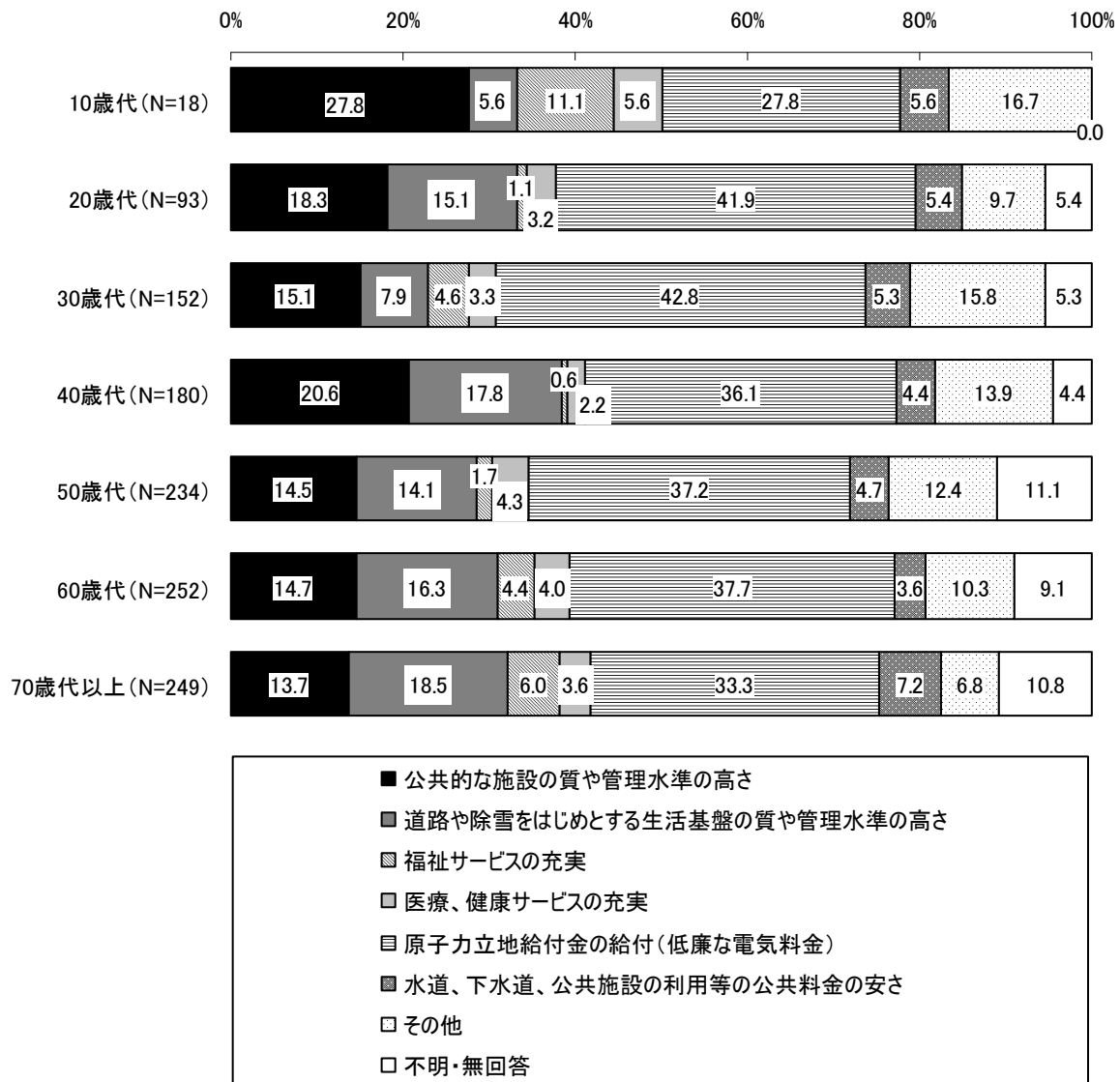
問 32 日々の生活の中で、どのような面で公共的なサービスの充実を感じていますか。
(○は一つ)

日々の生活の中で、どのような面で公共的なサービスの充実を感じているかについてみると、「原子力立地給付金の給付（低廉な電気料金）」が36.7%と最も多く、次いで「公共的な施設の質や管理水準の高さ」が16.3%となっています。



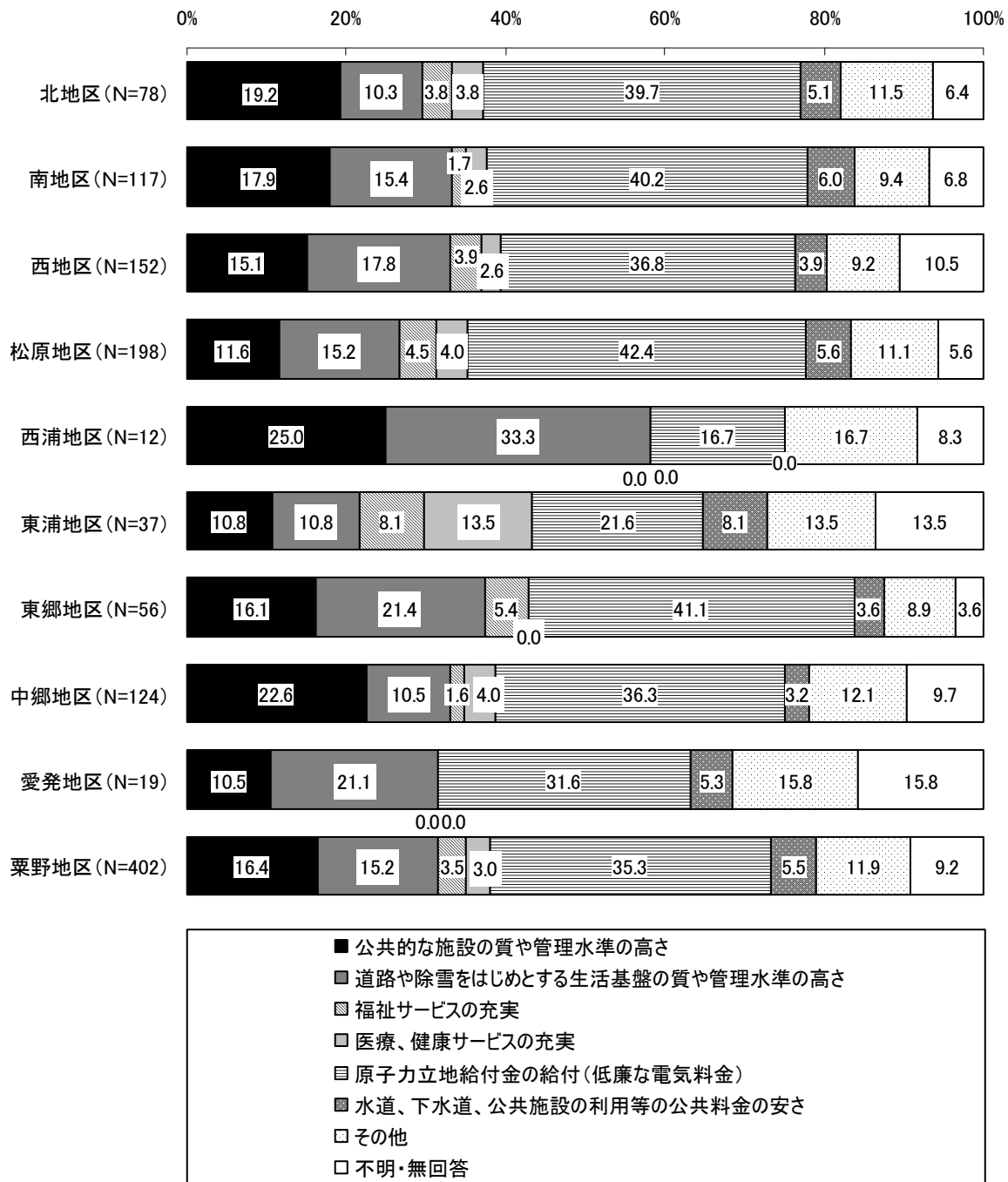
【年齢別】

年齢別についてみると、「10歳代」を除くすべての年齢で「原子力立地給付金の給付（低廉な電気料金）」が最も多く、3割以上となっています。



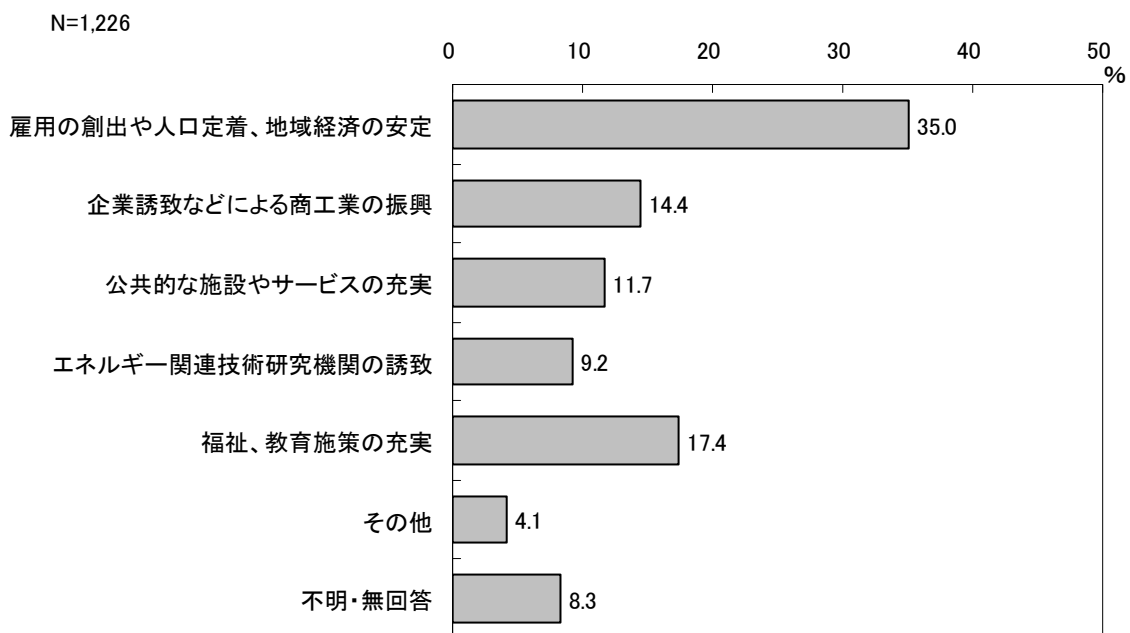
【地区別】

地区別についてみると、「西浦地区」を除くすべての地区で「原子力立地給付金の給付（低廉な電気料金）」が最も多くなっています。



問 33 あなたは、本市が電源地域として、どのような施策、活用方策に力を入れるべきだと考えますか。(〇は一つ)

本市が電源地域として、どのような施策、活用方策に力を入れるべきかについてみると、「雇用の創出や人口定着、地域経済の安定」が35.0%と最も多く、次いで「福祉、教育施策の充実」が17.4%となっています。

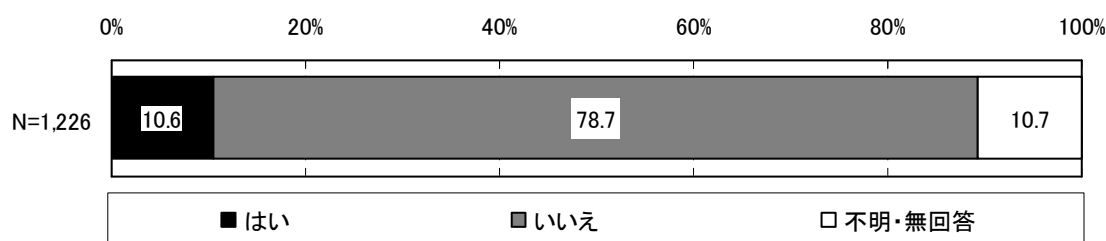


6 個別具体的な政策について

問 34 環境（自然環境の保全等）に関する質問

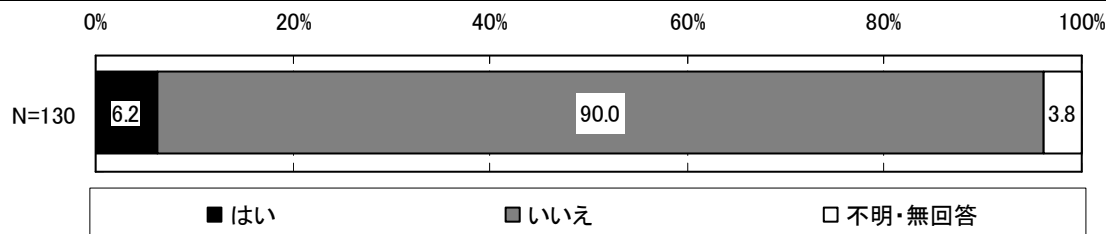
■本市の自然環境を維持・向上するための活動をさらに推進するために、毎年 10,000 円の新たな負担に応じられるか。(○は一つ)

自然環境を維持・向上するための活動をさらに推進するために、毎年 10,000 円の新たな負担に応じられるかについてみると、「はい」が 10.6%、「いいえ」が 78.7%となっています。



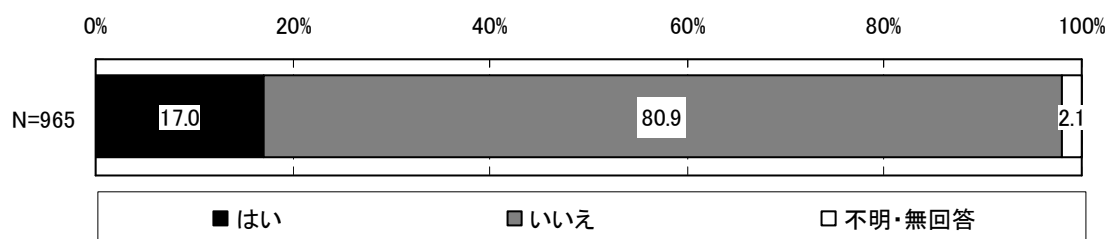
① 毎年 50,000 円なら負担に応じられるか。(○は一つ) (問 34 で「はい」と答えた方)

毎年 50,000 円なら負担に応じられるかについてみると、「はい」が 6.2%、「いいえ」が 90.0%となっています。



② 毎年 5,000 円なら負担に応じられるか。(○は一つ) (問 34 で「いいえ」と答えた方)

毎年 5,000 円なら負担に応じられるかについてみると、「はい」が 17.0%、「いいえ」が 80.9%となっています。



③ 具体的にいくらまでなら負担に応じられるか。(数量回答)

(問 34①で「はい」「いいえ」、問 34②で「はい」と答えた方)

具体的にいくらまでなら負担に応じられるかについてみると、「5,000 円以上 6,000 円未満」が 39.4%と最も多く、次いで「10,000 円以上 11,000 円未満」が 34.8%となっています。

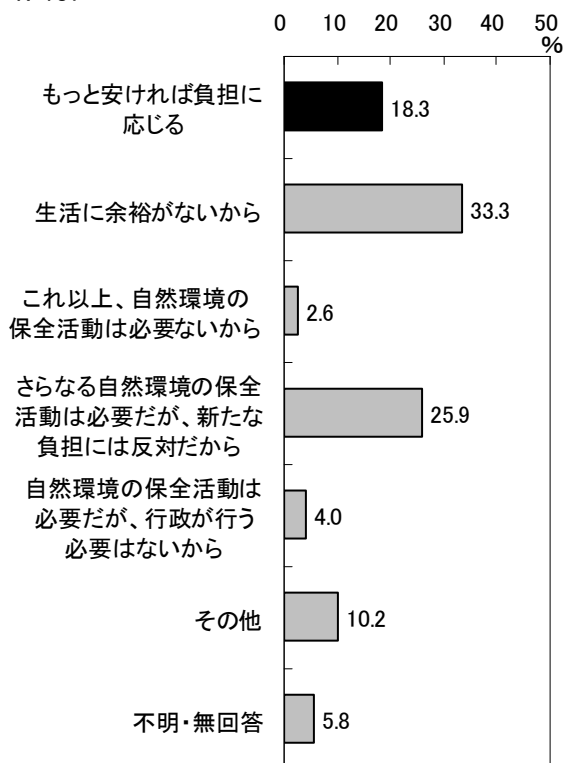
具体的に支払いに応じられる金額	N=66		具体的に支払いに応じられる金額	N=66	
	件数	%		件数	%
1,000円未満	1	1.5	12,000円以上13,000円未満	4	6.1
1,000円以上2,000円未満	0	0.0	13,000円以上14,000円未満	0	0.0
2,000円以上3,000円未満	1	1.5	14,000円以上15,000円未満	0	0.0
3,000円以上4,000円未満	3	4.5	15,000円以上16,000円未満	1	1.5
4,000円以上5,000円未満	0	0.0	16,000円以上17,000円未満	0	0.0
5,000円以上6,000円未満	26	39.4	17,000円以上18,000円未満	0	0.0
6,000円以上7,000円未満	2	3.0	18,000円以上19,000円未満	0	0.0
7,000円以上8,000円未満	1	1.5	19,000円以上20,000円未満	0	0.0
8,000円以上9,000円未満	0	0.0	20,000円以上21,000円未満	3	4.5
9,000円以上10,000円未満	0	0.0	21,000円以上	1	1.5
10,000円以上11,000円未満	23	34.8			
11,000円以上12,000円未満	0	0.0	平均		¥8,241

※不明・無回答を除く

④ あてはまる項目を選択 (○は一つ) (問 34②で「いいえ」と答えた方)

「生活に余裕がないから」が 33.3%と最も多く、次いで「さらなる自然環境の保全活動は必要だが、新たな負担には反対だから」が 25.9%となっています。また、「もっと安ければ負担に応じる」を選んだ方の提示金額は「1,000 円以上 2,000 円未満」が 50.7%と最も多くなっています。

N=781



◎ 「もっと安ければ負担に応じる」を選んだ方 (数量回答)

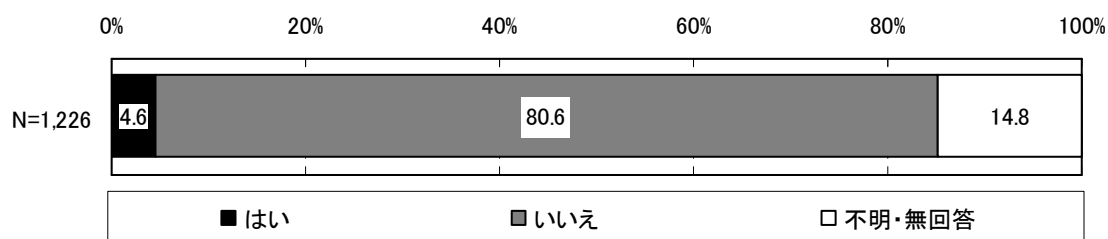
もっと安ければ負担に応じる金額	N=140	
	件数	%
1,000円未満	19	13.6
1,000円以上2,000円未満	71	50.7
2,000円以上3,000円未満	22	15.7
3,000円以上4,000円未満	28	20.0
平均		¥1,491

※不明・無回答を除く

問 35 観光（誘客活動）に関する質問

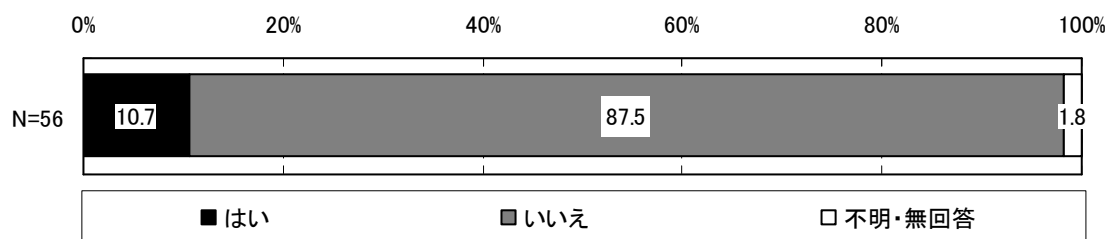
■本市のさらなる発展と観光都市としての飛躍のため、新たにイベントや観光施設の整備などこれらの活動のために、毎年10,000円の新たな負担に感じられるか。(○は一つ)

さらなる発展と観光都市としての飛躍のため、新たにイベントや観光施設の整備などこれらの活動のために、毎年10,000円の新たな負担に感じられるかについてみると、「はい」が4.6%、「いいえ」が80.6%となっています。



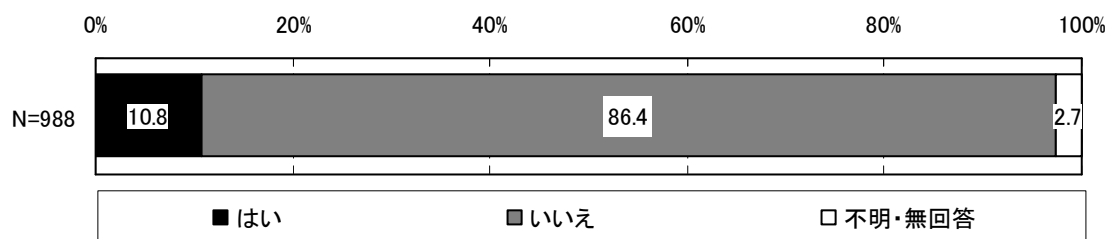
① 毎年50,000円なら負担に感じられるか。(○は一つ) (問35で「はい」と答えた方)

毎年50,000円なら負担に感じられるかについてみると、「はい」が10.7%、「いいえ」が87.5%となっています。



② 毎年5,000円なら負担に感じられるか。(○は一つ) (問35で「いいえ」と答えた方)

毎年5,000円なら負担に感じられるかについてみると、「はい」が10.8%、「いいえ」が86.4%となっています。



③ 具体的にいくらまでなら負担に応じられるか。(数量回答)

(問 35①で「はい」「いいえ」、問 35②で「はい」と答えた方)

具体的にいくらまでなら負担に応じられるかについてみると、「5,000 円以上 6,000 円未満」が 42.9%と最も多く、次いで「10,000 円以上 11,000 円未満」が 25.7%となっています。

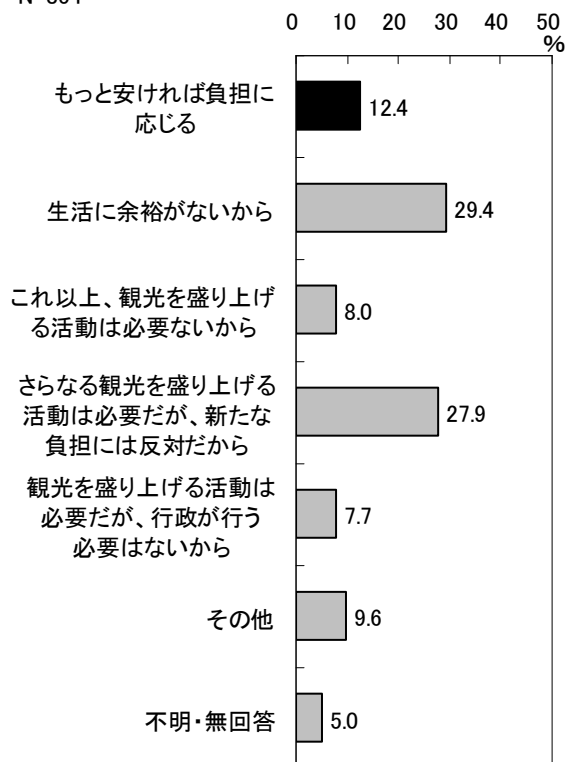
具体的に支払いに応じられる金額	N=35		具体的に支払いに応じられる金額	N=35	
	件数	%		件数	%
1,000円未満	1	2.9	11,000円以上12,000円未満	0	0.0
1,000円以上2,000円未満	3	8.6	12,000円以上13,000円未満	2	5.7
2,000円以上3,000円未満	0	0.0	13,000円以上14,000円未満	0	0.0
3,000円以上4,000円未満	2	5.7	14,000円以上15,000円未満	0	0.0
4,000円以上5,000円未満	0	0.0	15,000円以上16,000円未満	0	0.0
5,000円以上6,000円未満	15	42.9	16,000円以上17,000円未満	0	0.0
6,000円以上7,000円未満	0	0.0	17,000円以上18,000円未満	0	0.0
7,000円以上8,000円未満	1	2.9	18,000円以上19,000円未満	0	0.0
8,000円以上9,000円未満	0	0.0	19,000円以上20,000円未満	0	0.0
9,000円以上10,000円未満	0	0.0	20,000円以上21,000円未満	2	5.7
10,000円以上11,000円未満	9	25.7	平均	¥7,029	

※不明・無回答を除く

④ あてはまる項目を選択 (○は一つ) (問 35②で「いいえ」と答えた方)

「生活に余裕がないから」が 29.4%、次いで「さらなる観光を盛り上げる活動は必要だが、新たな負担には反対だから」が 27.9%となっています。また、「もっと安ければ負担に応じる」を選んだ方の提示金額は「1,000 円以上 2,000 円未満」が 51.4%と最も多くなっています。

N=854



◎ 「もっと安ければ負担に応じる」を選んだ方 (数量回答)

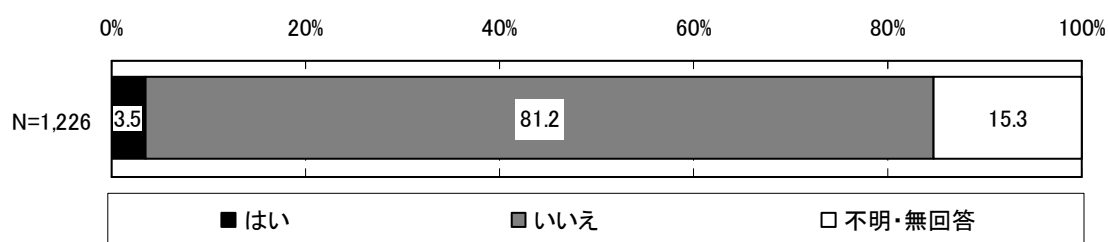
もっと安ければ負担に応じる金額	N=105	
	件数	%
1,000円未満	18	17.1
1,000円以上2,000円未満	54	51.4
2,000円以上3,000円未満	17	16.2
3,000円以上4,000円未満	16	15.2
平均	¥1,392	

※不明・無回答を除く

問 36 生涯学習等に関する質問

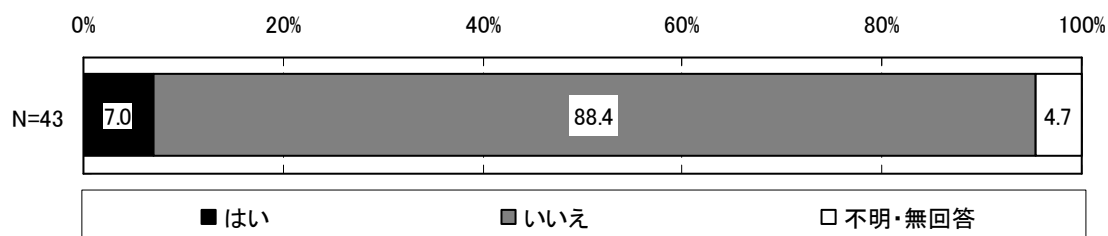
■ 地区公民館などの生涯学習施設などについて、新たに改築や新設を行うとした場合の活動のために、毎年 10,000 円の新たな負担に感じられるか。(○は一つ)

地区公民館などの生涯学習施設などについて、新たに改築や新設を行うとした場合の活動のために、毎年 10,000 円の新たな負担に感じられるかについてみると、「はい」が 3.5%、「いいえ」が 81.2%となっています。



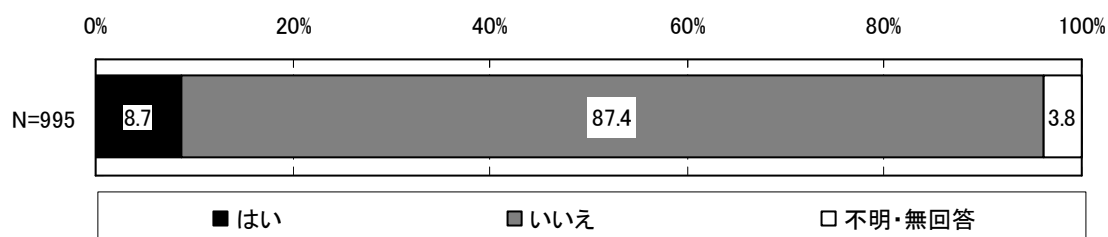
① 毎年 50,000 円なら負担に感じられるか。(○は一つ) (問 36 で「はい」と答えた方)

毎年 50,000 円なら負担に感じられるかについてみると、「はい」が 7.0%、「いいえ」が 88.4%となっています。



② 毎年 5,000 円なら負担に感じられるか。(○は一つ) (問 36 で「いいえ」と答えた方)

毎年 5,000 円なら負担に感じられるかについてみると、「はい」が 8.7%、「いいえ」が 87.4%となっています。



③ 具体的にいくらまでなら負担に応じられるか。(数量回答)

(問 36①で「はい」「いいえ」、問 36②で「はい」と答えた方)

具体的にいくらまでなら負担に応じられるかについてみると、「5,000 円以上 6,000 円未満」が 60.0%と最も多く、次いで「10,000 円以上 11,000 円未満」が 28.0%となっています。

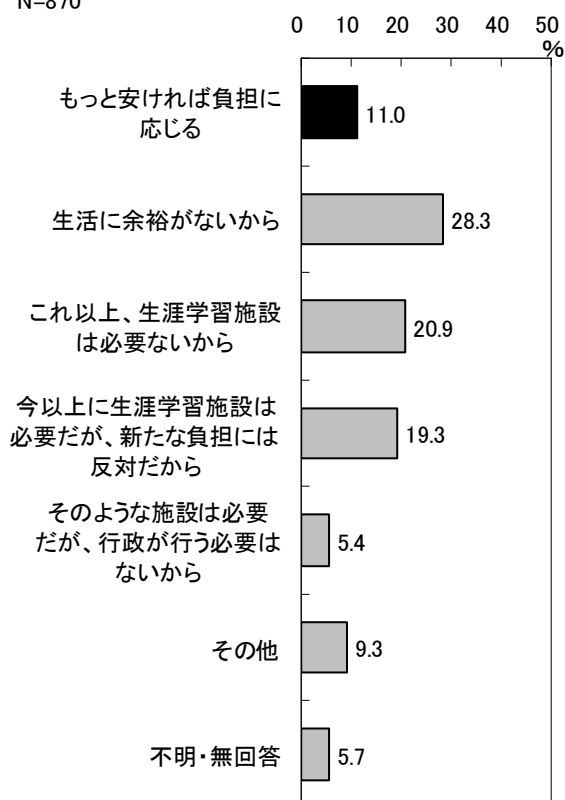
具体的に支払いに応じられる金額	N=25		具体的に支払いに応じられる金額	N=25	
	件数	%		件数	%
5,000円未満	0	0.0	13,000円以上14,000円未満	0	0.0
5,000円以上6,000円未満	15	60.0	14,000円以上15,000円未満	0	0.0
6,000円以上7,000円未満	0	0.0	15,000円以上16,000円未満	1	4.0
7,000円以上8,000円未満	0	0.0	16,000円以上17,000円未満	0	0.0
8,000円以上9,000円未満	0	0.0	17,000円以上18,000円未満	0	0.0
9,000円以上10,000円未満	0	0.0	18,000円以上19,000円未満	0	0.0
10,000円以上11,000円未満	7	28.0	19,000円以上20,000円未満	0	0.0
11,000円以上12,000円未満	0	0.0	20,000円以上21,000円未満	2	8.0
12,000円以上13,000円未満	0	0.0	平均	¥8,000	

※不明・無回答を除く

④ あてはまる項目を選択 (○は一つ) (問 36②で「いいえ」と答えた方)

「生活に余裕がないから」が 28.3%と最も多く、次いで「これ以上、生涯学習施設は必要ないから」が 20.9%となっています。また、「もっと安ければ負担に応じる」を選んだ方の提示金額は「1,000 円以上 2,000 円未満」が 44.7%と最も多くなっています。

N=870



◎ 「もっと安ければ負担に応じる」を選んだ方 (数量回答)

もっと安ければ負担に応じる金額	N=94	
	件数	%
1,000円未満	17	18.1
1,000円以上2,000円未満	42	44.7
2,000円以上3,000円未満	15	16.0
3,000円以上4,000円未満	20	21.3
平均	¥1,485	

※不明・無回答を除く

問 37 市内の公共施設の状況について、あなたはどのようにお考えですか？（各項目について、○は一つ）

市内の公共施設の状況についてみると、「(5) 学校」「(6) 公民館などの生涯学習施設」「(7) 文化や歴史にふれる施設」「(8) 図書館などの社会教育施設」「(9) 体育館などのスポーツ施設意向がある」では「十分である」が4割以上となっています。一方で「(4) 保健・医療施設」では「あまり十分でない」が4割弱となっています。

